



リニアPCMレコーダーを使っていて困ったときやわからないことがあったときに使うマニュアルです。

準備する

[箱の中身を確認する](#)

[各部のなまえ](#)

[ウインドスクリーンを使う](#)

ホームメニュー／オプションメニュー

[ホームメニューの使いかた](#)

[オプションメニューの使いかた](#)

[オプションメニュー一覧](#)

[フォルダとファイルについて](#)

表示窓

[ホームメニュー操作時の表示](#)

[録音時／録音停止時の表示](#)

[再生時の表示](#)

[録音情報の表示](#)

[ファイル情報の表示](#)

[検索方法選択時の表示](#)

電源を準備する

[パソコンを使って充電する](#)

[リニアPCMレコーダーをパソコンから取り外す](#)

[USB ACアダプターにつないで使う／充電する](#)

[USB ACアダプターからリニアPCMレコーダーを取り外す](#)

[電源を入れる](#)

[電源を切る](#)

初期設定をする

誤動作を防止する

[誤操作を防止する（ホールド）](#)

[ホールドを解除する](#)

録音する

録音する

[マニュアル録音する](#)

[内蔵マイクで録音する（自動調整（AGC）録音）](#)

[ピークレベルメーターについて](#)

[録音中の音をモニターする](#)

[いろいろな録音操作](#)

[録音先メモリーとフォルダを変更する](#)

録音の設定を変える

[可動式マイクを使いこなす](#)

[用途に合わせた録音シーンを選ぶ](#)

[お好みの録音設定をMyシーンに登録する](#)

[より良い音で録音するには](#)

[シーンセレクト機能のお買い上げ時の録音設定について](#)

[microSDカードに録音する](#)

[最適な録音レベル設定で録音する（リハーサル機能）](#)

- [少し前から録音する（プリレコーディング機能）](#)
- [録音開始タイマーを使う](#)
- [メモリーを切り換えて録音を続ける（クロスメモリー機能）](#)
- [音がしたとき自動録音する－VOR（Voice Operated Recording）録音](#)

接続して録音する

- [外部マイクをつないで録音する](#)
- [電話機や携帯電話の音声を録音する](#)
- [シンクロ録音機能を使って他の機器の音声を録音する](#)
- [シンクロ録音機能を使わずに他の機器の音声を録音する](#)

他の機器へ接続する

- [リニアPCMレコーダーの音声を他の機器で録音する](#)

再生する

再生する

- [ファイルを再生する](#)
- [ファイルを選ぶ](#)
- [トラックマーカー一覧から目的の再生位置を探す](#)
- [いろいろな再生操作](#)

再生の設定を変える

- [再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする－クリアボイス機能](#)
- [録音を書き起こす（書き起こし用再生）](#)
- [再生速度を調節する－DPC（Digital Pitch Control）](#)
- [音程を調節する（キーコントロール）](#)
- [音質を切り替える（イコライザー）](#)
- [再生モードを変える](#)
- [必要な部分だけを再生する－A-Bリピート](#)
- [1ファイルをリピート再生する（長押しリピート再生機能）](#)
- [再生範囲を指定する](#)
- [大きな音で聞くには](#)
- [早送り／早戻しする（キュー／レビュー）](#)
- [すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）](#)

ワイヤレスで音楽を楽しむ（Bluetoothオーディオ機器で聞く）

[Bluetoothオーディオ機器と接続してできること](#)

[オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する](#)

[機器登録（ペアリング）済みのBluetoothオーディオ機器と接続する](#)

[ワンタッチ接続（NFC接続）する](#)

[Bluetooth機能の設定を変更する](#)

[Bluetooth接続を切断する](#)

[Bluetooth接続を再接続する](#)

[Bluetooth情報を表示する](#)

[Bluetooth機能についてのご注意](#)

スマートフォンでリニアPCMレコーダーを操作する（REC Remote）

[REC Remoteでできること](#)

[REC Remoteを準備する](#)

[スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する](#)

[ワンタッチ接続（NFC接続）する](#)

[スマートフォンでリニアPCMレコーダーを操作する](#)

[Bluetooth接続を切断する](#)

[Bluetooth接続を再接続する（Androidの場合）](#)

[Bluetooth接続を再接続する（iOSの場合）](#)

編集する

削除する

[ファイルを削除する](#)

[フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する](#)

[フォルダを削除する](#)

ファイルを整理する

[ファイルを別のフォルダに移動する](#)

[ファイルを別のフォルダにコピーする](#)

[フォルダを作成する](#)

トラックマークを使う

- └ [トラックマークを付ける](#)
- └ [トラックマークを自動で付ける](#)
- └ [トラックマークを削除する](#)
- └ [すべてのトラックマークを削除する](#)

ファイルを分割する

- └ [現在位置でファイルを分割する](#)
- └ [すべてのトラックマーク位置でファイルを分割する](#)

なまえを変更する

- └ [フォルダ名を変更する](#)
- └ [ファイル名を変更する](#)

[ファイルを保護する](#)

各種設定メニュー

各種設定メニューを使う

- └ [各種設定メニュー一覧](#)

設定できる項目

- └ [録音モードを選ぶ（録音モード）](#)
- └ [マイク感度を設定する（内蔵マイク感度設定）](#)
- └ [ノイズを軽減して録音する（録音フィルター）](#)
- └ [音のひずみを防ぐために入力を調整する（リミッター）](#)
- └ [外部機器の入力モードと入力感度を設定する（外部入力設定）](#)
- └ [録音ランプ／ピークランプの点灯・消灯を設定する（ランプ）](#)
- └ [バックライトの点灯、消灯を設定する（バックライト）](#)
- └ [日付や時刻を合わせる（日付時刻設定）](#)
- └ [時刻表示の形式を選ぶ（時刻表示形式）](#)
- └ [操作音の設定をする（操作音）](#)
- └ [スリープタイマーを使う（スリープタイマー）](#)
- └ [電源が自動的に切れるまでの時間を設定する（オートパワーオフ）](#)
- └ [メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す（設定初期化）](#)
- └ [メモリーを初期化する（内蔵メモリー初期化／SDカード初期化）](#)
- └ [録音可能時間を確認する（録音可能時間）](#)

└ [リニアPCMレコーダーの本体情報を確認する（本体情報）](#)

パソコンにつないで使う

[リニアPCMレコーダーをパソコンに接続する](#)

[フォルダとファイルの構成](#)

[ファイルをリニアPCMレコーダーからパソコンにコピーして保存する](#)

[パソコンにある音楽ファイルをリニアPCMレコーダーにドラッグアンドドロップしてコピーする](#)

[パソコンからコピーした音楽ファイルをリニアPCMレコーダーで再生する](#)

[USBメモリーとして利用する](#)

Sound Organizer 2を使う

[Sound Organizer 2でできること（Windowsのみ）](#)

[Sound Organizer 2の使用に必要なパソコンのシステム構成](#)

[Sound Organizer 2をインストールする（Windowsのみ）](#)

[Sound Organizer 2の基本操作（Windowsのみ）](#)

主な仕様

[リニアPCMレコーダーで利用できるメモリーカード](#)

[必要なシステム構成](#)

[リニアPCMレコーダーの仕様](#)

[最大録音時間](#)

[音楽ファイル最大再生時間／ファイル数](#)

[電池の持続時間](#)

お知らせ

[保証書とアフターサービス](#)

[商標について](#)

お問い合わせ

└ [電話・FAXで問い合わせる](#)

サポートホームページ

└ [サポートホームページで調べる](#)

困ったときは／よくある質問

[困ったときは](#)

リニアPCMレコーダーのリスタートについて

ノイズ

- ノイズが多く聞き取りにくい。
- 録音にノイズが多いため、ノイズを少なく録音したい。
- カサカサという音が録音されている。
- ジリジリやブツブツという音が録音されている。
- 別売の外部マイクで録音すると、雑音が入る。
- 別売のヘッドホンで聞くと雑音が入る。
- 外部機器から録音した音を内蔵スピーカーで聞くと、音が小さかったり、キュルキュルという異音が聞こえたりする。
- クリアボイス機能を設定しているのにノイズが入る。

電源

- 電源が入らない、または操作ボタンを押しても動作しない。
- 電源が切れない。
- 電源が自動的に切れる。
- 電池の持続時間が短い。
- パソコンで充電できない。
- 充電表示が表示されない、または途中で消えてしまう。
- 電池残量、充電表示部で充電温度異常のアイコンが点滅表示している。

動作

- 正常に動作しない。
- 動作表示ランプが点灯しない。

録音

- 録音できない。
- SDカードに録音できない。
- 録音が途中で止まる。
- VOR機能が働かない。
- 他の機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。
- 他の機器からの録音が勝手に止まる。
- 入力される音が歪む。

再生

- 再生音量が小さい。
- 内蔵スピーカーから音が出ない。
- ヘッドホンをつないでいても、内蔵スピーカーから音が出る。
- 「イコライザー」で音質が変化しない。
- 再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。

編集

- ファイルを分割できない。
- ファイルを移動できない。
- ファイルを別のフォルダへコピーできない。
- トラックマークを認識しない。
- 作成したフォルダやファイルが見えない。

時計

- 録音日時表示が「----/--/--」または「--:--」になる。

表示

- リニアPCMレコーダーに表示される残り時間が、パソコン上での残量表示より短い。

ファイル

- 「メモリーが一杯です」のメッセージが表示され、録音できない。
- 「ファイルが一杯です」のメッセージが表示され、操作できない。
- microSDカードが認識されない。

パソコン

- フォルダ名やファイル名が文字化けしてしまう。
- ファイルコピーに時間がかかる。
- パソコンで認識しない。パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。
- リニアPCMレコーダーに転送したファイルが表示されない、または再生されない。
- パソコンが起動しない。

Bluetoothオーディオ機器

- Bluetooth接続ができない。
- ワンタッチ接続（NFC接続）ができない。
- Bluetoothオーディオ機器の音量を操作できない。

REC Remote

- [リニアPCMレコーダーを登録できない（ペアリングできない）。](#)

- [Bluetooth接続ができない。](#)

- [ワンタッチ接続（NFC接続）ができない。](#)

付属ソフト（Sound Organizer 2）

- [インストールできない。](#)

- [リニアPCMレコーダーと接続できない。](#)

- [パソコンからの再生音量が小さい、パソコンから音が出ない。](#)

- [保存したファイルが再生、編集できない。](#)

- [カウンターやスライダーの動きがおかしい、雑音が入る。](#)

- [ファイル数が多くなると動作が遅くなる。](#)

- [ファイルの保存・追加・削除中に画面が動かなくなる。](#)

- [Sound Organizer 2を起動したときフリーズ（ハングアップ）してしまう。](#)

[メッセージ表示一覧](#)

[システム上の制約](#)

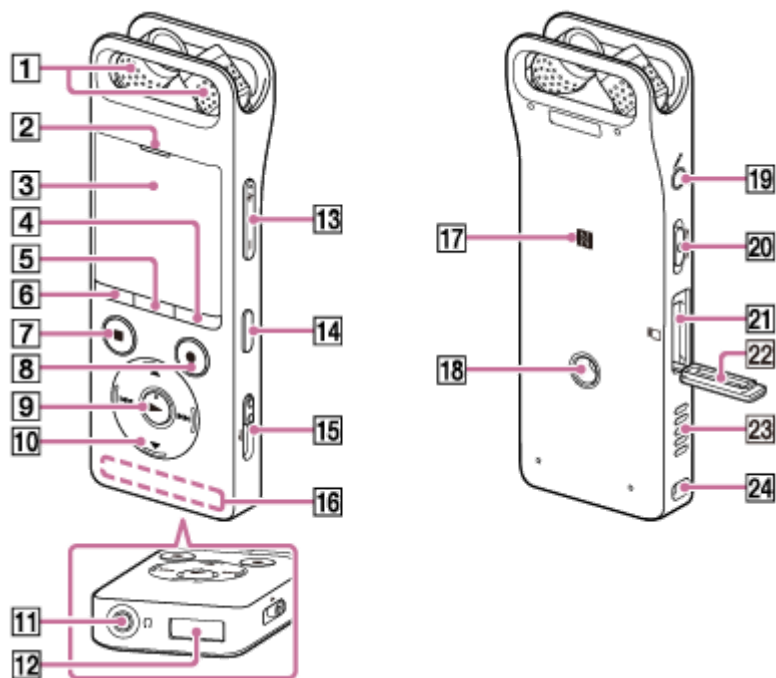
リニアPCMレコーダー
PCM-A10

箱の中身を確認する

- 本体（1）
- キャリングケース（1）
- ウインドスクリーン（1）
- 取扱説明書（1）
- レコーディングテクニックガイド（1）
- Sound Organizer 2（サウンドオーガナイザー2）を使う（1）
- REC Remote（レックリモート）を使う（1）
- 保証書（1）
- 「製品登録」のおすすめ（1）

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

各部のなまえ



1. 内蔵マイク
2. ピークランプ
3. 表示窓
4. オプションボタン
5. トラックマークボタン
6. 戻る / ● ホーム (長押し) ボタン
7. ■ 停止ボタン
8. ● 録音 / 一時停止ボタン、録音ランプ
9. ► (再生 / 決定) ボタン (*1)
10. コントロールボタン (▲ DPC (速度調節)、▼ ↺ (リピート) A-B / ◀ (早戻し)、▶▶ (早送り))
11. ♯ (ヘッドホン) ジャック
12. USB蓋 (USB端子はふたの中に格納されています。)
13. 音量 - / + (*1) ボタン
14. リハーサルボタン
15. USBつまみ (スライド式USB端子用)
16. 内蔵Bluetoothアンテナ (*2)

17.  (Nマーク) (NFC機能があるスマートフォンやBluetoothオーディオ機器をここにタッチして接続します。)

18. 三脚取り付け用穴 (三脚は付属していません。)

19.  (マイク) ジャック

20. ホールド・電源スイッチ (*3)

21. microSDメモリーカードスロット (スロット蓋の中にあります。)

22. スロット蓋

23. 内蔵スピーカー

24. ストラップ取り付け部 (ストラップは付属していません。)

*1 凸点 (突起) がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

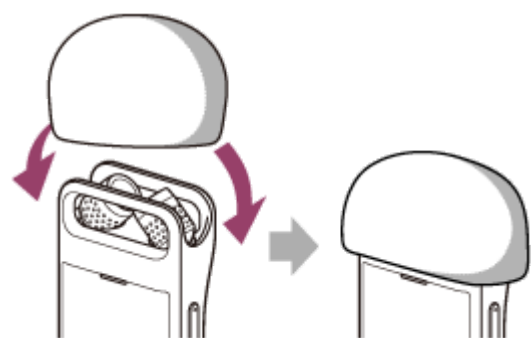
*2 Bluetooth機器と接続します。Bluetooth接続中は手などでおおわないようにしてください。Bluetooth接続に障害を起こす場合があります。

*3 ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせたままの状態でも8秒間維持すると、リニアPCMレコーダーがリスタートします。詳しくは、「[リニアPCMレコーダーのリスタートについて](#)」をご覧ください。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

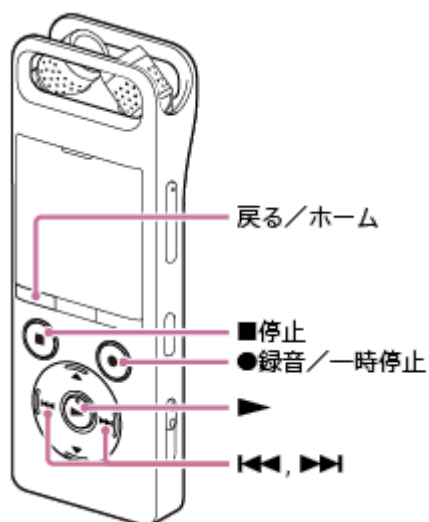
ウインドスクリーンを使う

屋外で使用する場合、風切音を軽減するため、内蔵マイクを覆うように付属のウインドスクリーンをかぶせてください。
本体とウインドスクリーンに隙間ができないようにかぶせてください。隙間があると効果がありません。



ホームメニューの使いかた

リニアPCMレコーダーでは、各機能の入り口がホームメニューになります。
ここから各機能を選んだり、録音したファイルを探したり、設定を変更したりすることができます。



1 戻る／ホームボタンを長押しする。

ホームメニュー画面が表示されます。



2 ◀◀または▶▶ ボタンを押して、使いたい機能を選び、▶ ボタンを押す。

以下の機能を選択できます。

🎵 ミュージック：

パソコンから転送した音楽ファイルを選んで、再生できます。

音楽ファイルは、「全曲」、「アルバム」、「アーティスト」または「フォルダ」のいずれかの方法から探せます。

ファイルを転送するときは、MUSICフォルダ内に入れてください。

📁 録音したファイル：

リニアPCMレコーダーで録音したファイルを選んで、再生できます。

録音したファイルは、「最新の録音」、「録音日で探す」、「録音シーンで探す」または「フォルダ」のいずれかの方法から探せます。

🎙️ 録音：

録音画面を表示します。録音を開始するには、●録音／一時停止ボタンを押します。

📶 Bluetooth：

REC RemoteやNFC、Bluetoothオーディオ機器など、Bluetooth機能を使用するメニューを表示します。

🔧 各種設定：

各種設定メニューを表示して、リニアPCMレコーダーのさまざまな設定ができます。



XX (*) 画面へ：

ホームメニューに入る前に表示していた画面に戻ります。

* XXには、現在使用している機能が表示されます。

ヒント

- ホームメニューで操作中に ■ 停止ボタンを押すと、ホームメニューに入る前に表示していた画面に戻ります。

関連項目

- [オプションメニューの使いかた](#)

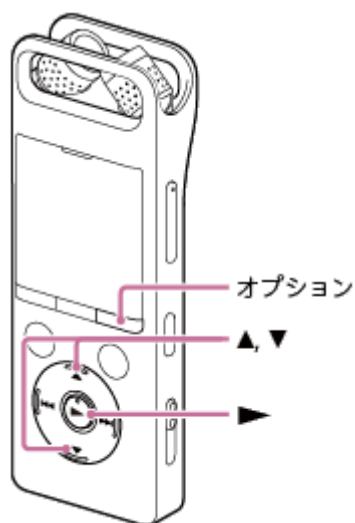
4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

オプションメニューの使いかた

オプションボタンを押すと、リニアPCMレコーダーの各機能に応じたオプションメニューが表示され、設定の変更などができます。

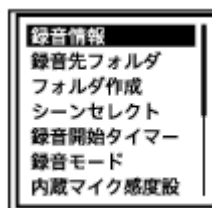
ご注意

- 画面によっては、オプションメニューが表示されないこともあります。



- 1 ホームメニューで機能を選んだあと、**オプションボタン**を押す。

使用している機能のオプションメニューが表示されます。



- 2 ▲または▼ボタンを押して、設定したい項目を選び、▶ボタンを押す。

- 3 ▲または▼ボタンを押して設定し、▶ボタンを押す。

ヒント

- 1つ前の画面に戻るには、メニュー操作中に戻る／ホームボタンを押します。

関連項目

- [ホームメニューの使いかた](#)
- [オプションメニュー一覧](#)

オプションメニュー一覧

オプションボタンを押して表示される、オプションメニューの一覧を紹介します。
操作や条件によっては表示されない項目もあります。

録音

録音中、録音停止中に表示できます。

- 録音情報：
録音情報の表示
- 録音先フォルダ：
録音先メモリーとフォルダを変更する
- フォルダ作成：
フォルダを作成する
- シーンセレクト：
用途に合わせた録音シーンを選ぶ
- 録音開始タイマー：
録音開始タイマーを使う
- 録音モード：
録音モードを選ぶ（録音モード）
- 内蔵マイク感度設定：
マイク感度を設定する（内蔵マイク感度設定）
- 外部入力設定：
外部機器の入力モードと入力感度を設定する（外部入力設定）
- 録音フィルター：
ノイズを軽減して録音する（録音フィルター）
- リミッター：
音のひずみを防ぐために入力を調整する（リミッター）
- プリレコーディング：
少し前から録音する（プリレコーディング機能）
- クロスメモリー録音：
メモリーを切り換えて録音を続ける（クロスメモリー機能）
- VOR：
音がしたとき自動録音する－VOR（Voice Operated Recording）録音
- 1ファイル削除：
ファイルを削除する

録音したファイル

録音したファイルの一覧を表示させているときや再生中、再生停止中に表示できます。

- 書き起こし用再生 :
録音を書き起こす (書き起こし用再生)
- 書き起こし終了 :
録音を書き起こす (書き起こし用再生)
- クリアボイス :
再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする - クリアボイス機能
- イコライザー :
音質を切り替える (イコライザー)
- キーコントロール :
音程を調節する (キーコントロール)
- イージーサーチ :
すばやく指定の場所を検索する (イージーサーチ)
- イージーサーチ間隔設定 :
すばやく指定の場所を検索する (イージーサーチ)
- 再生モード :
再生モードを変える
- 再生範囲設定 :
再生範囲を指定する
- 1ファイル削除 :
ファイルを削除する
- 保護 :
ファイルを保護する
- 保護解除 :
ファイルを保護する
- トラックマーク一覧 :
トラックマーク一覧から目的の再生位置を探す
- トラックマーク削除 :
トラックマークを削除する
- 分割 :
現在位置でファイルを分割する
すべてのトラックマーク位置でファイルを分割する
- リスト内全削除 :
フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する
- フォルダ内全削除 :
フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する
- ファイル移動 :
ファイルを別のフォルダに移動する
- ファイルコピー :
ファイルを別のフォルダにコピーする
- ファイル名変更 :
ファイル名を変更する
- ファイル情報 :

ファイル情報の表示

- フォルダ作成：
フォルダを作成する
- フォルダ削除：
フォルダを削除する
- フォルダ名変更：
フォルダ名を変更する

ミュージック

パソコンから転送した音楽ファイルの再生中、再生停止中に表示できます。

- 書き起こし用再生：
録音を書き起こす（書き起こし用再生）
- 書き起こし終了：
録音を書き起こす（書き起こし用再生）
- イコライザー：
音質を切り替える（イコライザー）
- キーコントロール：
音程を調節する（キーコントロール）
- イージーサーチ：
すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）
- イージーサーチ間隔設定：
すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）
- 再生モード：
再生モードを変える
- 再生範囲設定：
再生範囲を指定する
- 1ファイル削除：
ファイルを削除する
- 保護：
ファイルを保護する
- 保護解除：
ファイルを保護する
- トラックマーク一覧：
トラックマーク一覧から目的の再生位置を探す
- トラックマーク削除：
トラックマークを削除する
- リスト内全削除：
フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する
- フォルダ内全削除：
フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する
- ファイル情報：
ファイル情報の表示

- フォルダ削除 :
[フォルダを削除する](#)

関連項目

- [オプションメニューの使いかた](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

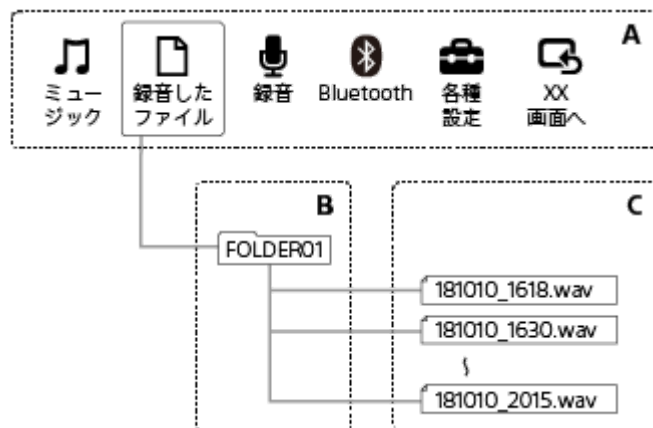
リニアPCMレコーダー
PCM-A10

フォルダとファイルについて

リニアPCMレコーダー上で見えるフォルダとファイルの構成について説明します。

「 録音したファイル」の場合

「FOLDER01」：録音したファイルが保存されます。

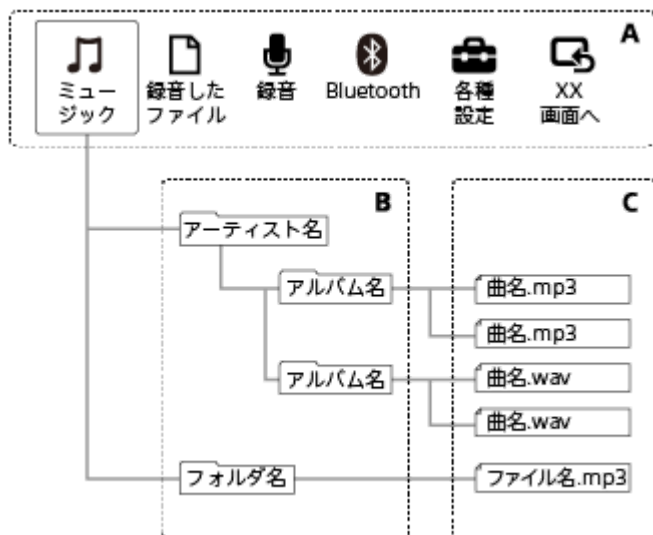


A：ホームメニュー

B：フォルダ

C：ファイル

「 ミュージック」の場合



A：ホームメニュー

B：フォルダ

C：ファイル

関連項目

- [ファイルを別のフォルダに移動する](#)
- [ファイルを別のフォルダにコピーする](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

ホームメニュー操作時の表示

ホームメニュー操作時の表示を説明します。



ご注意

- 記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

1. ホームメニュー表示

以下のメニューを選択できます。

- 🎵 : ミュージック
- 📁 : 録音したファイル
- 🎤 : 録音
- 📶 : Bluetooth
- 🛠️ : 各種設定
- 🏠 : XX画面へ (XXには、現在使用している機能が表示されます。)

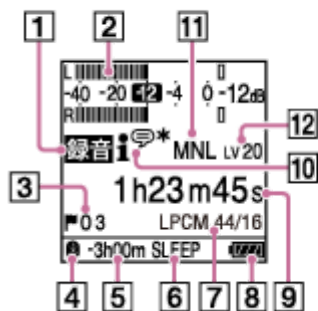
関連項目

- [ホームメニューの使いかた](#)

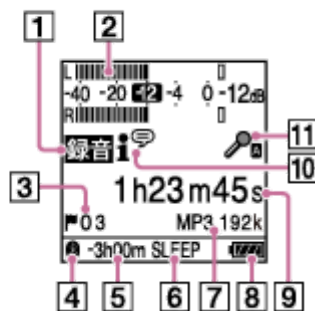
録音時／録音停止時の表示

録音時／録音停止時に画面に表示される項目やアイコンを説明します。

<マニュアル録音時>



<自動調整 (AGC) 録音時>



ご注意

- 記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

1. 動作モード表示

リニアPCMレコーダーの動作状態に応じて下記のように表示されます。

録音: 録音中

●: 録音一時停止中に点滅

■: 停止中

2. ピークレベルメーター表示

録音時、録音音量の目安に、入力されている音量のレベルと最適音量域を表示します。
録音中に録音レベルがオーバーしているときは「OVER」が表示されます。

3. トラックマーク

設定されているトラックマークの数を表示します。

4. Bluetoothマーク

Bluetooth機能がオンになっているときに表示されます。

5. 録音可能時間表示

録音可能時間を時間、分、秒で表示します。

10時間以上の場合：表示なし

10分以上、10時間未満の場合：時間と分

10分未満の場合：分と秒

6. スリープタイマー表示

スリープタイマーが設定されているときに表示されます。

7. 録音モード表示

メニューで設定されている録音モードが表示されます。

LPCM 96/24、LPCM 48/24、LPCM 48/16、LPCM 44/24、LPCM 44/16: リニアPCMファイル
MP3 320k、MP3 192k、MP3 128k、MP3 48k: MP3ファイル

8. 電池マーク

9. 経過時間表示

録音の経過時間を表示します。

10. シーンセレクト設定表示

選択しているシーンが表示されます。

 : おまかせボイス

 : 会議

 : 講義

 : ボイスメモ

 : インタビュー

 : 歌・音楽

 : バンド（大音量）

 : Myシーン1

 : Myシーン2

11. 感度設定表示

メニューで設定されている、内蔵マイクまたは外部入力の感度設定が表示されます。

 : オート

 : 高

 : 中

 : 低

 : 高（音楽）

 : 中（音楽）

 : 低（音楽）

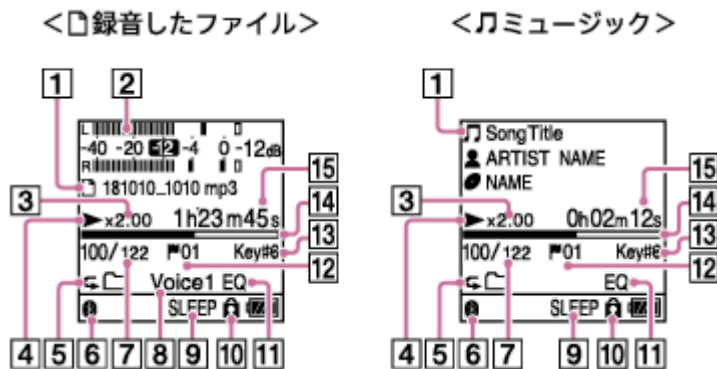
MNL : マニュアル

12. 録音レベル表示（マニュアル録音時のみ）

▲または▼ボタンを押して設定される、録音レベルを表示します。

再生時の表示

再生時に画面に表示される項目やアイコンを説明します。



ご注意

- 記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

1. ファイル情報表示

再生中のファイルの情報が表示されます。

リニアPCMレコーダーで録音されたファイルは、下記のように表示されます。

📄: ファイル名を表示: 年月日_時刻.拡張子 (例: 181010_1010.wav)

音楽ファイルは、下記の情報が表示されます。

🎵: 曲名を表示

👤: アーティスト名を表示

💿: アルバム名を表示

2. ピークレベルメーター表示 (「📄 録音したファイル」のみ)

録音時の入力レベルを表示します。

3. DPC速度

再生速度を変更して再生しているときに表示されます。

4. 動作モード表示

リニアPCMレコーダーの動作状態に応じて下記のように表示されます。

▶: 再生中

⏮▶: 早戻し/早送り再生中

5. 再生モード/再生範囲設定

アイコンなし: ノーマル (「再生モード」の設定)

🔄: リピート (「再生モード」の設定)

1: 1ファイル再生 (「再生モード」の設定)

🔄1: 1ファイルリピート (「再生モード」の設定)

🔄: シャッフル (「再生モード」の設定)

🔄🔄: シャッフルリピート (「再生モード」の設定)

📄: 選択範囲内を再生 (「再生範囲設定」の設定)

6. Bluetoothマーク

Bluetooth機能がオンになっているときに表示されます。

7. ファイル位置情報表示

再生中のファイル番号/再生予定総ファイル数を表示します。

8. クリアボイス (「録音したファイル」のみ)

「クリアボイス」が「クリアボイス1」、「クリアボイス2」のときに表示されます。

Voice1 : クリアボイス1

Voice2 : クリアボイス2

9. スリープタイマー表示

スリープタイマーが設定されているときに表示されます。

10. 保護マーク

ファイルが保護設定されているときに表示されます。

11. イコライザー表示

音質を切り換えているときに表示されます。

12. トラックマーク表示

現在位置のトラックマーク番号が表示されます。トラックマークが設定されているときにだけ表示されます。

13. キー表示

オプションメニューの「キーコントロール」で設定されている音程を表示します。

14. 再生位置表示

現在の再生位置を表示します。

15. 経過時間表示

1ファイルの再生経過時間を表示します。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

録音情報の表示

録音可能時間や録音先のメモリー、フォルダの設定などを表示します。
録音情報を表示するには、録音停止中にオプションメニュー「録音情報」を選び、▶ ボタンを押して決定します。



表示される録音情報は以下のとおりです。

録音可能時間：

録音可能な残り時間を表示します。

録音先メモリー：

録音先のメモリー（「内蔵メモリー」または「SDカード」）を表示します。

録音先フォルダ：

録音先のフォルダ名を表示します。

シーンセレクト：

選択中のシーンを表示します。

シーン選択後に録音設定を変更した場合は、設定項目の左側に「*」が表示されます。

シーンセレクトのお買い上げ時の設定については、「[シーンセレクト機能のお買い上げ時の録音設定について](#)」をご覧ください。

録音モード：

選択中の録音モードを表示します。

入力：

入力モードを表示します。

感度設定：

感度の設定状態を表示します。

録音フィルター：

録音フィルターの設定状態を表示します。

リミッター：

リミッター機能の設定状態を表示します。

プリレコーディング：

プリレコーディング機能の設定状態を表示します。

VOR：

VOR録音機能の設定状態を表示します。

シンクロ録音：

シンクロ録音機能の設定状態を表示します。

自動トラックマーク：

自動トラックマークの設定状態を表示します。

自動トラックマークの時刻情報：

自動トラックマークの時刻情報の設定状態を表示します。

クロスメモリー録音：

クロスメモリー録音の設定状態を表示します。

ヒント

- 録音情報は、録音停止中に ■ 停止ボタンを押して表示することもできます。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

ファイル情報の表示

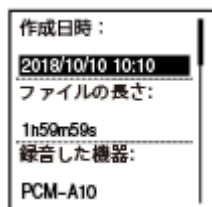
現在選択しているファイルの情報（ファイルの長さや録音モード、作成日時など）を説明します。

ご注意

- 記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

リニアPCMレコーダーで録音したファイルまたは音楽ファイルの再生停止中に、オプションメニューから「ファイル情報」を選ぶと、現在選択されているファイルの情報を表示します。▲または▼ボタンを押して、表示をスクロールします。
確認できる情報は以下のとおりです。

録音したファイルの情報表示



- 作成日時：ファイルの録音日時（年/月/日/時刻）を表示します。
- ファイルの長さ：ファイルの記録時間を時間、分、秒で表示します。
- 録音した機器：録音した機器を表示します。
- シーンセレクト：録音時のシーンセレクト設定を表示します。
- 録音モード：録音時の録音モード設定を表示します。
- 感度設定：録音時の感度の設定状態を表示します。
- 録音フィルター：録音時の録音フィルター設定を表示します。
- リミッター：録音時のリミッター機能の設定を表示します。
- VOR：録音時のVOR機能の設定を表示します。
- 入力：録音時の入力を表示します（内蔵マイク、外部マイク、AUDIO IN）。
- メモリー：ファイルの保存先メモリーを表示します。
- ファイルパス：ファイルのパスを表示します。

音楽ファイルの情報表示



- ファイルの長さ：ファイルの記録時間を時間、分、秒で表示します。
- コーデック：音楽ファイルのコーデックを表示します。
- ビットレート：音楽ファイルのビットレートを表示します。
- サンプリング周波数：音楽ファイルのサンプリング周波数を表示します。
- 量子化ビット数：音楽ファイルの量子化ビット数を表示します。
- メモリー：ファイルの保存先メモリーを表示します。
- ファイルパス：ファイルのパスを表示します。

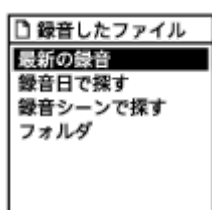
検索方法選択時の表示

ホームメニューで「 録音したファイル」または「 ミュージック」を選ぶと、ファイルの検索方法を選択する表示窓が表示されます。

ご注意

- 記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

録音したファイル選択時



以下の検索方法から選択できます。

最新の録音：

最新の録音ファイルを再生します。

録音日で探す：

録音日からファイルを探します。

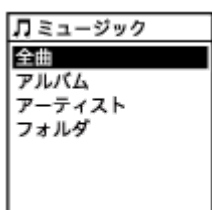
録音シーンで探す：

録音シーンからファイルを探します。

フォルダ：

選択したフォルダからファイルを探します。

音楽ファイル選択時



以下の検索方法から選択できます。

全曲：

全曲の曲名リストからファイルを探します。

アルバム：

全アルバムのアルバム名リストからファイルを探します。

アーティスト：

全アーティストのアーティスト名リストからファイルを探します。

フォルダ：

選択したフォルダからファイルを探します。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

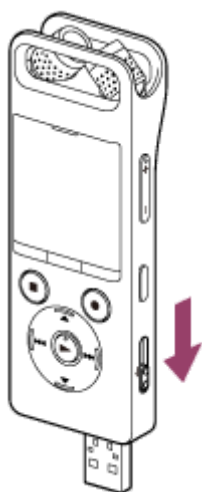
パソコンを使って充電する

リニアPCMレコーダーはパソコンを使って充電することができます。
はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、電池マークが「**FULL**」になるまで連続して充電してください。

電池を使いきった状態から約3時間（*）で充電が完了します。

* 室温で電池残量がない状態から電池を充電したときの目安です。電池の残量や電池の状態などにより、上記の充電時間と異なる場合があります。

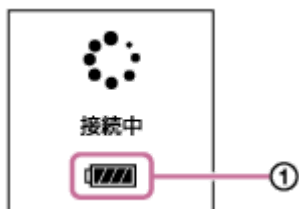
1 USBつまみを矢印の方向へスライドさせる。



2 起動しているパソコンにUSB端子を差し込む。



充電中は、電池マーク（①）がアニメーション表示されます。



充電が完了すると、電池マークが「**FULL**」（②）と表示されます。



ご注意

- 起動していないパソコンに接続しても充電できません。また、パソコンが起動していても、休止状態（スタンバイ、スリープ）のときは充電できません。

関連項目

- [リニアPCMレコーダーをパソコンから取り外す](#)
- [リニアPCMレコーダーをパソコンに接続する](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

リニアPCMレコーダーをパソコンから取り外す

必ず下記の手順で取り外してください。

この手順で行わないと、リニアPCMレコーダーにデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

1 画面に「アクセス中」と表示されていないことを確認する。

2 パソコンで下記の操作を行う。

- Windowsの場合：
タスクバー（パソコンの画面右下）にある「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」アイコンをクリックしてください。



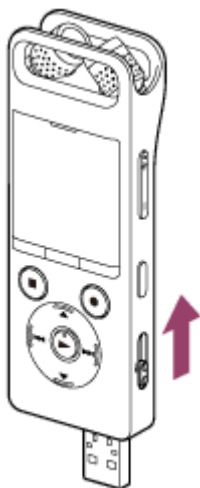
→ [PCMRECORDERの取り出し] をクリックしてください。

アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。

お使いのパソコンの設定によっては、タスクバーにアイコンが表示されない場合があります。

- Macの場合：
Finderのサイドバーに表示されている「PCMRECORDER」の取り外しアイコンをクリックしてください。

3 リニアPCMレコーダーをパソコンのUSBポートから外し、リニアPCMレコーダーのUSBつまみを矢印の方向にスライドしてUSB端子を収納する。



ヒント

- パソコンから取り外す方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [パソコンを使って充電する](#)

- [リニアPCMレコーダーをパソコンに接続する](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

USB ACアダプターにつないで使う／充電する

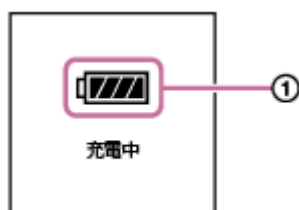
USB ACアダプターを使って、家庭用電源コンセントにつないで充電することもできます。
充電をしながらリニアPCMレコーダーを使用することができるため、長時間録音をする場合などに便利です。
市販のUSB ACアダプターを使用するときは、出力電流500 mA以上で給電可能なUSB ACアダプターをご使用ください。これ以外の機器からの充電は保証しておりません。

- 1 USB ACアダプターをコンセントにつなぐ。
- 2 リニアPCMレコーダーのUSBつまみをスライドし、USB ACアダプターにつなぐ。



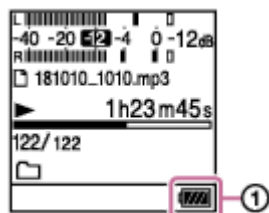
A: USB ACアダプター（別売）
充電中は、電池マーク（①）がアニメーション表示されます。

- <電源オフ時の表示>
USB ACアダプター接続後に電源をオフにすると、大きな電池マークが表示されます。



充電が完了して画面に「FULL」と表示されてから、1時間が経過すると画面が消灯します。

- <再生時の表示>
充電をしながらリニアPCMレコーダーを使うことができます。



ご注意

- 録音中（録音ランプが赤に点灯）や録音一時停止中（録音ランプが赤に点滅）は、コンセントにつないだ状態のUSB ACアダプターからリニアPCMレコーダーを抜き差ししたり、リニアPCMレコーダーを接続したUSB ACアダプターをコンセントから抜き差ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
- USB ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

関連項目

- [USB ACアダプターからリニアPCMレコーダーを取り外す](#)
- [電池の持続時間](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

USB ACアダプターからリニアPCMレコーダーを取り外す

必ず下記の手順で取り外してください。この手順で行わないと、リニアPCMレコーダーにデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

- 1 録音や再生などの動作中の場合、 ■ 停止ボタンを押して動作を停止する。
- 2 リニアPCMレコーダーをUSB ACアダプターから取り外し、USB ACアダプターをコンセントから抜く。

ご注意

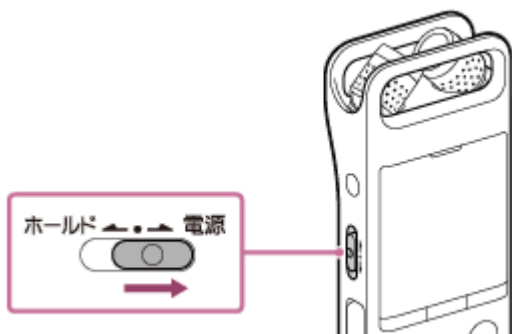
- 録音中（録音ランプが赤に点灯）や録音一時停止中（録音ランプが赤に点滅）は、コンセントにつないだ状態のUSB ACアダプターからリニアPCMレコーダーを抜き差ししたり、リニアPCMレコーダーを接続したUSB ACアダプターをコンセントから抜き差ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

関連項目

- [USB ACアダプターにつないで使う／充電する](#)

電源を入れる

- 1 画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせる。



ヒント

- 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。（お買い上げ時の設定は、30分になっています。）
- スリープタイマーが設定されているときは、設定時間になると自動的に電源が切れます。
- 最後に電源を切ってから4時間以内に再度電源を入れた場合は、すばやく起動します。

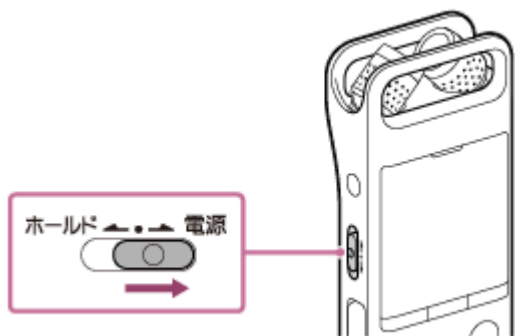
関連項目

- [電源を切る](#)
- [電源が自動的に切れるまでの時間を設定する（オートパワーオフ）](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

電源を切る

- 1 「電源オフ」と表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせる。



ご注意

- ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へ8秒間スライドさせたままの状態にすると、リニアPCMレコーダーがリスタートします。動作中にリスタートすると、リニアPCMレコーダーに保存しているデータや設定が削除される場合がありますのでご注意ください。

ヒント

- 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。（お買い上げ時の設定は、30分になっています。）
- スリープタイマーが設定されているときは、設定時間になると自動的に電源が切れます。

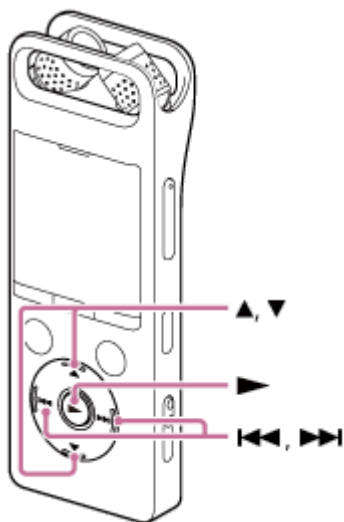
関連項目

- [電源を入れる](#)
- [電源が自動的に切れるまでの時間を設定する（オートパワーオフ）](#)
- [リニアPCMレコーダーのリスタートについて](#)

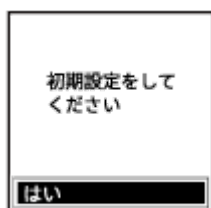
初期設定をする

お買い上げのあと、初めて電源を入れた際に「初期設定をしてください」と表示されます。

初期設定では、時計と操作音の設定を行います。



- 1 「はい」を選択した状態で、▶ ボタンを押す。



- 2 年月日と時分を合わせる。

▲または▼ボタンを押して、年の数字（西暦）を選び、▶ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。

◀◀または▶▶ボタンを押して、次の項目に進んだり、前の項目に戻ったりすることができます。また、戻る／ホームボタンを押して、1つ前の項目に戻ることもできます。

「分」の数字を選び、▶ボタンを押すと、設定が時計に反映されます。

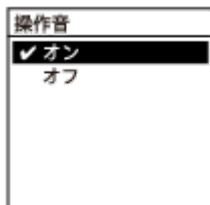


- 3 ▲または▼ボタンを押して「次へ」を選ぶ。



操作音の設定画面が表示されます。

- 4 ▲または▼ボタンを押して「オン」または「オフ」を選び、▶ボタンを押す。



設定が完了すると、ホームメニューが表示されます。

ヒント

- 時計設定と操作音設定は、ホームメニュー－「 各種設定」－「共通設定」で後から変更することもできます。
- 初期設定後、リニアPCMレコーダーをホールドにすると現在時刻が表示されます。

関連項目

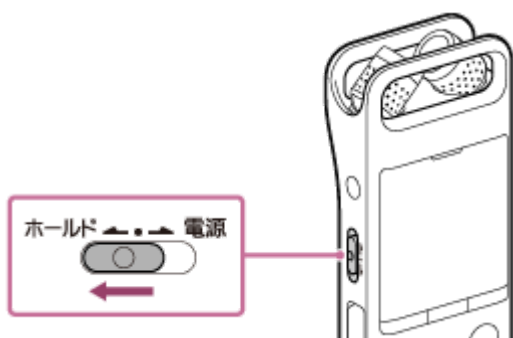
- [日付や時刻を合わせる（日付時刻設定）](#)
- [時刻表示の形式を選ぶ（時刻表示形式）](#)
- [操作音の設定をする（操作音）](#)
- [ホームメニュー操作時の表示](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

誤操作を防止する（ホールド）

リニアPCMレコーダーを持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐために、すべてのボタン操作が無効にすることができます（ホールド）。

- 1 ホールド・電源スイッチを「ホールド」の方向にスライドさせる。



電源が入っているときに操作すると、「ホールド」と現在時刻が約3秒間表示され、すべてのボタン操作が無効になります。



ご注意

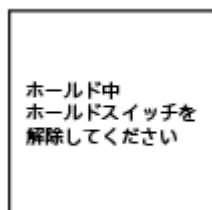
- ホールドにした場合、すべてのボタン操作が無効になります。操作する場合は、ホールドを解除してください。

関連項目

- [ホールドを解除する](#)

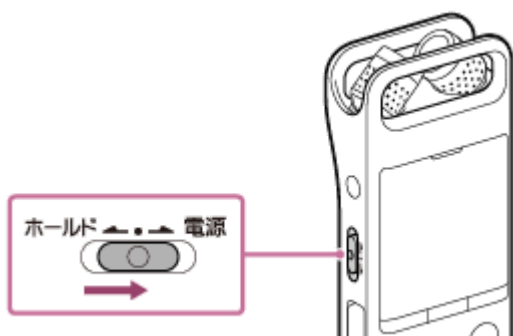
ホールドを解除する

ホールドになっているときにボタンを操作すると、「ホールド中 ホールドスイッチを解除してください」と表示されます。



ホールド機能を解除してボタン操作ができるようにしてください。

- 1 ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドさせる。



関連項目

- [誤操作を防止する（ホールド）](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

マニュアル録音する

音源の状態に合わせて、録音レベルを手動で調節することができます。

ご注意

- 録音中、リニアPCMレコーダーに手などがあたったり、こすったりすると雑音が録音されてしまうことがあります。

ヒント

- 録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニターをしながら録音することをおすすめします。録音モニターの方法について詳しくは、「[録音中の音をモニターする](#)」をご覧ください。
- 録音した音声ファイルは、お買い上げ時の設定では「 録音したファイル」の「FOLDER01」フォルダに保存されます。「FOLDER01」以外のフォルダに録音したい場合は、「[録音先メモリとフォルダを変更する](#)」をご覧ください。

1 ホームメニュー「 録音」を選び、▶ ボタンを押して決定する。

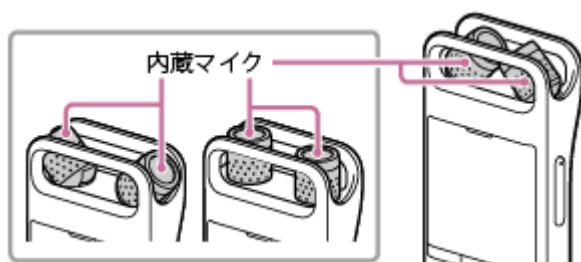
録音停止画面が表示されます。

2 録音を保存したいメモリ（内蔵メモリまたはSDカード）とフォルダを選ぶ。

microSDカードに録音したい場合は、メモリの切り替えが必要です。録音停止中にオプションメニュー「録音先フォルダ」を選び、「メモリ選択」で「SDカード」を選択してから録音を始めてください。

3 内蔵マイクの向きを変える。

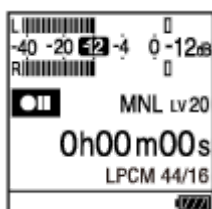
録音したい方向に合わせて、手動で内蔵マイクの向きを変えます。



4 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。

5 ● 録音／一時停止ボタンを長押しする。

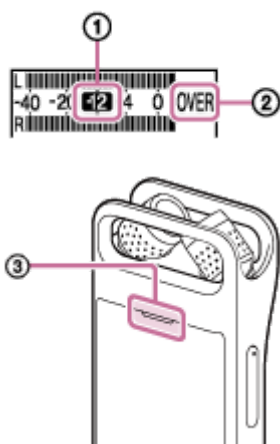
録音ランプが赤く点滅して、録音スタンバイ状態になります。マイクの音が入ると、録音レベルのピークレベルメーターが動きます。



6 ▲または▼ボタンを押して、音源の状態に合わせて、録音レベルを調節する。

録音レベルは、ピークレベルメーターで確認できます。-12 dBを目安に、音源にあった適切な範囲に調節します（①）。

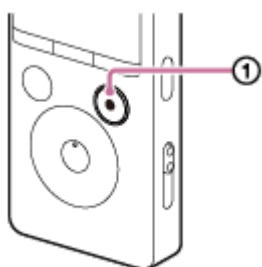
録音レベルが大きすぎるときは、表示窓に「OVER」（②）が表示され、ピークランプ（③）が点灯します。この場合は音がひずみますので、「OVER」とピークランプが消えるまで▼ボタンを押して録音レベルを下げてください。



あらかじめ音量確認ができる場合は、リハーサル機能を使うと録音レベルの調整を簡単に行うことができます。

7 ●録音／一時停止ボタンを押す。

録音が表示されて録音が始まり、録音ランプ（①）が赤く点灯します。



8 録音を止めるには、■停止ボタンを押す。

「保存中」と表示され、録音停止画面に戻ります。

録音停止後に▶ボタンを押すと、今録音したファイルを再生できます。

ご注意

- マニュアル録音時は、VOR録音はできません。

ヒント

- 別売のステレオヘッドホンをつないで（ヘッドホン）ジャックにつないで、録音中の音を確認しながら録音することをおすすめします。ただし、Bluetoothで接続したヘッドホンでは、録音中の音を確認することができません。
- 再生中やメニューを表示中でも、●録音／一時停止ボタンを押すと録音を開始できます。
- 録音中は、メニューを表示していても、●録音／一時停止ボタンを押して録音を一時停止できます。
- ファイルは、録音開始日時に録音モードの拡張子が付いたもの（例：181010_1010.wav）がファイル名となります。
- 録音の途中でファイルサイズの上限（LPCMは4 GB、MP3は1 GB）を超えてしまう場合は、ファイルが分割されます。分割された位置の前後で音切れが発生する場合があります。
1ファイル最大録音可能時間は、「[最大録音時間](#)」をご覧ください。

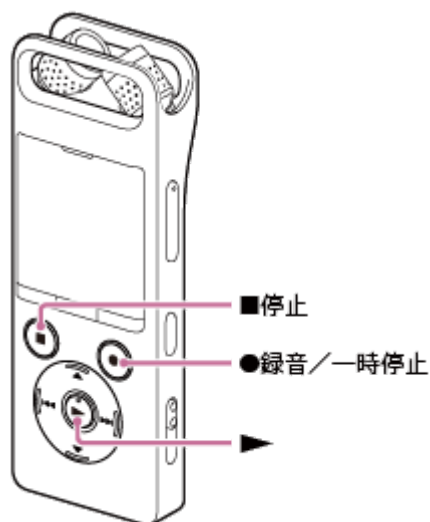
関連項目

- [最適な録音レベル設定で録音する（リハーサル機能）](#)
- [音がしたとき自動録音する－VOR（Voice Operated Recording）録音](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

内蔵マイクで録音する（自動調整（AGC）録音）

設定した内蔵マイク感度と録音モードで録音を行います。



ご注意

- 録音中、リニアPCMレコーダーに手などがあたったり、こすったりすると雑音が入ってしまうことがあります。

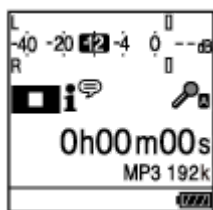
ヒント

- 録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニターをしながら録音することをおすすめします。録音モニターの方法について詳しくは、「[録音中の音をモニターする](#)」をご覧ください。
- 録音した音声ファイルは、お買い上げ時の設定では「 録音したファイル」の「FOLDER01」フォルダに保存されます。「FOLDER01」以外のフォルダに録音したい場合は、「[録音先メモリーとフォルダを変更する](#)」をご覧ください。

1 ホームメニュー－「 録音」を選び、▶ ボタンを押して決定する。

録音停止画面が表示されます。

マニュアル録音になっている場合は、オプションメニュー－「内蔵マイク感度設定」－「自動調整(AGC)」を選び、▶ ボタンを押して決定してください。

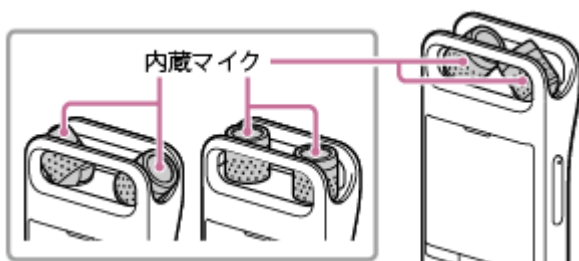


2 録音を保存したいメモリー（内蔵メモリーまたはSDカード）とフォルダを選ぶ。

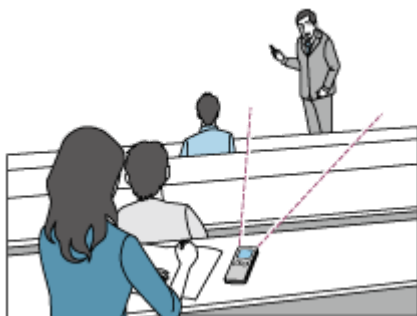
microSDカードに録音したい場合は、メモリーの切り替えが必要です。録音停止中にオプションメニュー－「録音先フォルダ」を選び、「メモリー選択」で「SDカード」を選択してから録音を始めてください。

3 内蔵マイクの向きを変える。

録音したい方向に合わせて、手動で内蔵マイクの向きを変えます。

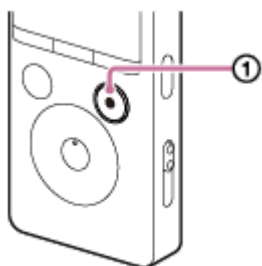


4 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。



5 ●録音／一時停止ボタンを押す。

録音が表示されて録音が始まり、録音ランプ (①) が赤く点灯します。



●録音／一時停止ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。

録音中は録音レベルのピークレベル (②) が表示されます。

図のように、録音中の入力レベルが、ピークレベルメーターの-12 dB付近になるように、内蔵マイクの方角や音源からの距離を調節したり、内蔵マイクの感度を設定したりして、音源に合った適切な範囲に調節してください。



6 録音を止めるには、■停止ボタンを押す。

「保存中」と表示され、録音停止画面に戻ります。

録音停止後に▶ボタンを押すと、今録音したファイルを再生できます。

ご注意

- 画面上に「保存中」と表示されている間は、メモリーへ録音データを記録しています。別売のUSB ACアダプターを使用している場合は、USB ACアダプターを抜き差ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

ヒント

- 再生中やメニューを表示中でも、● 録音／一時停止ボタンを押すと録音を開始できます。
- 録音中は、メニューを表示していても、● 録音／一時停止ボタンを押して録音を一時停止できます。
- ファイルは、録音開始日時に録音モードの拡張子が付いたもの（例：181010_1010.wav）がファイル名となります。
- 録音の途中でファイルサイズの上限（LPCMは4 GB、MP3は1 GB）を超えてしまう場合は、ファイルが分割されます。分割された位置の前後で音切れが発生する場合があります。
1ファイル最大録音可能時間は、「[最大録音時間](#)」をご覧ください。
- 再生または停止中に● 録音／一時停止ボタンを長押しすると、録音一時停止状態となります。不要な音声データを録音することなく録音レベルを調整するときに便利です。

関連項目

- [いろいろな録音操作](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

ピークレベルメーターについて

録音中は、録音レベルのピークレベル（①）が表示されます。
左右の内蔵マイクそれぞれの入力レベルが表示されます。



図のように、録音中の入力レベルが、ピークレベルメーターの－12 dB付近になるように、内蔵マイクの方向や音源からの距離を調節したり、内蔵マイクの感度を設定したりして、音源に合った適切な範囲に調節してください。マイク感度の設定方法については「[マイク感度を設定する（内蔵マイク感度設定）](#)」をご覧ください。

ヒント

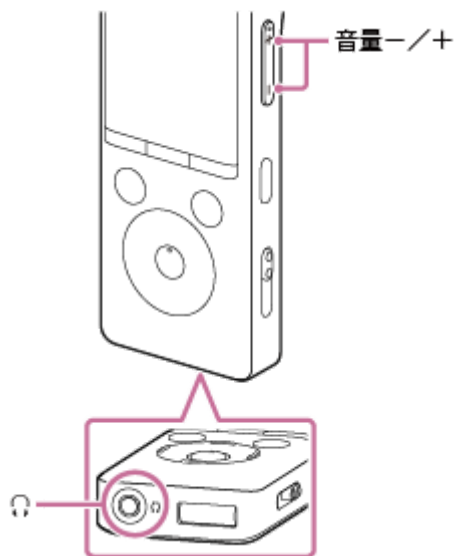
- 入力レベルが小さいときは、音源の近くに移動したり、マイク感度を高く設定することをおすすめします。

関連項目

- [マニュアル録音する](#)
- [内蔵マイクで録音する（自動調整（AGC）録音）](#)

録音中の音をモニターする

録音の際は、録音中の音を確認しながら録音することをおすすめします。別売のヘッドホンを ϕ （ヘッドホン）ジャックにつなぐと、録音中の音をモニターすることができます。



- 1 別売のヘッドホンを ϕ （ヘッドホン）ジャックにつなぐ。
- 2 音量-/+ボタンを押して音量を調節する。

録音される音量に影響はありません。

ご注意

- Bluetooth機能で接続したヘッドホンでは、録音中の音を確認することができません。

関連項目

- [マニュアル録音する](#)
- [内蔵マイクで録音する（自動調整（AGC）録音）](#)

いろいろな録音操作

録音中には次のような操作を行うことができます。

録音を一時停止する

- 録音／一時停止ボタンを押す。
録音一時停止中は録音ランプが赤く点滅し、（録音一時停止）表示が点滅します。

録音一時停止を解除する

- もう一度 ● 録音／一時停止ボタンを押す。
先ほど録音していたファイルに続けて録音することができます。（録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、■ 停止ボタンを押します。）

今録音したばかりのファイルを聞く

- 録音停止中に ► ボタンを押す。
録音が解除され、今録音したファイルのはじめから聞くことができます。

ヒント

- 内蔵メモリーまたはmicroSDカードの残量が録音途中でなくなった場合、自動的にもう一方のメモリーに切り換えて録音を続けることができます（クロスメモリー録音）。

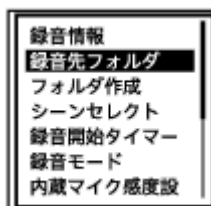
関連項目

- [マニュアル録音する](#)
- [内蔵マイクで録音する（自動調整（AGC）録音）](#)
- [メモリーを切り換えて録音を続ける（クロスメモリー機能）](#)

録音先メモリーとフォルダを変更する

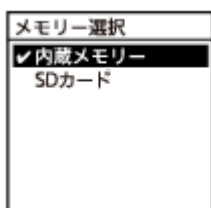
お買い上げ時には、通常録音の録音先フォルダが「内蔵メモリー」の「FOLDER01」に設定されています。
以下の手順で、録音先メモリーとフォルダの設定を変更することができます。

- 1 録音停止中にオプションメニュー－「録音先フォルダ」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「メモリー選択」画面が表示されます。

- 2 ▲または▼ ボタンを押して「内蔵メモリー」または「SDカード」を選び、▶ ボタンを押す。



- 3 ▲または▼ ボタンを押してフォルダを選び、▶ ボタンを押す。

ヒント

- 新規フォルダの作成方法については、「[フォルダを作成する](#)」をご覧ください。

可動式マイクを使いこなす

本機では、録音するシーンに合わせて3種類のマイクポジションに手動で変えることができます。

内蔵マイクを同一方向（0度の位置）に向けた場合（ズームポジション）

内蔵マイクを向けた方向の音を中心に録音できます。ボイスメモやインタビュー録音など、特定の方向の音を録音するときにおすすめです。

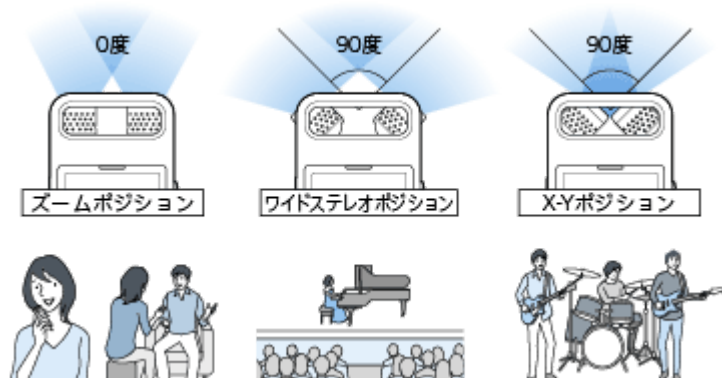
内蔵マイクを外側（90度の位置）に向けた場合（ワイドステレオポジション）

右側に設置された内蔵マイクが右方向の音を、左側に設置された内蔵マイクが左方向の音を拾います。会議、ホールでの演奏、講演会、野外での鳥の声など、左右に広がりのある音（ワイドなステレオ感）を録音するときにおすすめです。

両方の内蔵マイクを内側（90度の位置）に向けた場合（X-Yポジション）

右側に設置された内蔵マイクが左方向の音を、左側に設置された内蔵マイクが右方向の音を拾います。スタジオなどで音楽を録音する場合など、自然で奥行きのある音を録音するときにおすすめです。

「X-Yポジション」に設定した場合は、本体を音源に近づけすぎないでください。近づけすぎると音が左右逆に入力されることがあります。

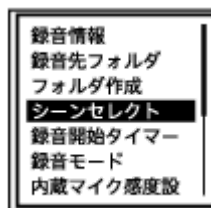


用途に合わせた録音シーンを選ぶ

さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます（シーンセレクト機能）。

「Myシーン1」、「Myシーン2」にはお好みの設定を保存できます。

- 1 録音停止中にオプションメニュー - 「シーンセレクト」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して、お好みのシーンを選び、▶ ボタンを押す。



メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

シーンセレクトオフ：

録音シーンを選ばないときに選択します（お買い上げ時の設定）。

i 〇 おまかせボイス：

音声全般を録音するときに適しています。

会議：

広い会議室での録音など、幅広い用途に適しています。

講演：

講演会や講義を録音するときに適しています。

ボイスメモ：

マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。

インタビュー：

インタビューや少人数での会議、打ち合わせなど、1～2 mくらいの距離で人の声を録音するときに適しています。

歌・音楽：

合唱の練習やアコースティックギター、ピアノ、バイオリンなどの楽器の音を1～2 mくらいの距離で録音するときに適しています。

バンド（大音量）：

大音量で演奏するバンド系の音を録音するときに適しています。

Myシーン1 / Myシーン2：

録音モード、内蔵マイク感度設定などをお好みに合わせて編集することができます。

ヒント

- 歌や音楽の録音は、マニュアル録音またはリハーサル機能での録音をおすすめします。

関連項目

- [マニュアル録音する](#)
- [シーンセレクト機能のお買い上げ時の録音設定について](#)
- [最適な録音レベル設定で録音する（リハーサル機能）](#)
- [各種設定メニュー一覧](#)
- [お好みの録音設定をMyシーンに登録する](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

お好みの録音設定をMyシーンに登録する

「Myシーン1」または「Myシーン2」にはお好みの設定を保存できます。

1 録音に関するメニューをお好みに設定する。

設定できるのは以下のメニューです。

- 録音モード
- 内蔵マイク感度設定
- 外部入力設定
- 録音フィルター
- VOR
- リミッター

2 メニューの「シーンセレクト」で「Myシーン1」または「Myシーン2」を選び、▶ ボタンを押す。

3 ▲ または ▼ ボタンを押して「登録」を選び、▶ ボタンを押す。

「現在の録音設定を登録しますか？」と表示されます。

4 ▲ または ▼ ボタンを押して「はい」を選び、▶ ボタンを押す。

ヒント

- シーン選択中に、録音設定を変更すると、シーンのアイコンの隣に「*」マークが表示されます。その状態で別のシーンを選択すると、「現在の設定は保存されません。MYシーンに登録しますか？」と、メッセージが表示されます。シーンを変更する前の設定を登録したい場合は、「はい」を選択し、登録先で「Myシーン1」または「Myシーン2」を選択してください。

関連項目

- [用途に合わせた録音シーンを選ぶ](#)
- [シーンセレクト機能のお買い上げ時の録音設定について](#)
- [録音モードを選ぶ（録音モード）](#)
- [マイク感度を設定する（内蔵マイク感度設定）](#)
- [ノイズを軽減して録音する（録音フィルター）](#)
- [音がしたとき自動録音する－VOR（Voice Operated Recording）録音](#)
- [音のひずみを防ぐために入力を調整する（リミッター）](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

より良い音で録音するには

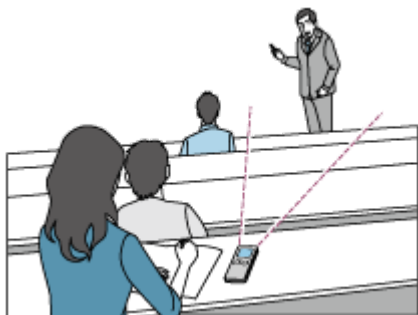
会議録音

発表者に近い場所で録音してください。
ハンカチなどの上にリニアPCMレコーダーを乗せることで、机から伝わる振動音などのノイズを低減できます。
シーンセレクトを使うときは「おまかせボイス」または「会議」を選びます。



授業・講演会録音

マイクを音源の方向に向けて録音します。
シーンセレクトを使うときは「講演」を選びます。



メモ録・口述録音

録音するときは、マイク部に息がかからないように口のやや横に本体を近づけましょう。
シーンセレクトを使うときは「おまかせボイス」または「ボイスメモ」を選びます。

ご注意

- リニアPCMレコーダーを手にとって録音するときは、リニアPCMレコーダーに触れたときのノイズ（タッチノイズ）が録音されないようにしてください。



インタビュー録音

マイクをインタビュー相手に向けて録音します。
シーンセレクトを使うときは「おまかせボイス」または「インタビュー」を選びます。



歌や音楽の録音

ステレオ録音モードで臨場感のある録音ができます。
リニアPCMレコーダーをピアノの上に置いて録音すると、ピアノを弾くときの振動も一緒に録音されてしまいます。リニアPCMレコーダーをピアノの近くに置いて録音してください。
専用ソフト（Sound Organizer 2）を使えばパソコンでCDにも記録できます。詳しくは、「[Sound Organizer 2でできること（Windowsのみ）](#)」をご覧ください。
シーンセレクトを使うときは「歌・音楽」を選びます。
楽器の近くに置いたとき、大きな音でひずむ場合は、メニューの「内蔵マイク感度設定」－「音楽用」を「 低（音楽）」に設定してください。ひずみの少ない録音ができます。詳しくは、「[マイク感度を設定する（内蔵マイク感度設定）](#)」をご覧ください。



バンド（大音量）の録音

大きな音のバンド練習やカラオケなどの録音を1 m ～ 2 mくらいの距離で録音するときに適しています。
シーンセレクトを使うときは「バンド（大音量）」を選びます。

ご注意

- 大きな音でひずむ場合は、距離を離して録音してください。



ヒント

- 「レコーディングテクニックガイド」（別冊）を読んで本体をセッティングすると、より良い録音が可能です。

関連項目

- [用途に合わせた録音シーンを選ぶ](#)
- [ノイズを軽減して録音する（録音フィルター）](#)
- [マイク感度を設定する（内蔵マイク感度設定）](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

シーンセレクト機能のお買い上げ時の録音設定について

シーンセレクト機能の各項目は、以下のように設定されています（お買い上げ時の設定）。

	 おまかせボイス	 会議	 講演	 ボイスメモ	 インタビュー
録音モード	MP3 192 kbps	MP3 192 kbps	MP3 192 kbps	MP3 192 kbps	MP3 192 kbps
内蔵マイク感度設定	オート	中	高	低	中
外部入力設定（MIC IN）	オート	中	高	低	中
VOR	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
リミッター	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
録音フィルター	NCF(Noise Cut)	NCF(Noise Cut)	NCF(Noise Cut)	LCF(Low Cut)	NCF(Noise Cut)

	 歌・音楽	 バンド（大音量）	 Myシーン1 / Myシーン2	オフ
録音モード	LPCM 44.1kHz/16bit	LPCM 44.1kHz/16bit	LPCM 44.1kHz/16bit	LPCM 44.1kHz/16bit
内蔵マイク感度設定	中（音楽）	低（音楽）	マニュアル録音レベル10	マニュアル録音レベル10
外部入力設定（MIC IN）	中（音楽）	低（音楽）	マニュアル録音レベル10	マニュアル録音レベル10
VOR	オフ	オフ	オフ	オフ
リミッター	オフ	オフ	オン	オフ
録音フィルター	オフ	オフ	オフ	オフ

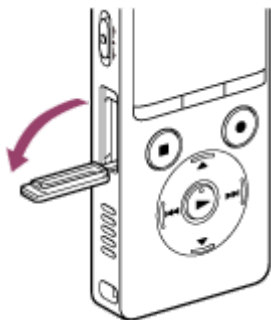
関連項目

- [用途に合わせた録音シーンを選ぶ](#)

microSDカードに録音する

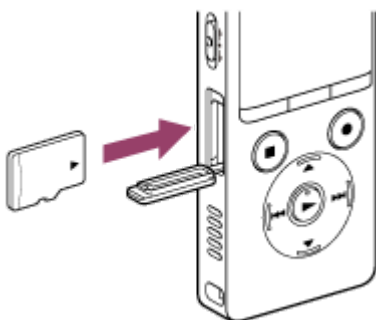
内蔵メモリーのほかに別売のmicroSDカードへ音声を保存することができます。

- 1 停止中にmicroSDカードスロットの蓋を開ける。



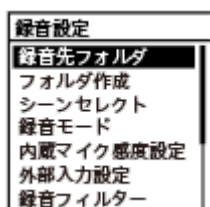
- 2 microSDカードをメモリーカードスロットにカチッと音がするまでしっかり差し込む。

microSDカードの端子面が本体裏側になるように、図の方向に差し込んでください。



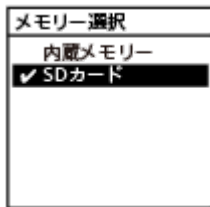
- 3 スロット蓋を閉める。

- 4 ホームメニューで「 各種設定」 - 「録音設定」 - 「録音先フォルダ」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「メモリー選択」画面が表示されます。

- 5 ▲ または ▼ ボタンを押して「SDカード」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



6 ▲または▼ボタンを押して保存したいフォルダを選び、▶ボタンを押して決定する。

新規フォルダを作成したいときは、「[フォルダを作成する](#)」をご覧ください。

ご注意

- microSDカードが認識されない場合はmicroSDカードを取り出し、再度入れ直してください。
- microSDカードスロットの挿入口には、液体・金属・燃えやすいものなど、microSDカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 録音する前に、microSDカードに保存されているデータをパソコンに保存し、リニアPCMレコーダーで初期化して空の状態にしてからお使いください。microSDカードを初期化する方法については、「[メモリーを初期化する（内蔵メモリー初期化／SDカード初期化）](#)」をご覧ください。

ヒント

- microSDカードを取り出すには、microSDカードを一度奥に押します。手前に出てきたら、microSDカードスロットから取り出します。

最適な録音レベル設定で録音する（リハーサル機能）

あらかじめ音量確認ができる場合は、リハーサル機能を使うと録音レベルの調整を簡単に行うことができます。

1 録音停止中または録音スタンバイ中にリハーサルボタンを押す。

「リハーサルモード」と表示され、録音ランプが赤く点滅します。



2 楽曲の最大音量になるところを演奏（リハーサル）する。

最大音量の箇所で音が歪まないように、自動で録音レベルが調整されます。
最大音量の箇所を含めて1分程度、演奏してください。

3 ●録音／一時停止ボタンを押す。

録音が始まり、録音ランプが赤く点灯します。



4 録音を止めるには、■停止ボタンを押す。

ご注意

- 本体に触れたときの音で録音レベルが誤って調整されることを防ぐため、リハーサルモード開始直後の3秒間と終了直前の3秒間は、録音レベルの調整を行いません。

ヒント

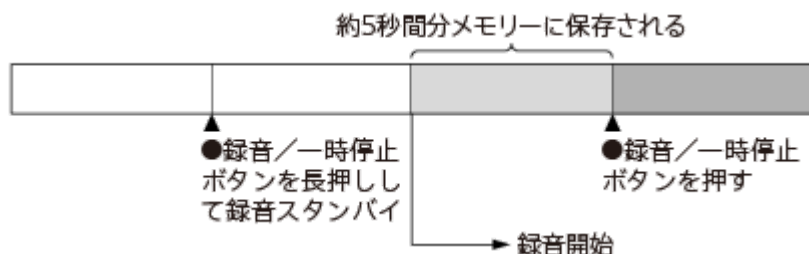
- リハーサル中に戻る／ホームボタンを押すと、リハーサルを終了し録音スタンバイ状態になります。
- リハーサル中に■停止ボタンを押すと、リハーサルを終了し録音停止状態になります。
- シンクロ録音中は、リハーサル機能を使うことができません。シンクロ録音機能をオフにしてください。シンクロ録音機能について詳しくは、「[シンクロ録音機能を使って他の機器の音声を録音する](#)」をご覧ください。
- 「内蔵マイク感度設定」が「自動調整(AGC)」に設定されている場合は、リハーサル機能を使うことができません。「リハーサルモードを開始するため、感度設定をマニュアルに変更しますか?」と表示されるので、「はい」を選択してください。
- スマートフォン用アプリ（REC Remote）でも、リハーサル機能を使うことができます。

- リハーサル機能について詳しくは、「レコーディングテクニックガイド」（別冊）をご覧ください。

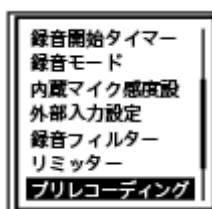
4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

少し前から録音する（プリレコーディング機能）

録音開始操作の約5秒前の音から録音を開始することができます。インタビューや野外録音など、急な録音機会を逃したくない場合に便利です。



- 1 録音停止中にオプションメニュー「プリレコーディング」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ ボタンを押して「オン」を選び、▶ ボタンを押す。

お買い上げ時は「オフ」に設定されています。

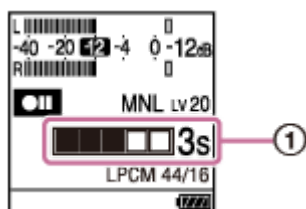
- 3 録音を保存したいメモリー（内蔵メモリーまたはSDカード）とフォルダを選ぶ。

- 4 ●録音／一時停止ボタンを長押しする。

録音スタンバイ状態になります。

プリレコーディングが開始され、最大5秒前の音声を蓄積していきます。

（①には蓄積した時間が表示されます。）



- 5 録音を始めるには、●録音／一時停止ボタンを押す。

録音スタンバイが解除され、手順4で蓄積した音声から継続して録音を開始します。

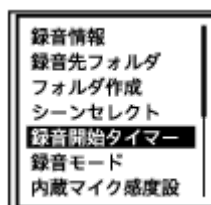
- 6 録音を止めるには、■停止ボタンを押す。

- 内蔵マイクを使ってプリレコーディングをしようとする、● 録音／一時停止ボタンを押すときに雑音が入る場合があります。プリレコーディングをする場合は外部マイクを使って録音することをおすすめします。
- 録音を開始せずにプリレコーディングを停止した場合、プリレコーディング時にメモリーに蓄積された音声は保存されません。
- プリレコーディング機能を解除するには、手順2で「プリレコーディング」を「オフ」にします。

録音開始タイマーを使う

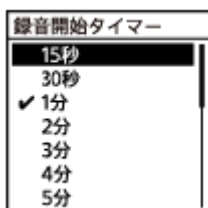
設定した時間が経過すると自動的に録音を開始します。

- 1 録音停止中に、オプションメニュー - 「録音開始タイマー」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ ボタンを押して時間を設定し、▶ ボタンを押す。

15秒から60分まで設定できます。



カウントダウン画面が表示されます。



設定した時間が経過すると、録音が始まります。

ご注意

- カウントダウン中は、オプションボタン、トラックマークボタン、▶ ボタン、■ 停止ボタン、▲または▼ ボタン、◀または▶▶ ボタンを使用できません。
- カウントダウン中に電源オフの操作をした場合や、スリープタイマーの設定時間が経過した場合は、電源が切れます。
- カウントダウン中にオートパワーオフの設定時間が経過しても、電源は切れません。

ヒント

- 録音開始タイマーを解除するには、カウントダウン画面で戻る/ホームボタンを押し、▲または▼ ボタンを押して「はい」を選び、▶ ボタンを押して決定します。
- カウントダウン中に ● 録音/一時停止ボタンを押すと、タイマーは解除され、録音が始まります。

関連項目

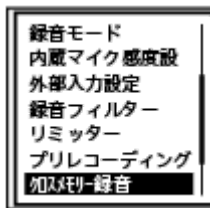
- [スリープタイマーを使う（スリープタイマー）](#)
- [電源が自動的に切れるまでの時間を設定する（オートパワーオフ）](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

メモリーを切り換えて録音を続ける（クロスメモリー機能）

内蔵メモリーまたはmicroSDカードの残量が録音途中でなくなった場合でも、自動的にもう一方のメモリーに切り換えて録音を続けることができます。（クロスメモリー録音）

- 1 録音停止中に、オプションメニュー－「クロスメモリー録音」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ ボタンを押して、「オン」を選び、▶ ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」に設定されています。

録音中にメモリーがいっぱいになると、表示窓に「メモリーを切り換えて録音を継続します」というメッセージが表示され、クロスメモリー用の「CROSS_MEM」フォルダに、新しいファイルとして続いて録音されます。新しいファイルは、新しいファイル名で作成されます。

ご注意

- 切り換え先のメモリーもいっぱいでは録音できないときは、メッセージが表示され、録音が停止します。
- 録音中にmicroSDカードをリニアPCMレコーダーに挿入しても、クロスメモリー録音は行われません。
- クロスメモリー録音で録音した場合、メモリー切り換え後の音声の一部で音切れする場合があります。

ヒント

- 通常の録音に戻すには手順2で「オフ」を選びます。
- クロスメモリー録音で録音されたファイルを再生するときは、ファイルの検索方法で「録音日で探す」または「録音シーンで探す」を選択してください。ファイルが並んで表示されるため、続けて再生することができます。

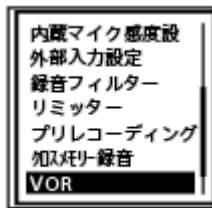
関連項目

- [microSDカードに録音する](#)

音がしたとき自動録音する – VOR（Voice Operated Recording）録音

ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時停止するように、メニューで設定することができます。

- 1 録音停止中、録音中または録音一時停止中にオプションメニュー – 「VOR」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して、「オン」を選び、▶ ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」に設定されています。

- 3 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

録音が表示されます。

マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、●■（録音一時停止）が点滅して、VOR録音が一時停止状態になります。

VOR録音一時停止状態のときに、マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、VOR録音が再開されます。

ご注意

- VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り換えてください。マイク感度の設定方法については、「[マイク感度を設定する（内蔵マイク感度設定）](#)」をご覧ください。
マイク感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「オフ」に設定してください。
- マニュアル録音中またはシンクロ録音中、VOR機能は働きません。

ヒント

- VOR録音を解除するには手順2で「VOR」を「オフ」にします。

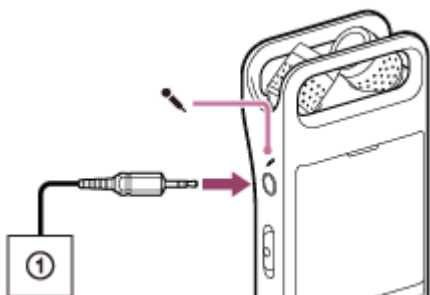
関連項目

- [シンクロ録音機能を使って他の機器の音声を録音する](#)

外部マイクをつないで録音する

外付けのマイクを使って録音します。

- 1 停止中に外部マイク (①) を、(マイク) ジャックにつなぐ。



画面に「外部入力設定」が表示されます。

「外部入力設定」が表示されない場合には、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「録音設定」 - 「外部入力設定」から設定してください。

- 2 ▲または▼ボタンを押して、「MIC IN」を選び、▶ボタンを押す。

入力レベルが適正ではない場合は、「外部入力設定」 - 「MIC IN」の感度設定で、リニアPCMレコーダーのマイク感度の設定を変更してください。設定方法について詳しくは、「[外部機器の入力モードと入力感度を設定する \(外部入力設定\)](#)」をご覧ください。

- 3 ●録音/一時停止ボタンを押す。

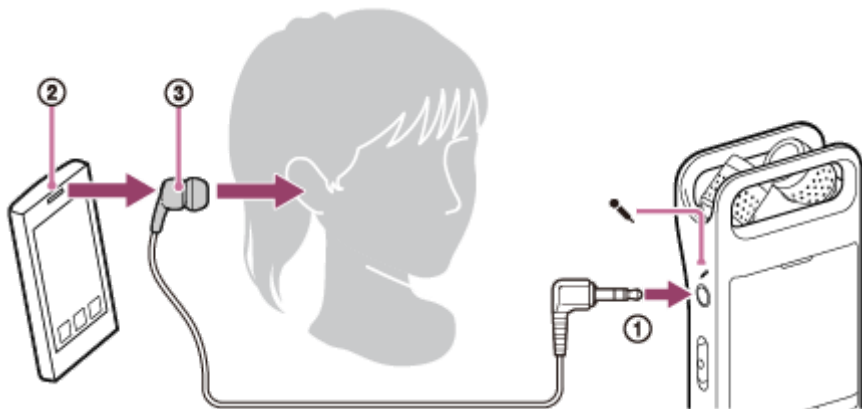
内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。

プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源はリニアPCMレコーダーから供給されます。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

電話機や携帯電話の音声を録音する

別売のECM-TL3を使うと、電話機や携帯電話での自分と相手の声を録音することができます。



リニアPCMレコーダーの  (マイク) ジャックにECM-TL3をつなぎ (①)、電話のスピーカー (②) をマイクロホン (③) に当ててください。

ご注意

- 録音する場合には、リニアPCMレコーダーと接続後、通話状態と録音レベルをご確認の上ご使用ください。
- 呼び出し音、発信音を録音した場合、会話が小さい音で録音されることがあります。そのような場合には、通話状態になってからリニアPCMレコーダーを録音状態にしてください。
- 電話機の種類、回線の状況によってVOR機能が働かないことがあります。
- リニアPCMレコーダーを使って通話録音をした場合、万一、これらの不都合により録音されなかった場合は、一切の責任を負いません。

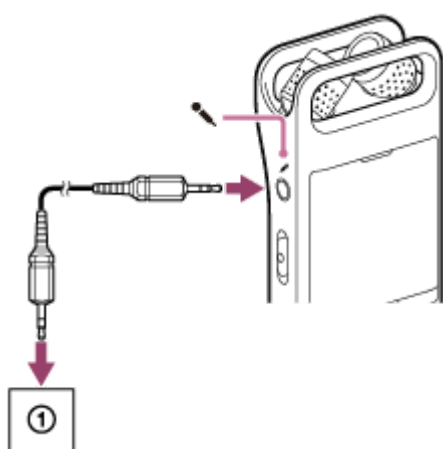
シンクロ録音機能を使って他の機器の音声を録音する

ラジカセ、テープレコーダー、テレビなど、他の機器の音声／音楽をリニアPCMレコーダーに録音することによって、パソコンを使わなくても、音楽ファイルを作成することができます。

シンクロ録音機能を使うと、2秒以上の無音部分が続いた場合に、録音一時停止状態になり、次に音を感知したところから新しいファイルとして録音を行います。

1 停止中に他の機器 (①) をリニアPCMレコーダーの (マイク) ジャックにつなぐ。

他の機器の音声出力端子 (ステレオミニジャック) を市販のオーディオコードを使って、リニアPCMレコーダーの (マイク) ジャックにつなぎます。

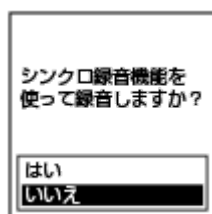


画面に「外部入力設定」が表示されます。

「外部入力設定」が表示されない場合には、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「録音設定」 - 「外部入力設定」から設定してください。

2 ▲ または ▼ ボタンを押して、「Audio IN」を選び、▶ ボタンを押す。

「シンクロ録音機能を使って録音しますか？」と表示されます。



3 ▲ または ▼ ボタンを押して「はい」を選び、▶ ボタンを押す。

シンクロ録音が設定されます。

4 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

 が点滅してシンクロ録音が一時停止の状態になります。

5 つないだ機器で再生を始める。

録音 が表示され、シンクロ録音が始まります。

2秒以上無音の部分が連続すると、が点滅して、シンクロ録音が一時的に停止状態になります。シンクロ録音一時停止状態のときに、次に音を検知したところから新しいファイルとして、シンクロ録音が再開されます。

ヒント

- 入力レベルが適正ではない場合は、他の機器のヘッドホン端子（ステレオミニジャック）を使ってリニアPCMレコーダーと接続し、リニアPCMレコーダーの録音レベルのピークレベルメーターを確認しながら、他の機器の音量を調節してください。詳しくは、「[ピークレベルメーターについて](#)」をご覧ください。
- すでに録音している途中でシンクロ録音を始めようとすると、録音を停止します。手順4から再び操作してください。
- シンクロ録音中は、リハーサル機能を使うことができません。手動で感度調節してください。

関連項目

- [リニアPCMレコーダーの音声を他の機器で録音する](#)
- [シンクロ録音機能を使わずに他の機器の音声を録音する](#)

シンクロ録音機能を使わずに他の機器の音声を録音する

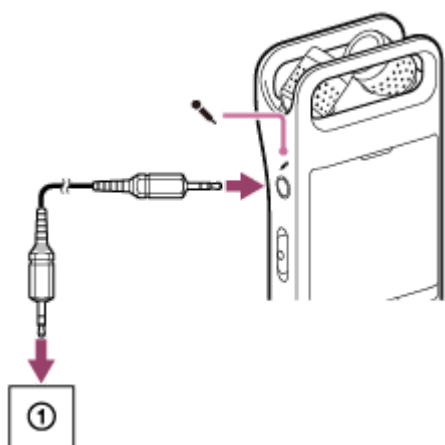
ラジカセ、テープレコーダー、テレビなど、他の機器の音声／音楽をリニアPCMレコーダーに録音することによって、パソコンを使わなくても、音楽ファイルを作成することができます。

ヒント

- 入力レベルが適正ではない場合は、他の機器のヘッドホン端子（ステレオミニジャック）を使ってリニアPCMレコーダーと接続し、リニアPCMレコーダーの録音レベルのピークレベルメーターを確認しながら、他の機器の音量を調節してください。詳しくは、「[ピークレベルメーターについて](#)」をご覧ください。

1 停止中に他の機器（①）をリニアPCMレコーダーの（マイク）ジャックにつなぐ。

他の機器の音声出力端子（ステレオミニジャック）を市販のオーディオコードを使って、リニアPCMレコーダーの（マイク）ジャックにつなぎます。



画面に「外部入力設定」が表示されます。

「外部入力設定」が表示されない場合には、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「録音設定」 - 「外部入力設定」から設定してください。

2 ▲または▼ボタンを押して、「Audio IN」を選び、▶ボタンを押す。

「シンクロ録音機能を使って録音しますか？」と表示されます。

3 ▲または▼ボタンを押して「いいえ」を選び、▶ボタンを押す。

4 ●録音／一時停止ボタンを押す。

つないだ機器からの音声の録音が始まります。**録音**が点灯します。

5 つないだ機器で再生を始める。

ヒント

- 録音を止めるには、■停止ボタンを押してください。

関連項目

- [リニアPCMレコーダーの音声を他の機器で録音する](#)
- [シンクロ録音機能を使って他の機器の音声を録音する](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

リニアPCMレコーダーの音声を他の機器で録音する

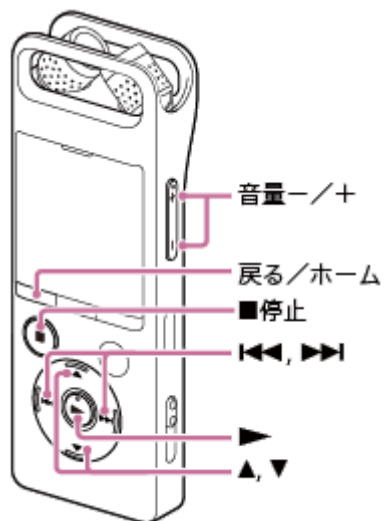
リニアPCMレコーダーにつないだ他の機器でリニアPCMレコーダーの音声を録音できます。
録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。

- 1 リニアPCMレコーダーの  (ヘッドホン) ジャックと他の機器の外部入力端子を、市販のオーディオコードを使ってつなぐ。
- 2 リニアPCMレコーダーの  ボタンを押して再生状態にし、同時に、つないだ機器の録音ボタンを押して、録音状態にする。
リニアPCMレコーダーのファイルが他の機器に録音されます。
- 3 録音を止めるには、リニアPCMレコーダーの  停止ボタンを押し、つないだ機器の停止ボタンを押す。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

ファイルを再生する

ホームメニューからファイルを選び、再生します。



- 1 ホームメニューで「🎵 ミュージック」または「📁 録音したファイル」を選び、▶ ボタンを押す。
- 2 ファイルを検索して選ぶ。
ファイルの検索方法については、「[ファイルを選ぶ](#)」をご覧ください。
- 3 ▶ ボタンを押す。
再生が始まります。
- 4 音量-/+ボタンを押して、音量を調節する。

ヒント

- 再生を止めるには、■ 停止ボタンを押してください。
- 録音を停止したあとに、録音停止画面で▶ ボタンを押すと、録音したファイルを再生できます。

関連項目

- [いろいろな再生操作](#)
- [パソコンからコピーした音楽ファイルをリニアPCMレコーダーで再生する](#)

ファイルを選ぶ

ホームメニューから再生、編集するファイルを選ぶことができます。

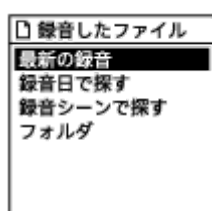
① ホームメニューで「🎵ミュージック」または「📁録音したファイル」を選び、▶ ボタンを押す。

② ファイルの検索方法を選ぶ。

▲または▼ ボタンを押してファイルを検索する方法を以下から選び、▶ ボタンを押します。

🎵 ミュージック：「全曲」、「アルバム」、「アーティスト」または「フォルダ」

📁 録音したファイル：「最新の録音」、「録音日で探す」、「録音シーンで探す」または「フォルダ」



検索方法で「フォルダ」を選んだ場合は、「メモリー選択」画面が表示されるので、ファイルの保存先のメモリーを「内蔵メモリー」または「SDカード」から選んでください。

別のソニー製ICレコーダーまたはリニアPCMレコーダーで録音したmicroSDカードを挿入した場合、「SDカード(他機種)」が表示されます。

③ 検索結果からリストまたはフォルダを選び、ファイルを選ぶ。

▲または▼ ボタンを押してリストまたはフォルダを選び、ファイルを選びます。

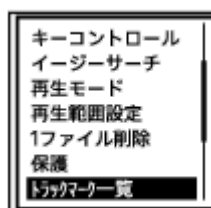
ヒント

- お買い上げ時、「📁録音したファイル」には「FOLDER01」のフォルダが作成されています。

トラックマーク一覧から目的の再生位置を探す

トラックマーク一覧に表示されたトラックマークから、目的の再生位置を簡単に探すことができます。

- 1 再生停止中／再生中に、オプションメニュー－「トラックマーク一覧」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ ボタンを押して目的のトラックマークを選び、▶ ボタンを押す。

選択したトラックマークの位置からファイルが再生されます。

いろいろな再生操作

再生中には次のような操作を行うことができます。

再生の途中、その位置で停止する

- 停止ボタンを押す。
- ▶ ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。

今聞いているファイルの先頭に戻る

- ◀◀ ボタンを短く1回押す。
- トラックマークが設定されている場合は、前のトラックマークの位置まで戻ります。
(メニュー「イージーサーチ」が「オフ」に設定されている場合の操作です。)

前のファイル、さらに前のファイルに戻る

- ◀◀ ボタンを短く何回か押す。

次のファイルに進む

- ▶▶ ボタンを短く1回押す。
- トラックマークが設定されている場合は、後のトラックマークの位置まで進みます。
(メニュー「イージーサーチ」が「オフ」に設定されている場合の操作です。)

さらに次のファイルに進む

- ▶▶ ボタンを短く何回か押す。

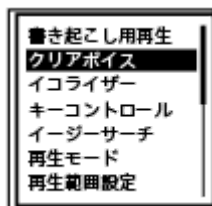
関連項目

- [トラックマークを付ける](#)
- [すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）](#)
- [早送り／早戻しする（キュー／レビュー）](#)

再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする－クリアボイス機能

録音したファイルの再生時に、クリアボイス機能を有効に設定すると、音声以外の周辺ノイズをカットします。音声帯域を含むすべての周波数帯域のノイズを低減するため、クリアな音質で再生することができます。

- 1 再生停止中／再生中に、オプションメニュー－「クリアボイス」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ ボタンを押して、「クリアボイス1」または「クリアボイス2」を選び、▶ ボタンを押す。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オフ：

クリアボイス機能を解除します（お買い上げ時の設定）。

クリアボイス1：

音声以外のノイズを低減し、声の大小を自動調整して聞きやすいクリアな音になります。

クリアボイス2：

「クリアボイス1」よりもさらに強いノイズ低減、音声の自動調整効果により、クリアな音質になります。

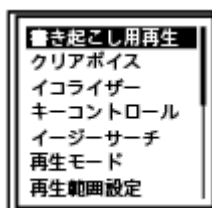
ご注意

- 内蔵スピーカーまたはBluetoothオーディオ機器で再生しているときや、「🎵ミュージック」内のファイル再生時は、クリアボイス機能は働きません。

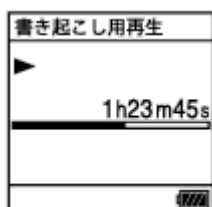
録音を書き起こす（書き起こし用再生）

ファイルを早送り／早戻ししながら聞きたい箇所を探したり、デジタルピッチコントロール（DPC）で速度調節しながら再生することができます。議事録などを書き起こすときに便利なモードです。

- 1 再生停止中に、オプションメニュー - 「書き起こし用再生」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▶ ボタンを押して再生を開始する。



書き起こし用再生中は次の機能を使用して、再生音を調整することができます。

- DPC：再生速度を変更して聞き取りやすくすることができます。▲ DPC（速度調節）ボタンを押すと、DPC 設定画面が表示されます。▲ または ▼ ボタンを押して「オン」を選び、◀ または ▶ ボタンを押して速度を調節し、▶ ボタンを押して決定します。
- イージーサーチ：◀ または ▶ ボタンを押して聞きたいところをすばやく探すことができます。
- キュー・レビュー：◀ または ▶ ボタンを押したままにして早戻し／早送りし、聞きたいところを探すことができます。

ご注意

- スリープタイマーの設定時間が経過すると、書き起こし用再生中でも電源が切れます。
- 書き起こし用再生中は次の機能が働きません。
 - 再生モード
 - A-B リピート
 - 長押しリピート再生機能

ヒント

- 再生を止めるには、■ 停止ボタンを押してください。
- 書き起こし用再生モードを終了するには、書き起こし用再生中または再生停止中にオプションメニュー - 「書き起こし終了」を選びます。
- 違うファイルを聞きたいときは、戻る／ホームボタンを押してファイル一覧を表示し、別のファイルを選択してください。

関連項目

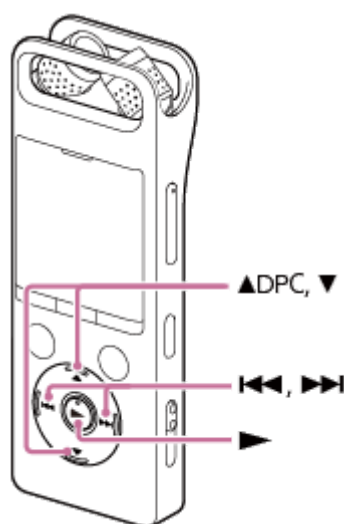
- [再生速度を調節する – DPC \(Digital Pitch Control\)](#)
- [すばやく指定の場所を検索する \(イージーサーチ\)](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

再生速度を調節する – DPC (Digital Pitch Control)

再生速度を0.25倍速から3.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。

再生中に加え、書き起こし用再生中も再生速度を変えることができます。



- 1 再生停止中／再生中に ▲ DPC (速度調節) ボタンを押す。

DPC設定画面が表示されます。



- 2 ◀◀ または ▶▶ ボタンを押して、再生速度を調節する。

×0.25 ～×1.00倍速の間は、0.05倍速刻みで、×1.00 ～×3.00倍速の間は、0.10倍速刻みで調節することができます。

お買い上げ時は、「×1.00」に設定されています。

- 3 ▲ または ▼ ボタンを押して「オン」を選ぶ。

- 4 ▶ ボタンを押して、再生速度を決定する。

ヒント

- 通常の再生速度に戻すには、手順3で「オフ」を選びます。
- 選択できる再生速度は以下のとおりです。
 - 1.00倍速～ 0.25倍速：サンプリング周波数 88.2 kHz以上のFLAC
 - 2.00倍速～ 0.25倍速：サンプリング周波数 88.2 kHz未満のFLAC、サンプリング周波数 88.2 kHz以上のLPCM
 - 3.00倍速～ 0.25倍速：上記以外

関連項目

- [録音を書き起こす（書き起こし用再生）](#)

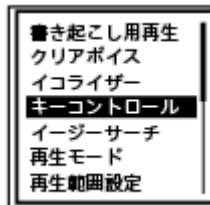
4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

音程を調節する（キーコントロール）

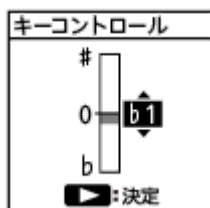
音楽ファイルや録音したファイルの再生速度を変えずに、音程（キー）を変更できます。

- 1 再生中に、オプションメニュー－「キーコントロール」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ ボタンを押して、音程を調節する。

半音ずつ上げる（＃1～＃6）
半音ずつ下げる（b1～b6）
お買い上げ時は「0」になっています。

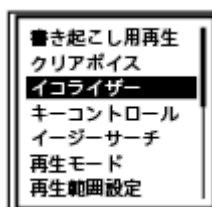


- 3 ▶ を押して音程を決定する。

音質を切り替える（イコライザー）

曲のジャンルに合わせた音質を設定できます。お好みの設定をカスタム設定として登録することもできます。

- 1 再生停止中／再生中にオプションメニュー - 「イコライザー」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ ボタンを押して、お好みの音質を選び、▶ ボタンを押す。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オフ：

イコライザー機能を無効にします（お買い上げ時の設定）。

エキサイティング：

アップテンポな曲を聴いて気分をさらに上げてハイテンションになりたいとき、音楽を聴いてノリノリになりたいとき

リラックス：

BGMのようにゆったりとした気分で音楽を聴きたいとき（音楽に集中していないシーンや、飛行機の中で流し聴きしながら寝たいときなど）

ボーカル：

音楽の中のボーカルを特に注目して聴きたいとき

高音ブースト：

高域を強調して聴きたいとき

低音ブースト：

低域を強調して聴きたいとき

カスタム：

5バンドのサウンドレベルを自由に設定できます。

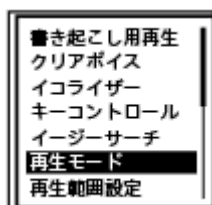
ご注意

- 内蔵スピーカーまたはBluetoothオーディオ機器で再生しているときは、イコライザー機能は働きません。

再生モードを変える

メニューで用途に応じた再生モードを選ぶことができます。

- 1 再生停止中／再生中に、オプションメニュー - 「再生モード」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ ボタンを押して再生モードを選び、▶ ボタンを押す。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

ノーマル：

再生範囲のファイルを順に再生する。

↶ リピート：

再生範囲のファイルを順に繰り返し再生する。

1 1ファイル再生：

再生中または再生を始めたファイルだけを再生する。

↶1 1ファイルリピート：

再生中または再生を始めたファイルを繰り返し再生する。

↻ シャッフル：

再生範囲の曲を順不同に再生する。

↶↻ シャッフルリピート：

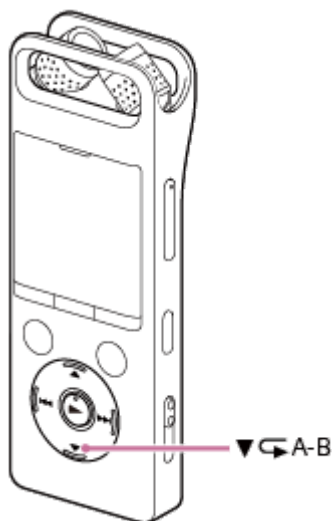
再生範囲の曲を順不同に繰り返し再生する。

関連項目

- [必要な部分だけを再生する - A-Bリピート](#)
- [1ファイルをリピート再生する（長押しリピート再生機能）](#)

必要な部分だけを再生する－A-Bリピート

指定したA点とB点の区間を繰り返して再生することができます。



1 再生停止中／再生中に ▼↶ A-Bボタンを押して、A点を指定する。

「A-B B?」が表示されます。

2 もう一度 ▼↶ A-Bボタンを押して、B点を指定する。

「↶A-B」が表示されて、指定した区間が繰り返し再生されます。

ご注意

- 再生停止中、A点を指定したあと、同じ場所にB点を指定することはできません。この場合、A点がキャンセルされます。
- A-Bリピート再生中、長押しリピート再生機能は使用できません。

ヒント

- A-Bリピート再生を止めて通常の再生に戻すには、▼↶ A-Bボタンをもう一度押します。
- A-Bリピートの範囲を変えるには、通常の再生に戻したあとに、もう一度手順1と2を行ってください。

関連項目

- [再生モードを変える](#)
- [1ファイルをリピート再生する（長押しリピート再生機能）](#)

1 ファイルをリピート再生する（長押しリピート再生機能）

簡単に再生中のファイルをリピート再生することができます。

1 再生中に ▶ ボタンを長押しする。

「」が表示され、そのファイルが繰り返し再生されます。

ご注意

- A-Bリピート再生中は、長押しリピート再生機能を使うことができません。

ヒント

- 長押しリピート再生機能を解除するには、▶ ボタンまたは ■ 停止ボタンを押します。
- 再生モードを設定している場合でも、長押しリピート再生機能を使うことができます。

関連項目

- [必要な部分だけを再生する - A-Bリピート](#)

再生範囲を指定する

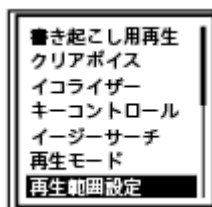
ファイルの再生リストの中から再生する範囲を指定できます。選択したファイルやミュージックの検索方法によって、再生する範囲は変わります。

① ホームメニューで「 録音したファイル」または「 ミュージック」を選び、▶ ボタンを押す。

② ▲ または ▼ ボタンを押して、ファイルの検索方法を選んで▶ ボタンを押す。

③ 再生するファイルを選び、▶ ボタンを押す。

④ 再生停止中／再生中にオプションメニュー - 「再生範囲設定」を選び、▶ ボタンを押す。



⑤ ▲ または ▼ ボタンを押して、「全範囲を再生」または「選択範囲内を再生」を選び、▶ ボタンを押す。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

全範囲を再生：

録音したファイルの再生、ミュージック再生で選んだ検索方法の対象となるファイルをすべて再生します。

選択範囲内を再生：

再生中のファイルを含むフォルダ（録音日、録音シーン、アーティスト、アルバムなど）の中のファイルを再生します。

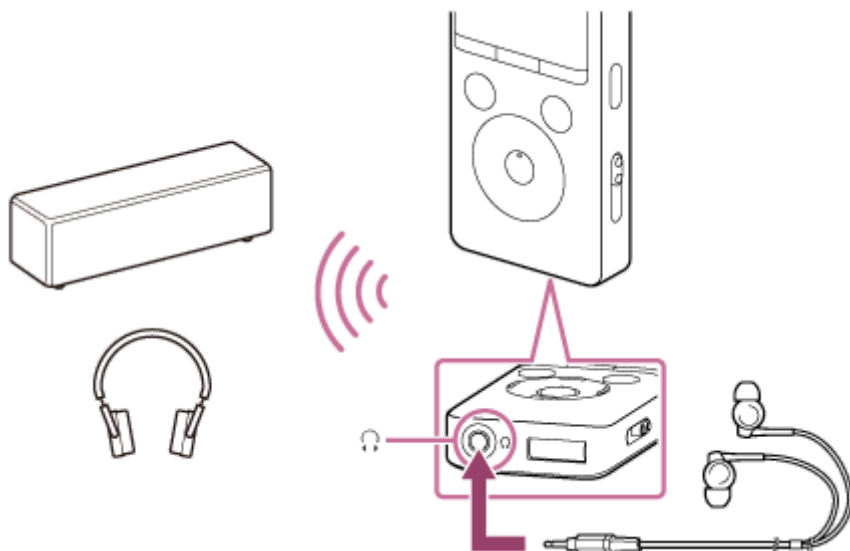
選択範囲内を再生すると、再生画面にフォルダアイコンが表示されます。

関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)

大きな音で聞くには

内蔵スピーカーは録音結果の簡易確認用のため、音声が小さかったり、聞きづらいことがあります。その場合は、別売のヘッドホンやアクティブスピーカーを使用してください。



- ヘッドホンで聞く：
ヘッドホンを  (ヘッドホン) ジャックにつないでください。
- 外部スピーカーで聞く：
アクティブスピーカーを  (ヘッドホン) ジャックにつないでください。
- Bluetoothオーディオ機器で聞く：
Bluetoothオーディオ機器とBluetooth接続して、音声をワイヤレスで聞くことができます。

ご注意

- ヘッドホンやアクティブスピーカーと接続すると、内蔵スピーカーからは音が出なくなります。

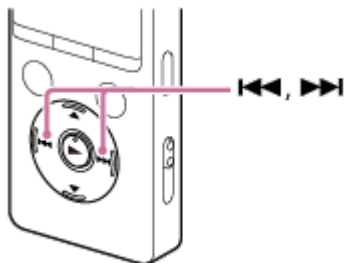
関連項目

- [オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

早送り／早戻しする（キュー／レビュー）

再生停止中／再生中に早送りや早戻しをして聞きたい場所を探します。



- 早送り（キュー）：
再生停止中／再生中に ►► ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し（レビュー）：
再生停止中／再生中に ◀◀ ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

関連項目

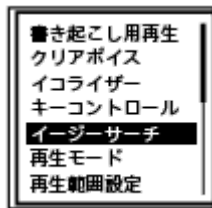
- [すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）](#)

すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）

イージーサーチ機能を使うと再生を開始したい場所をすばやく見つけることができます。

また、早送り／早戻しの間隔を設定することで、会議録音など長時間録音したもので、聞きたいところをすばやく探すことができます。

- 1 再生停止中／再生中に、オプションメニュー - 「イージーサーチ」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して「間隔設定」を選び、▶ ボタンを押す。

- 3 早送り、早戻しの間隔を設定する。

▲ または ▼ ボタンを押して「イージーサーチ送り」または「イージーサーチ戻し」を選び、▶ ボタンを押してください。

同じ操作を繰り返し、早戻し／早送りの間隔（時間）を選び、▶ ボタンを押してください。

早戻し／早送りの間隔を設定すると、イージーサーチ機能が「オン」になります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オフ：

イージーサーチ機能を無効にします（お買い上げ時の設定）。

オン：

再生中、▶▶ ボタンを押すと、設定した間隔進み、◀◀ ボタンを押すと、設定した間隔戻ります。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。

間隔設定：

- イージーサーチ送り：▶▶ ボタンを押したときに進む間隔を、5秒、10秒（お買い上げ時の設定）、30秒、1分、5分、10分から選びます。
- イージーサーチ戻し：◀◀ ボタンを押したときに戻る間隔を、1秒、3秒（お買い上げ時の設定）、5秒、10秒、30秒、1分、5分、10分から選びます。

ヒント

- 「書き起こし用再生」時にも間隔を設定できます。「書き起こし用再生」について詳しくは、「[録音を書き起こす（書き起こし用再生）](#)」をご覧ください。

関連項目

- [早送り／早戻しする（キュー／レビュー）](#)

Bluetoothオーディオ機器と接続してできること

BLUETOOTH®オーディオ機器とリニアPCMレコーダーを接続して、再生時の音声をワイヤレスで聞くことができます。

また、Bluetooth接続することで、以下の操作がワイヤレスで可能になります。

- Bluetoothオーディオ機器からリニアPCMレコーダーの操作（再生／停止／早戻し／早送りなど）
- リニアPCMレコーダーからBluetoothオーディオ機器の音量調整

ご注意

- 録音中の音は、Bluetoothオーディオ機器からは聞くことができません。本体のφ（ヘッドホン）ジャックに接続したヘッドホンから聞いてください。
- Bluetooth機能をオンにしている場合は、電池の持続時間が大幅に短くなります。
- リニアPCMレコーダーと接続するBluetoothオーディオ機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- リニアPCMレコーダーはBluetoothプロファイルとして、A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）とAVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）に対応しています。接続するBluetoothオーディオ機器のプロファイルが、A2DPに対応している必要があります。AVRCPに対応したBluetoothヘッドホンなどからリニアPCMレコーダーの基本操作を行うことができます。
- リニアPCMレコーダーのオートパワーオフ機能が設定されているときは、設定した時間が経過するとBluetooth接続中でも電源が切れます。オートパワーオフ機能の設定を変更してください。

ヒント

- Bluetooth無線技術では約10 mまでの距離で接続できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって、接続有効範囲は変動します。

オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する

Bluetoothオーディオ機器同士をはじめてワイヤレス接続するときは、お互いの機器を登録し合う必要があります。この登録のことを「ペアリング」といいます。

1 接続するBluetoothオーディオ機器をペアリングモードにする。

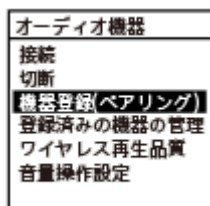
リニアPCMレコーダーを1 m以内に置いてください。

2 再生停止中に、ホームメニュー－「Bluetooth」－「オーディオ機器」を選ぶ。



オーディオ機器のメニュー画面が表示されます。

3 「機器登録（ペアリング）」を選ぶ。



Bluetooth機能がオフになっている場合は、「Bluetoothをオンにしますか?」と表示されるので、「はい」を選び、▶ ボタンを押します。

他のBluetoothオーディオ機器と接続中の場合は、「接続中のオーディオ機器を切断します。よろしいですか?」と表示されるので、「はい」を選んでください。

4 ▶ ボタンを押して、Bluetoothオーディオ機器の検索を開始する。

ペアリング可能なBluetoothオーディオ機器の検索が始まり、該当する機器の機種名が表示されます。

5 ペアリングしたいBluetoothオーディオ機器を選ぶ。

ペアリングが完了すると自動的に接続が行われ、「接続処理が完了しました」と表示されます。

6 リニアPCMレコーダーで再生する。

Bluetoothオーディオ機器で音声を聞くことができます。

Bluetoothヘッドホンと、本体に接続しているヘッドホンを切り替えるには

Bluetooth接続中は、○（ヘッドホン）ジャックに接続したヘッドホンからファイルの再生音は出ません。本体に接続しているヘッドホンを使うときはBluetooth接続を切断してください。

ご注意

- 次のような場合は、機器登録（ペアリング）の情報が削除されます。再度ペアリングしてください。
 - どちらかの機器、または両方の機器を、設定初期化などでお買い上げ時の状態に戻ってしまった場合。
 - 修理を行ったなど、機器登録（ペアリング）の情報が削除されてしまった場合。

また、リニアPCMレコーダーから機器登録（ペアリング）情報が削除され、相手機器にリニアPCMレコーダーのペアリング情報が残っている場合は、ペアリング情報を削除してから再度ペアリングしてください。

- Bluetooth機能をオンにしている場合は、電池の持続時間が大幅に短くなります。
- リニアPCMレコーダーと接続するBluetoothオーディオ機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- リニアPCMレコーダーはBluetoothプロファイルとして、A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）とAVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）に対応しています。接続するBluetoothオーディオ機器のプロファイルが、A2DPに対応している必要があります。AVRCPに対応したBluetoothヘッドホンなどからリニアPCMレコーダーの基本操作を行うことができます。
- ペアリングの接続処理中にパスキー（*）の入力画面が表示されたら、接続するBluetoothオーディオ機器のパスキーを確認し、入力してください。
 - * パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。リニアPCMレコーダーのパスキーは「0000」です。
Bluetoothオーディオ機器のパスキーについては、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 一度にペアリングできるのはひとつのBluetoothオーディオ機器のみです。複数の機器をペアリングするには、それぞれの機器を手順1から行ってください。
- リニアPCMレコーダーのオートパワーオフ機能が設定されているときは、設定した時間が経過するとBluetooth接続中でも電源が切れます。オートパワーオフ機能の設定を変更してください。

ヒント

- Bluetooth無線技術では約10 mまでの距離で接続できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって、接続有効範囲は変動します。
- 同じBluetoothオーディオ機器の名前が表示されたときは、ペアリングしたい機器のBDアドレスを確認してください。BDアドレスについては、お使いのBluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetoothオーディオ機器がNFC機能に対応している場合は、ワンタッチでリニアPCMレコーダーとBluetoothオーディオ機器の機器登録（ペアリング）とBluetooth接続ができます。
- Bluetooth接続のオン／オフは、「 Bluetooth」－「Bluetoothオン／オフ」で切り替えることもできます。

関連項目

- [機器登録（ペアリング）済みのBluetoothオーディオ機器と接続する](#)
- [ワンタッチ接続（NFC接続）する](#)
- [Bluetooth機能の設定を変更する](#)
- [Bluetooth機能についてのご注意](#)

機器登録（ペアリング）済みのBluetoothオーディオ機器と接続する

リニアPCMレコーダーとBluetoothオーディオ機器がすでに機器登録（ペアリング）されている場合、そのBluetoothオーディオ機器はリニアPCMレコーダーに登録されている状態となり、機器同士を簡単に接続できます。

- 1 必要に応じてBluetoothオーディオ機器のBluetooth機能をオンにする。
- 2 リニアPCMレコーダーのホームメニューで、「 Bluetooth」 - 「オーディオ機器」 - 「接続」を選ぶ。
登録済みのBluetoothオーディオ機器がリスト表示されます。
- 3 接続したいBluetoothオーディオ機器を選択する。
接続が行われ、「接続処理が完了しました」と表示されます。
- 4 リニアPCMレコーダーで再生する。
Bluetoothオーディオ機器で音声を聞くことができます。

機器の登録を削除するには

ホームメニュー - 「 Bluetooth」 - 「オーディオ機器」 - 「登録済みの機器の管理」で、削除したいBluetoothオーディオ機器を選択した状態で、オプションメニュー - 「機器削除」を選びます。
その後、画面の指示に従って操作してください。機器登録（ペアリング）情報が削除されます。

Bluetoothヘッドホンと、本体に接続しているヘッドホンを切り替えるには

Bluetooth接続中は、（ヘッドホン）ジャックに接続したヘッドホンからファイルの再生音は出ません。
本体に接続しているヘッドホンを使うときはBluetooth接続を切断してください。

ご注意

- 次のような場合は、機器登録（ペアリング）の情報が削除されます。再度ペアリングしてください。
 - どちらかの機器、または両方の機器を、設定初期化などでお買い上げ時の状態に戻してしまった場合。
 - 修理を行ったなど、機器登録（ペアリング）の情報が削除されてしまった場合。
- また、リニアPCMレコーダーから機器登録（ペアリング）情報が削除され、相手機器にリニアPCMレコーダーのペアリング情報が残っている場合は、ペアリング情報を削除してから再度ペアリングしてください。
- Bluetooth機能をオンにしている場合は、電池の持続時間が大幅に短くなります。
- リニアPCMレコーダーと接続するBluetoothオーディオ機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- リニアPCMレコーダーのオートパワーオフ機能が設定されているときは、設定した時間が経過するとBluetooth接続中でも電源が切れます。オートパワーオフ機能の設定を変更してください。

ヒント

- Bluetooth無線技術では約10 mまでの距離で接続できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって、接続有効範囲は変動します。

- 同じBluetoothオーディオ機器の名前が表示されたときは、ペアリングしたい機器のBDアドレスを確認してください。BDアドレスについては、お使いのBluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetoothオーディオ機器がNFC機能に対応している場合は、ワンタッチでリニアPCMレコーダーとBluetoothオーディオ機器の機器登録（ペアリング）とBluetooth接続ができます。
- Bluetooth接続のオン／オフは、「 Bluetooth」－「Bluetoothオン／オフ」で切り替えることもできます。

関連項目

- [オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する](#)
- [ワンタッチ接続（NFC接続）する](#)
- [Bluetooth機能の設定を変更する](#)
- [Bluetooth機能についてのご注意](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

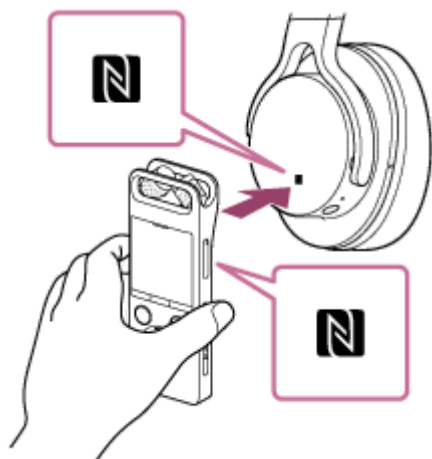
ワンタッチ接続（NFC接続）する

接続したいNFC機能搭載Bluetoothオーディオ機器にリニアPCMレコーダーをタッチするだけで、自動的に機器登録（ペアリング）とBluetooth接続が行われます。
NFCは近距離無線通信を行うための機能です。

1 Bluetoothオーディオ機器にNFCスイッチがある場合は、NFCスイッチをオンにする。

2 リニアPCMレコーダーをBluetoothオーディオ機器にタッチする。

リニアPCMレコーダーの **N** マーク部分を、Bluetoothオーディオ機器の **N** マーク部分にタッチします。
リニアPCMレコーダーの画面に指示が出るまでタッチし続けてください。



3 画面の指示に従って接続を完了する。

4 リニアPCMレコーダーで再生する。

Bluetoothオーディオ機器で音声を聞くことができます。

NFC機能をオフにするには

お買い上げ時はNFC機能がオンになっています。NFC機能をオフにしたい場合は、ホームメニュー - 「Bluetooth」 - 「NFC設定」 - 「オフ」を選びます。

ヒント

- 接続状態がよくない場合は、以下の調整を行ってください。
 - リニアPCMレコーダーを、Bluetoothオーディオ機器の **N** マーク部分の上でゆっくり動かす。
 - キャリングケースを付けている場合は、ケースを外す。
 - NFC機能がオンになっているか確認する。ホームメニュー - 「Bluetooth」 - 「NFC設定」 - 「オン」になっているか確認する。

- [Bluetooth機能の設定を変更する](#)
- [Bluetooth機能についてのご注意](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

Bluetooth機能の設定を変更する

このトピックには以下の情報が記載されています。

- Bluetoothストリーミングの再生品質を選択する。
- Bluetoothストリーミングの音量操作設定を変更する。

Bluetoothストリーミングの再生品質を選択する

Bluetoothストリーミングの再生品質を選べます。

1. 再生停止中に、ホームメニュー - 「 Bluetooth」 - 「オーディオ機器」 - 「ワイヤレス再生品質」を選ぶ。
2. 「接続優先」または「音質優先」の、どちらか希望の項目を選ぶ。

ご注意

- 「ワイヤレス再生品質」で変更した設定は、次回の接続時から有効になります。
- Bluetoothオーディオ機器の設定によっては、「ワイヤレス再生品質」の効果が得られないことがあります。

Bluetoothストリーミングの音量操作設定を変更する

接続するBluetoothオーディオ機器によっては、リニアPCMレコーダーで音量操作ができない場合があります。その場合は、下記の設定に変更して試してください。

1. 再生停止中に、ホームメニュー - 「 Bluetooth」 - 「オーディオ機器」 - 「音量操作設定」 - 「拡張方式」を選ぶ。

ご注意

- 「音量操作設定」で変更した設定は、次回の接続時から有効になります。

関連項目

- [オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのBluetoothオーディオ機器と接続する](#)
- [ワンタッチ接続（NFC接続）する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

Bluetooth接続を切断する

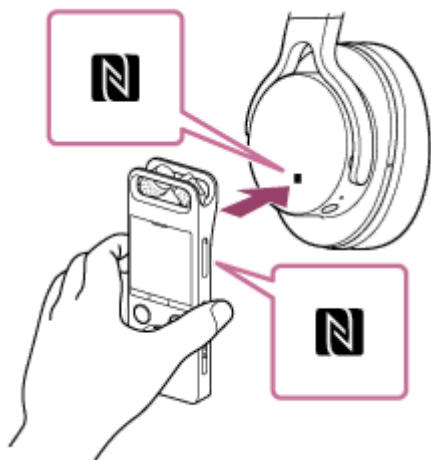
リニアPCMレコーダーの接続方法により、切断の方法が異なります。

「オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する」の手順で接続した場合

リニアPCMレコーダーのホームメニューで、「Bluetooth」－「オーディオ機器」－「切断」を選びます。

「ワンタッチ接続（NFC接続）する」の手順で接続した場合

再度、Bluetoothオーディオ機器の  マークとリニアPCMレコーダーの  マークの位置を合わせてタッチします。



切断されると、リニアPCMレコーダーの画面に「切断しました」というメッセージが表示されます。

関連項目

- [オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

Bluetooth接続を再接続する

リニアPCMレコーダーの接続方法により、再接続の方法が異なります。

「**オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する**」の手順で接続した場合

「機器登録（ペアリング）済みのBluetoothオーディオ機器と接続する」と同じ操作を行います。

「**ワンタッチ接続（NFC接続）する**」の手順で接続した場合

「ワンタッチ接続（NFC接続）する」と同じ操作を行います。

関連項目

- [オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

Bluetooth情報を表示する

Bluetooth機能の情報を表示します。

- 1 リニアPCMレコーダーのホームメニューで「 Bluetooth」 - 「Bluetooth情報」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



Bluetooth機能についてのご注意

- リニアPCMレコーダーと接続するBluetoothオーディオ機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。Bluetooth機能の通信を最適化するために、以下の点にご注意ください。
 - リニアPCMレコーダーとBluetoothオーディオ機器はできるだけ近くに置く（Bluetooth標準規格では10 mまでの距離）。
 - 接続したBluetoothオーディオ機器の方向にリニアPCMレコーダーのBluetoothアンテナ部分を向ける。
 - かばんやケースなど金属製の物でアンテナを覆わない。
 - 手など体の一部でアンテナを覆わない。
 - リュックなど背中に背負うかばんや肩にかけるかばんに入れて内蔵アンテナを覆わない。
 - 混雑した場所での使用を避ける。
 - 電波を発する機器の近くでの使用を避ける（電子レンジ、携帯電話、通信機能のある携帯ゲーム機、無線LANなど）。
- Bluetooth無線技術の特性により、再生音がわずかに遅れることがあります。
- Bluetoothオーディオ機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。以下の場所ではリニアPCMレコーダーおよびBluetoothオーディオ機器の電源を切ってください。
 - 病院内
 - 電車内の優先席付近
 - 航空機内
 - ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
 - 自動ドアの近く
 - 火災報知機の近く
- リニアPCMレコーダーはBluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。Bluetooth接続の結果情報の漏洩が発生しても、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- Bluetoothオーディオ機器が標準規格に適合していても、すべての接続と正確な動作を保証するものではありません。
- 接続する機器によって、Bluetooth接続が完了するまでに時間がかかることがあります。
- Bluetooth無線技術では約10mまでの距離で接続できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4 GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- リニアPCMレコーダーとBluetooth機器を接続するときは、無線LANを搭載した機器から10m以上離れたところで行う。
- リニアPCMレコーダーとBluetooth機器をできるだけ近づける。
- 無線LANを搭載した機器から10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

REC Remoteでできること

REC Remoteをお使いのスマートフォンにインストールしてリニアPCMレコーダーとBluetooth接続すると、スマートフォンで以下の操作ができます。

- 録音開始／停止
- リハーサル機能の開始／終了
- 録音レベルの確認／調整
- トラックマークの追加
- 録音設定の変更



ご注意

- REC Remoteは録音専用のアプリです。再生などの操作および録音時のモニター音には対応していません。録音したファイルを再生する場合は、リニアPCMレコーダー本体を操作してください。
- スマートフォンに保存されている音楽ファイルを聞いたり、リニアPCMレコーダーへ転送したりすることはできません。
- リニアPCMレコーダーをREC Remoteに接続するためには、最新のREC Remoteをインストールする必要があります。すでにREC Remoteをお使いの方も、必ず最新バージョンにアップデートしてください。

ヒント

- Bluetooth無線技術では約10 mまでの距離で接続できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- Bluetooth接続中でも、停止状態で一定時間無操作が続いた場合、リニアPCMレコーダーのオートパワーオフ機能が働きます。オートパワーオフ機能の設定を変更するには、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「オートパワーオフ」を選択し、お好みの設定を選択してください。
- スマートフォンのBluetooth設定の方法については、スマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

関連項目

- [Bluetooth情報を表示する](#)
- [Bluetooth機能についてのご注意](#)

REC Remoteを準備する

REC Remoteを使用するには、REC Remoteをスマートフォンにインストールする必要があります。

ご注意

- リニアPCMレコーダーをREC Remoteに接続するためには、最新のREC Remoteをインストールする必要があります。すでにREC Remoteをお使いの方も、必ず最新バージョンにアップデートしてください。

① Google PlayストアまたはApp Storeで「REC Remote」を検索する。

② 画面の指示に従って、スマートフォンにREC Remoteをインストールする。



インストール後、「ソフトウェア使用許諾契約書を確認してください」と表示されます。「上記内容を確認し、同意します」にチェックを入れて、「はじめる」をタップしてください。

③ スマートフォンとリニアPCMレコーダーの接続方法を選ぶ。

リニアPCMレコーダーと接続するスマートフォンに、NFC機能が搭載されているかを確認してください。搭載されている場合は、**N**マークまたは $\curvearrowright$ マークがあります。詳しくは、スマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

NFC機能の有無によって、リニアPCMレコーダーの接続方法が異なります。

- スマートフォンにNFC機能がない場合：
「[スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する](#)」をご覧ください。
- スマートフォンにNFC機能がある場合：
「[ワンタッチ接続（NFC接続）する](#)」をご覧ください。

スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する

スマートフォンにNFC機能がない場合は、以下の手順でリニアPCMレコーダーとスマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続します。

Bluetooth機器同士をはじめてワイヤレス接続するときは、お互いの機器を登録（ペアリング）しあう必要があります。この登録のことを「ペアリング」といいます。

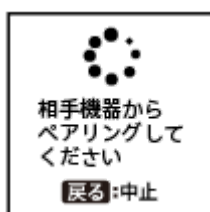
1 リニアPCMレコーダーを操作する。

ホームメニュー－「 Bluetooth」－「REC Remote」－「機器登録（ペアリング）」を選び、▶ ボタンを押します。

Bluetooth機能がオフになっている場合は、「Bluetoothをオンにしますか？」と表示されるので、「はい」を選びます。



「相手機器からペアリングしてください」と表示されます。



2 スマートフォンを操作する。

● Android™の場合

1. Bluetooth機能をオンにする。
2. REC Remoteを起動する。
3. 「機器登録」画面で「Bluetooth設定からペアリング」をタップし、画面に従って操作する。
4. Bluetooth設定画面で、PCM-A10を検索し、互いの機器をペアリングする。
5. 戻るボタンで、「機器登録」画面を表示し、PCM-A10を選択する。
6. 「登録完了」をタップする。

● iOSの場合

1. Bluetooth機能をオンにする。
2. Bluetooth設定画面で、PCM-A10を検索し、互いの機器をペアリングする。
3. ホームボタンを押して、Bluetooth設定画面を終了し、REC Remoteを起動する。

REC Remoteの操作画面が表示されたら、接続は完了です。

「スマートフォンでリニアPCMレコーダーを操作する」へ進んでください。

ご注意

- 次のような場合は、機器登録（ペアリング）の情報が消えます。再度ペアリングしてください。
 - どちらかの機器、または両方の機器を、設定初期化などでお買い上げ時の状態に戻してしまった場合
 - 修理を行ったなど、機器登録（ペアリング）の情報が削除されてしまった場合

また、リニアPCMレコーダーから機器登録（ペアリング）情報が削除され、スマートフォンにリニアPCMレコーダーのペアリング情報が残っている場合は、ペアリング情報を削除してから再度ペアリングしてください。

ヒント

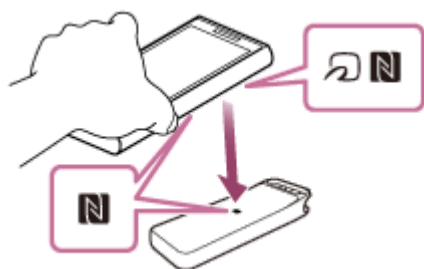
- Androidをお使いの場合、Bluetooth設定画面でPCM-A10が見つからない場合は、画面下部の「機器の検索」を選択して検索してください。
- Androidをお使いの場合、「ペア設定リクエスト」画面でパスコード確認のメッセージが表示されますが、そのまま「ペア設定する」を選択してください。
- Androidをお使いの場合、初回の起動時には手順6で機器詳細画面が表示されます。機器名を変更する場合は「編集」を選択し、変更後に「登録完了」を選択してください。
- Androidをお使いの場合、変更後の機器名は、REC Remoteアプリ内でのみ表示されます。お使いのスマートフォンのOS画面や、リニアPCMレコーダーの画面上には表示されません。
- Androidをお使いの場合、2台目以降のレコーダーとスマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続するには、REC Remoteの操作画面で機器名をタップし、さらに画面下部の （+マーク）をタップして手順3以降の操作をしてください。

ワンタッチ接続（NFC接続）する

スマートフォンにNFC機能がある場合は、以下の手順でスマートフォンとリニアPCMレコーダーを接続します。

- 1 リニアPCMレコーダーの電源を入れる。
- 2 スマートフォンのNFC機能をオンにする。
- 3 スマートフォンでREC Remoteを起動する。
- 4 スマートフォンの **N** マークまたは **↻** マークとリニアPCMレコーダーの **N** マークの位置を合わせて、タッチする。

スマートフォンの画面に、「ペア設定リクエスト」画面が表示されるまでタッチし続けてください。画面が表示されたら、「ペア設定する」を選択してください。



REC Remoteの操作画面が表示されたら、接続は完了です。
「[スマートフォンでリニアPCMレコーダーを操作する](#)」へ進んでください。

ヒント

- ペアリングの際、「ペア設定リクエスト」が「通知」に表示される場合があります。「通知」を表示して「ペア設定リクエスト」をタップし、「ペア設定する」を選択してください。
- 接続がうまくいかないときは次のことを行ってください。
 - － スマートフォンをリニアPCMレコーダーの **N** マーク部分の上でゆっくり動かしてください。
 - － スマートフォンにケースを付けていると、ペアリングできない場合があります。その場合は、ケースを外してください。
 - － リニアPCMレコーダーのNFC機能がオンになっているか確認してください。ホームメニュー - 「Bluetooth」 - 「NFC設定」 - 「オン」になっているか確認してください。
 - － それでも接続がうまくいかない場合には、「[スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する](#)」を試してください。

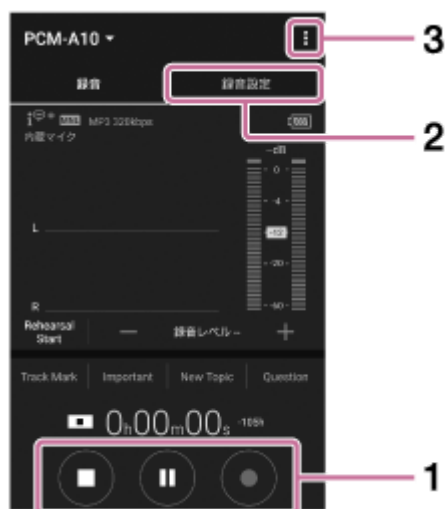
NFC機能とは

携帯電話やICタグなど、さまざまな機器間で近距離無線通信を行うための機能です。指定の場所に「タッチするだけ」で、簡単にデータ通信ができます。

接続したいNFC機能搭載スマートフォンに、リニアPCMレコーダーをタッチするだけで、ペアリングとBluetooth接続が行われます。Bluetooth接続の解除や切り換えも同様です。

スマートフォンでリニアPCMレコーダーを操作する

Bluetooth接続が完了すると、REC Remoteの画面が表示されます。



1. 録音操作ボタンで操作する。
 - 録音開始、● 録音一時停止、■ 録音停止ができます。
2. 設定画面を表示する。
 - 「録音設定」タブを選択すると、録音設定やREC Remoteの設定ができます。
3. ヘルプを見る。
 - ⓘ をタップすると、REC Remote のメニューが表示されます。メニュー内の「ヘルプ」をタップしてください。操作について詳しくは、ヘルプをご覧ください。

ヒント

- 停止中に ● 録音一時停止ボタンを押すと、すぐに録音スタンバイ状態になります。録音レベルを調整するときに便利です。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

Bluetooth接続を切断する

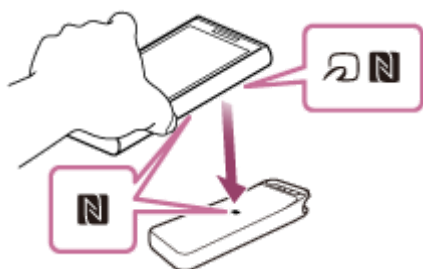
リニアPCMレコーダーの接続方法により、切断の方法が異なります。

「スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する」の手順で接続した場合

リニアPCMレコーダーのホームメニューで、「Bluetooth」－「Bluetoothオン/オフ」－「オフ」を選びます。

「ワンタッチ接続（NFC接続）する」の手順で接続した場合

再度、スマートフォンの  マークまたは  マークとリニアPCMレコーダーの  マークの位置を合わせてタッチします。



切断されると、リニアPCMレコーダーの画面に「切断しました」というメッセージが表示されます。

関連項目

- [スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する](#)

Bluetooth接続を再接続する（Androidの場合）

リニアPCMレコーダーの接続方法により、再接続の方法が異なります。

「[スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する](#)」の手順で接続した場合

- 1 リニアPCMレコーダーのホームメニューで、「 Bluetooth」－「Bluetoothオン/オフ」－「オン」を選び、
▶ ボタンを押す。
- 2 スマートフォンでREC Remoteを起動する。

「[ワンタッチ接続（NFC接続）する](#)」の手順で接続した場合

「[ワンタッチ接続（NFC接続）する](#)」と同じ操作を行います。

関連項目

- [スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

Bluetooth接続を再接続する（iOSの場合）

以下の手順でスマートフォンとリニアPCMレコーダーを再接続します。

- 1 リニアPCMレコーダーのホームメニューで、「 Bluetooth」 - 「Bluetoothオン/オフ」 - 「オン」を選び、
▶ ボタンを押す。
- 2 iPhoneのBluetooth設定画面で、PCM-A10を選択する。
- 3 iPhoneでREC Remoteを起動する。

関連項目

- [スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する](#)

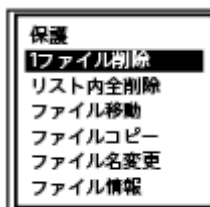
ファイルを削除する

ファイルを選択して削除することができます。

ご注意

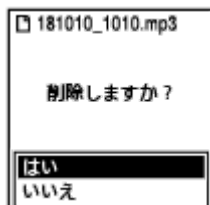
- 一度削除したファイルはもとに戻すことはできません。

- 1 削除したいファイルを選ぶ。
- 2 オプションメニュー - 「1ファイル削除」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「削除しますか？」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

- 3 ▲または▼ ボタンを押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。



「しばらくお待ちください」と表示され、ファイルが削除されます。

ご注意

- 保護設定されているファイルは、削除できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。

ヒント

- 途中で削除をやめるには、手順3で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。
- 1つのファイルの一部分だけ削除するには、ファイル分割で削除する部分としない部分に分け、削除したい部分のファイルを選んで手順2から手順3の操作をします。ファイルの分割について詳しくは、「[現在位置でファイルを分割する](#)」をご覧ください。

関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)
- [フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する](#)

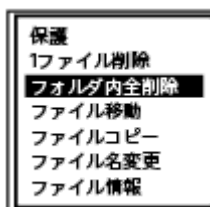
- [フォルダを削除する](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する

選択したフォルダまたはリスト内のファイルをすべて削除します。

- 1 ホームメニューで「🎵ミュージック」または「📁録音したファイル」を選び、▶ ボタンを押す。
- 2 ▲または▼ ボタンを押して、ファイルを検索する方法を選び、▶ ボタンを押す。
- 3 ▲または▼ ボタンを押して、削除したいファイルが入っているフォルダまたはリストを選び、▶ ボタンを押す。
- 4 オプションメニュー - 「フォルダ内全削除」または「リスト内全削除」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「フォルダ内のファイルを全て削除しますか？」または「リスト内のファイルを全て削除しますか？」と表示されます。

- 5 ▲または▼ ボタンを押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。
「しばらくお待ちください」と表示され、フォルダまたはリスト内の全ファイルが削除されます。

ご注意

- 保護設定されているファイルは、削除できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。

ヒント

- 途中で削除をやめるには、手順5で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。

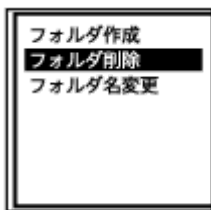
関連項目

- [ファイルを削除する](#)
- [フォルダを削除する](#)

フォルダを削除する

選択したフォルダを削除します。

- 1 ホームメニューで「🎵ミュージック」または「📁録音したファイル」を選び、▶ ボタンを押す。
- 2 ▲または▼ ボタンを押して「フォルダ」を選び、▶ ボタンを押す。
- 3 ▲または▼ ボタンを押して、削除したいフォルダを選ぶ。
- 4 オプションメニューー 「フォルダ削除」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「フォルダを削除しますか？」と表示されます。

- 5 ▲または▼ ボタンを押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。
フォルダが削除されます。

フォルダ内にファイルがあるときは、「フォルダ内のファイルを全て削除しますか？」と表示されます。▲または▼ ボタンを押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押すと、フォルダ内のファイルごとフォルダが削除されます。ただし、フォルダ内にサブフォルダが存在する場合は、サブフォルダと中に保存されているファイルは削除されません。

ご注意

- フォルダ内に保護設定されているファイルがあるときは、フォルダを削除できません。フォルダ内の保護されていないファイルのみが削除されます。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。

ヒント

- 途中で削除をやめるには、手順5で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。
- 録音先フォルダを削除した場合は、「録音先フォルダを切り換えました」と表示され、お買い上げ時の設定である「FOLDER01」に録音先フォルダが切り換わります。
- 録音先フォルダが全て削除された場合は、「フォルダがありません。録音先フォルダを作成します。」と表示され、「FOLDER01」が自動的に作成されます。

関連項目

- [ファイルを削除する](#)

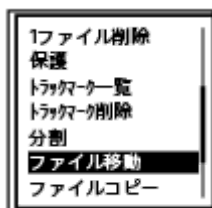
- [フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

ファイルを別のフォルダに移動する

選んだファイルをお好みのフォルダに移動できます。

- 1 移動させたいファイルを選ぶ。
- 2 再生停止中にオプションメニュー - 「ファイル移動」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 3 ▲または▼ ボタンを押して「内蔵メモリーへ移動」または「SDカードへ移動」を選び、▶ ボタンを押す。
- 4 ▲または▼ ボタンを押して、移動先のフォルダを選び、▶ ボタンを押す。



「しばらくお待ちください」と表示され、移動先フォルダにファイルを移動します。
移動すると、もとのフォルダからそのファイルはなくなります。

ご注意

- 保護設定されているファイルは、移動できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。
- 音楽ファイルは、移動できません。

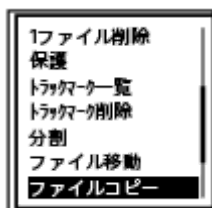
関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)
- [ファイルを別のフォルダにコピーする](#)

ファイルを別のフォルダにコピーする

選んだファイルをお好みのフォルダにコピーできます。バックアップをとる場合などに便利です。

- 1 コピーしたいファイルを選ぶ。
- 2 再生停止中にオプションメニュー - 「ファイルコピー」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 3 ▲または▼ ボタンを押して「内蔵メモリーへコピー」または「SDカードへコピー」を選び、▶ ボタンを押す。

- 4 ▲または▼ ボタンを押して、コピー先のフォルダを選び、▶ ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」と表示され、コピー先フォルダにコピーします。ファイルは同じファイル名でコピーされます。

ご注意

- 音楽ファイルは、コピーできません。

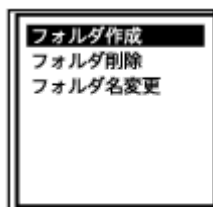
関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)
- [ファイルを別のフォルダに移動する](#)

フォルダを作成する

録音した音声ファイルは、お買い上げ時の設定では「 録音したファイル」の「FOLDER01」フォルダに保存されますが、新しいフォルダを作成して、作成したフォルダを指定することで保存先を変更することができます。

- 1 ホームメニューで「 録音したファイル」を選び、▶ ボタンを押す。
- 2 ▲または▼ ボタンを押してファイルの検索方法で「フォルダ」を選び、▶ ボタンを押す。
- 3 「フォルダ」画面で「内蔵メモリー」または「SDカード」を選び、▶ ボタンを押す。
- 4 オプションメニュー - 「フォルダ作成」を選び、▶ ボタンを押す。



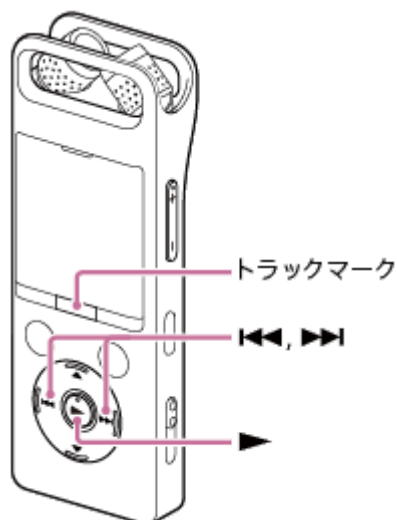
- 5 ▲または▼ ボタンを押して、フォルダ名をテンプレートから選び、▶ ボタンを押す。
フォルダが作成されます。

ご注意

- 「 ミュージック」には、フォルダを作成できません。

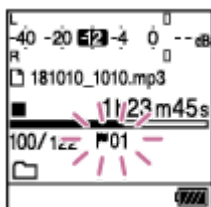
トラックマークを付ける

再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。



- 1 録音中、再生中、録音一時停止中または再生停止中に、トラックマークを付けたい場所でトラックマークボタンを押す。

🚩（トラックマーク）表示が3回点滅し、トラックマークが設定されます。



ご注意

- 保護設定されているファイルは、トラックマークが付けられません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。

ヒント

- トラックマークを付けた位置を探して聞くには、再生停止中／再生中に ⏮ または ⏭ ボタンを押します。再生停止中の場合は、🚩（トラックマーク）表示が1回点滅してから ▶ ボタンを押すと再生されます。
- 書き起こし用再生中もトラックマークをつけることができます。
- 録音中、再生中、録音一時停止中または再生停止中にホームメニューを表示していても、トラックマークボタンを押すとトラックマークが付けられます。
- 専用ソフト（Sound Organizer 2）を使って、トラックマークに名前を付けることができます。ただし、リニアPCMレコーダーで表示されるトラックマーク名の文字数は最大16文字までです。
- スマートフォン用アプリ（REC Remote）を使うと、トラックマークを4種類の中から選んで付けることができます。

関連項目

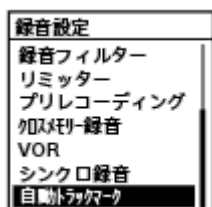
- [トラックマークを自動で付ける](#)
- [トラックマークを削除する](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

トラックマークを自動で付ける

通常録音中に、指定した間隔で自動的にトラックマークを付けられます。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「録音設定」 - 「自動トラックマーク」を選び、▶ ボタンを押す。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して「間隔設定」を選び、▶ ボタンを押す。

- 3 ▲ または ▼ ボタンを押して間隔を選び、▶ ボタンを押す。

「5分」、「10分」、「15分」、「30分」から選びます。
設定が「オン」になります。

- 4 ▲ または ▼ ボタンを押して「時刻情報」を選び、「時刻情報を入れる」を有効にする。

自動トラックマークが付いたときの時刻の情報を、トラックマークに入れることができます。
長時間の会話などを録音するときに設定しておく、録音ファイルの再生時に、トラックマークが付けられた時刻から目的の位置を探すことができるため便利です。
トラックマークは、オプションメニューの「トラックマーク一覧」で確認することができます。

- 5 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

ヒント

- 「自動トラックマーク」の設定を解除するには、手順2で「オフ」を選びます。
- 「自動トラックマーク」の設定を「オン」にしても、録音中にトラックマークボタンを押すと、お好みの位置にトラックマークを付けられます。

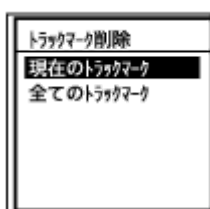
関連項目

- [トラックマークを付ける](#)
- [トラックマークを削除する](#)
- [トラックマーク一覧から目的の再生位置を探す](#)

トラックマークを削除する

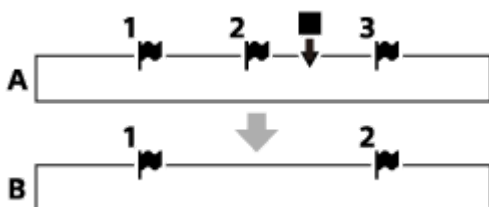
現在位置のトラックマークを削除します。

- 1 **トラックマークを削除したいファイルを選ぶ。**
- 2 **削除したいトラックマーク位置の後で再生を停止する。**
- 3 **オプションメニュー - 「トラックマーク削除」 - 「現在のトラックマーク」を選び、▶ ボタンを押して決定する。**



「トラックマークを削除しますか？」と表示されます。

- 4 **▲または▼ ボタンを押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。**
「しばらくお待ちください」と表示され、トラックマークが削除されます。



- A. トラックマーク削除前：■ = 停止位置
B. トラックマーク削除後：停止位置の1つ前のトラックマークが削除される。

ご注意

- 保護設定されているファイルは、トラックマークを削除できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。
- 録音停止画面では、トラックマークを削除できません。ホームメニューからトラックマークを削除したいファイルを選んでください。

ヒント

- 途中で削除をやめるには、手順4で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。

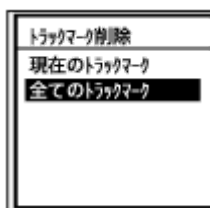
- ファイルを選ぶ
- すべてのトラックマークを削除する

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

すべてのトラックマークを削除する

選んだファイル内のすべてのトラックマークを削除します。

- 1 **トラックマークを削除したいファイルを選ぶ。**
- 2 **オプションメニュー - 「トラックマーク削除」 - 「全てのトラックマーク」を選び、▶ ボタンを押して決定する。**



「トラックマークを全て削除しますか?」と表示されます。

- 3 **▲または▼ ボタンを押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。**
「しばらくお待ちください」と表示され、すべてのトラックマークが一度に削除されます。

ご注意

- 保護設定されているファイルは、トラックマークを削除できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。
- 録音停止画面では、トラックマークを削除できません。ホームメニューからトラックマークを削除したいファイルを選んでください。

ヒント

- 途中で削除をやめるには、手順3で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。

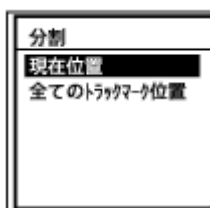
関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)
- [トラックマークを削除する](#)

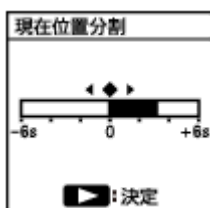
現在位置でファイルを分割する

停止中にファイルを分割して、そのファイル名に新しい番号が付けられます。会議など1つのファイルが長時間になったときなどに、複数のファイルに分割しておくことで、再生したい場所がすばやく探せ、便利です。

- 1 分割したいファイルを選び、分割したい位置で再生を停止する。
- 2 オプションメニュー - 「分割」 - 「現在位置」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 3 分割のプレビュー画面で分割位置を確認し、▶ ボタンを押して決定する。



「現在の停止位置で分割しますか？」と表示されます。

- 4 ▲または▼ボタンを押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。
「しばらくお待ちください」と表示されて、ファイルが分割されます。分割されたファイルは、末尾に「_01」、「_02」というように連番が振られます。

A	ファイル1	ファイル2	ファイル3
B	ファイル1	ファイル2_01	ファイル2_02
		ファイル3	

A. 分割前：▲ = 分割位置

B. 分割後：分割したファイル名の末尾に連番（「_01」、「_02」）が付く。

ご注意

- ファイルの再生中は、ファイルを分割できません。
- 保護設定されているファイルは、分割できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。

ヒント

- 途中で分割をやめるには、手順4で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。

- 本機では、分割したファイルをつなげることはできません。
「Sound Organizer 2」を使うと、ファイルの分割、結合をすることができます。
- ファイルの先頭や終端から近い位置にあるトラックマークは、分割されずにファイルに残る場合があります。

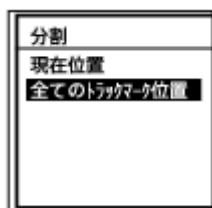
関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)
- [すべてのトラックマーク位置でファイルを分割する](#)

すべてのトラックマーク位置でファイルを分割する

トラックマークのある位置でファイルを分割することができます。

- 1 分割したいファイルを選ぶ。
- 2 再生停止中にオプションメニュー - 「分割」 - 「全てのトラックマーク位置」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「全てのトラックマーク位置で分割しますか？」と表示されます。

- 3 ▲または▼ ボタンを押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」と表示されて、すべてのトラックマークが消去され、トラックマークの位置でファイルが分割されます。分割されたファイルは、末尾に「_01」、「_02」というように連番が振られます。



A. 分割前：🚩 = トラックマーク位置

B. 分割後：トラックマーク位置でファイルが分割され、分割したファイル名の末尾に連番（「_01」、「_02」）が付く。

ご注意

- ファイルの再生中は、ファイルを分割できません。
- 保護設定されているファイルは、分割できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。
- ファイルの先頭や終端から近い位置にあるトラックマークは、分割されずにファイルに残る場合があります。

ヒント

- 途中で分割をやめるには、手順3で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。

関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)

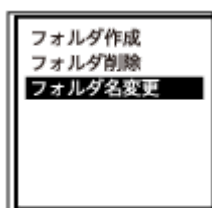
- [現在位置でファイルを分割する](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

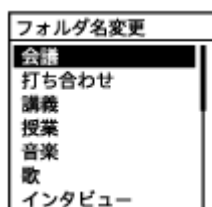
フォルダ名を変更する

リニアPCMレコーダーで録音できるフォルダに対して、フォルダ名を変更することができます。
変更するフォルダ名は、テンプレートから選ぶことができます。

- 1 ホームメニュー - 「 録音したファイル」を選び、▶ ボタンを押して決定する。
- 2 ▲または▼ ボタンを押して、「フォルダ」を選ぶ。
- 3 「フォルダ」画面で「内蔵メモリー」または「SDカード」を選ぶ。
- 4 ▲または▼ ボタンを押して、名前を変更したいフォルダを選ぶ。
- 5 オプションメニュー - 「フォルダ名変更」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 6 ▲または▼ ボタンを押して、好みのフォルダ名を選び、▶ ボタンを押す。



「しばらくお待ちください」と表示され、フォルダ名が変更されます。

ご注意

- 「 ミュージック」内のフォルダは、操作できません。

ヒント

- フォルダ名の末尾には、常に01 ～ 10の数字が付きます。同じフォルダ名を選んだときは、02 ～ 10の数字が付きます。

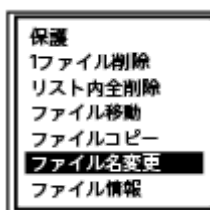
関連項目

- [ファイル名を変更する](#)

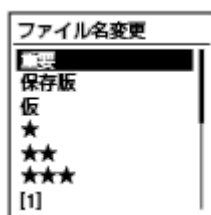
ファイル名を変更する

ホームメニューの「 録音したファイル」内のファイルに対して、ファイル名の先頭に文字を追加することができます。
追加する文字は、テンプレートから選ぶことができます。

- 1 ファイル名を変更したいファイルを選ぶ。
- 2 再生停止中に、オプションメニュー - 「ファイル名変更」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 3 ▲または▼ ボタンを押して、ファイル名の先頭に追加したい文字を選び、▶ ボタンを押す。



「しばらくお待ちください」と表示され、選択した文字または記号と「_」が、ファイル名の先頭に追加されます。

例（181010_1010.wav に「重要」を追加した場合）：重要_181010_1010.wav

ご注意

- 保護設定されているファイルは、操作できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。
- 「 ミュージック」内のファイルは、操作できません。

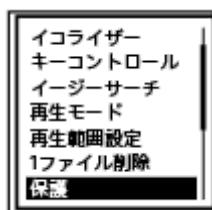
関連項目

- [フォルダ名を変更する](#)

ファイルを保護する

大事なファイルを間違って削除、編集することがないように保護することができます。保護されたファイルは、（保護）マークが表示され、削除、編集ができない読み取り専用ファイルになります。

- 1 保護したいファイルを選ぶ。
- 2 再生停止中にオプションメニュー - 「保護」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「しばらくお待ちください」と表示されたあと、「保護しました」と表示され、ファイルが保護されます。保護されたファイルは、再生画面で（保護）マークが表示されます。

ヒント

- 保護を解除するには、保護設定されたファイルを選び、手順2で「保護解除」を選びます。

関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)

各種設定メニュー一覧

ホームメニューの「 各種設定」のメニュー一覧を紹介します。

録音設定

- 録音先フォルダ：
録音先メモリーとフォルダを変更する
- フォルダ作成：
フォルダを作成する
- シーンセレクト：
用途に合わせた録音シーンを選ぶ
- 録音モード：
録音モードを選ぶ（録音モード）
- 内蔵マイク感度設定：
マイク感度を設定する（内蔵マイク感度設定）
- 外部入力設定：
外部機器の入力モードと入力感度を設定する（外部入力設定）
- 録音フィルター：
ノイズを軽減して録音する（録音フィルター）
- リミッター：
音のひずみを防ぐために入力を調整する（リミッター）
- プリレコーディング：
少し前から録音する（プリレコーディング機能）
- クロスメモリー録音：
メモリーを切り換えて録音を続ける（クロスメモリー機能）
- VOR：
音がしたとき自動録音する－VOR（Voice Operated Recording）録音
- シンクロ録音：
シンクロ録音機能を使って他の機器の音声を録音する
- 自動トラックマーク：
トラックマークを自動で付ける

再生設定

- クリアボイス：
再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする－クリアボイス機能
- イコライザー：
音質を切り替える（イコライザー）
- キーコントロール：
音程を調節する（キーコントロール）

- **イージーサーチ：**
[すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）](#)
- **再生モード：**
[再生モードを変える](#)
- **再生範囲設定：**
[再生範囲を指定する](#)

共通設定

- **ランプ：**
[録音ランプ／ピークランプの点灯・消灯を設定する（ランプ）](#)
- **バックライト：**
[バックライトの点灯、消灯を設定する（バックライト）](#)
- **操作音：**
[操作音の設定をする（操作音）](#)
- **時計設定：**
[日付や時刻を合わせる（日付時刻設定）](#)
[時刻表示の形式を選ぶ（時刻表示形式）](#)
- **スリープタイマー：**
[スリープタイマーを使う（スリープタイマー）](#)
- **オートパワーオフ：**
[電源が自動的に切れるまでの時間を設定する（オートパワーオフ）](#)
- **各種初期化：**
[メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す（設定初期化）](#)
[メモリーを初期化する（内蔵メモリー初期化／SDカード初期化）](#)
- **録音可能時間：**
[録音可能時間を確認する（録音可能時間）](#)
- **本体情報：**
[リニアPCMレコーダーの本体情報を確認する（本体情報）](#)

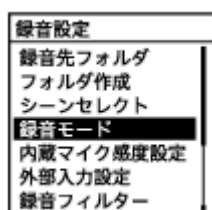
関連項目

- [ホームメニューの使いかた](#)

録音モードを選ぶ（録音モード）

録音するファイルの録音モード（音質など）を設定します。録音を始める前に設定してください。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「録音設定」 - 「録音モード」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ ボタンを押してお好みの録音モードを選び、▶ ボタンを押す。

- 3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■ 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

LPCM 96kHz/24bit :

非圧縮ステレオ高音質録音

LPCM 48kHz/24bit :

非圧縮ステレオ高音質録音

LPCM 48kHz/16bit :

非圧縮ステレオ高音質録音

LPCM 44.1kHz/24bit :

非圧縮ステレオ高音質録音

LPCM 44.1kHz/16bit :

非圧縮ステレオ高音質録音（お買い上げ時の設定）

MP3 320kbps :

ステレオ高音質録音

MP3 192kbps :

ステレオ標準録音

MP3 128kbps :

ステレオ長時間録音

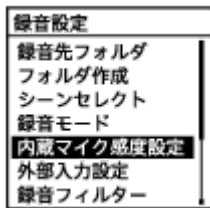
MP3 48kbps(MONO) :

モノラル標準録音

マイク感度を設定する（内蔵マイク感度設定）

内蔵マイクのマイク感度を設定します。マイク感度を下げると周囲の音や遠くで聞こえる音が小さくなるため、ノイズが少なく録音されます。録音を始める前に設定してください。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「録音設定」 - 「内蔵マイク感度設定」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して「自動調整(AGC)」または「マニュアル」を選び、▶ ボタンを押す。
 - 「自動調整(AGC)」を選んだ場合：
▲ または ▼ ボタンを押して「音声用」または「音楽用」を選び、▶ ボタンを押して手順3へ進んでください。
 - 「マニュアル」を選んだ場合：
手順4へ進んでください。
録音中／録音一時停止中に ▲ または ▼ ボタンを押して、録音レベルを調整してください。
- 3 ▲ または ▼ ボタンを押してお好みのマイク感度を選び、▶ ボタンを押す。
- 4 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
 - 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

「自動調整(AGC)」で選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

音声用：

音声を録音するとき、次の設定感度を選ぶことができます。

-  オート：録音レベルが適切になるように、マイク感度は自動的に設定されます（お買い上げ時の設定）。
-  高：広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。
-  中：会議室での録音やインタビューなど、通常の会話や打ち合わせの音声を録音するときに使用します。
-  低：口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。

音楽用：

音楽を録音するとき、次の設定感度を選ぶことができます。

-  高（音楽）：少人数でのコーラスや小さい音、楽器から離れた録音に適しています。
-  中（音楽）：合唱の練習やアコースティックギター、ピアノ、バイオリンなどの楽器の音を1 ～ 2 mくらいの距離で録音するときに適しています。
-  低（音楽）：大音量で演奏するバンド系の音を録音するときに適しています。

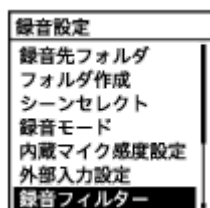
ご注意

- 外部機器を接続して録音している場合は、「外部入力設定」が有効になるため、「内蔵マイク感度設定」は無効になります。

ノイズを軽減して録音する（録音フィルター）

録音フィルター機能を設定すると、ノイズを軽減した録音ができます。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「録音設定」 - 「録音フィルター」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して「NCF(Noise Cut)」または「LCF(Low Cut)」を選び、▶ ボタンを押す。



- 3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■ 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オフ：

録音フィルターを解除します（お買い上げ時の設定）。

NCF(Noise Cut)：

低い周波数の音に加えて、音声以外の高い周波数の音をカットします。

LCF(Low Cut)：

プロジェクターなどのノイズや風切音といった低い周波数の音をカットします。

ご注意

- 「外部入力設定」が「Audio IN」に設定されているときは、録音フィルター機能は働きません。
- NCF（Noise Cut）は音声録音用に最適化してあるため、マイク感度が音楽用に設定してある場合は無効となります。

ヒント

- 録音フィルター機能を止めるには、手順2で「オフ」を選びます。

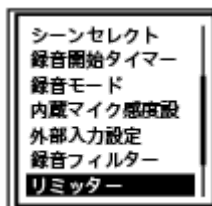
- [外部機器の入力モードと入力感度を設定する（外部入力設定）](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

音のひずみを防ぐために入力を調整する（リミッター）

マニュアル録音時に突発的な大音量が入力されたとき、音のひずみを防ぐために入力を自動的に調節するように設定することができます。

- 1 録音停止中にオプションメニュー－「リミッター」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して「オン」を選び、▶ ボタンを押す。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オン：

リミッター機能を有効にします。

オフ：

リミッター機能を無効にします（お買い上げ時の設定）。

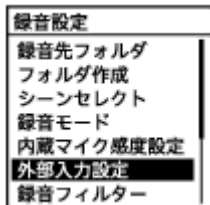
ご注意

- リミッター機能は、「内蔵マイク感度設定」または「外部入力設定」内の感度設定が「マニュアル」になっているときに有効です。

外部機器の入力モードと入力感度を設定する（外部入力設定）

🔌（マイク）ジャックから録音する際の外部入力の設定（「MIC IN」または「Audio IN」）の感度設定を行います。

- 1 ホームメニュー - 「🔧 各種設定」 - 「録音設定」 - 「外部入力設定」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



🔌（マイク）ジャックにマイクをつないでいないときは、「外部入力使用時に有効です」と表示されます。

- 2 ▲ または ▼ ボタンを押してお好みの項目を選び、▶ ボタンを押す。
 - 外部入力の切り換えのみを行い、感度設定をしない場合：
「MIC IN」：🔌（マイク）ジャックに外部マイクをつないだときに選びます。「自動調整(AGC)」と「マニュアル」から選びます。
「Audio IN」：🔌（マイク）ジャックにオーディオコードなど、外部マイク以外のものをつないだときに選びます。「自動調整(AGC)」と「マニュアル」から選びます。
 - 感度設定を行う場合：
「MIC IN」または「Audio IN」の下に「自動調整(AGC)」を選びます。▶ ボタンを押すと、感度設定画面が表示されます。この場合は手順3に進んでください。
- 3 ▲ または ▼ ボタンを押して「音声用」または「音楽用」を選び、▶ ボタンを押す。
- 4 ▲ または ▼ ボタンを押してお好みの感度設定を選び、▶ ボタンを押す。
- 5 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
 - 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

「MIC IN」の「自動調整(AGC)」メニューの詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

音声用：

音声を録音するとき、次の設定感度を選ぶことができます。

- 🎧 オート：録音レベルが適切になるように、マイク感度は自動的に設定されます（お買い上げ時の設定）。
- 🎧 高：広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。
- 🎧 中：会議室での録音やインタビューなど、通常の会話や打ち合わせの音声を録音するときに使用します。
- 🎧 低：口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。

音楽用：

音楽を録音するとき、次の設定感度を選ぶことができます。

- 🎵 高（音楽）：少人数でのコーラスや小さい音、楽器から離れた録音に適しています。

-  中（音楽）：合唱の練習やアコースティックギター、ピアノ、バイオリンなどの楽器の音を1 ～ 2 mくらいの距離で録音するときに適しています。
-  低（音楽）：大音量で演奏するバンド系の音を録音するときに適しています。

「Audio IN」の「自動調整(AGC)」メニューの詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

音楽用：

音楽を録音するとき、次の設定感度を選ぶことができます。

-  高（音楽）：少人数でのコーラスや小さい音、楽器から離れての録音に適しています。
-  低（音楽）：大音量で演奏するバンド系の音を録音するときに適しています。

ヒント

- 録音停止中にオプションメニュー – 「外部入力設定」を選んで設定することもできます。
- お使いの外部マイクによって、録音レベルに差が生じることがあります。録音レベルのピークレベルメーターを確認し、マイク感度設定を変更してください。

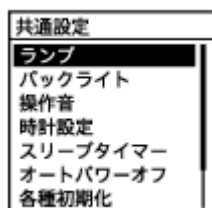
関連項目

- [ピークレベルメーターについて](#)

録音ランプ／ピークランプの点灯・消灯を設定する（ランプ）

操作中の録音ランプ／ピークランプの点灯・消灯を設定します。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「ランプ」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して「オン」または「オフ」を選び、▶ ボタンを押す。

- 3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■ 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オン：

動作中は録音ランプ／ピークランプが点灯または点滅します（お買い上げ時の設定）。

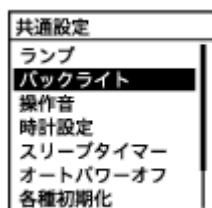
オフ：

動作中も録音ランプ／ピークランプは点灯／点滅しません。

バックライトの点灯、消灯を設定する（バックライト）

表示窓のバックライトの点灯、消灯を設定します。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「バックライト」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押してお好みの項目を選び、▶ ボタンを押す。
- 3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■ 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オフ：

バックライトが点灯しません。

20秒：

操作をすると、バックライトが20秒間点灯します。（お買い上げ時の設定）

1分：

操作をすると、バックライトが1分間点灯します。

常時：

バックライトは常に点灯します。

ご注意

- 「常時」に設定すると、電池の寿命が短くなります。

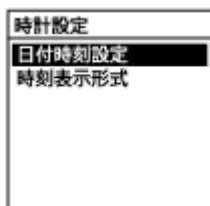
ヒント

- 電池の消費を抑えるため、バックライトを「常時」に設定しても、再生停止または録音停止状態から1分以上操作をしない状態が続くと消灯します。

日付や時刻を合わせる（日付時刻設定）

日付や時刻を合わせることができます。録音を始める前に設定してください。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「時計設定」 - 「日付時刻設定」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 年月日と時分を合わせる。



▲または▼ ボタンを押して、年の数字（西暦）を選び、▶ ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。

◀◀または▶▶ ボタンを押して、次の項目に進んだり、前の項目に戻ったりすることができます。

また、戻る／ホームボタンを押して、1つ前の項目に戻ることもできます。

「分」の数字を選び、▶ ボタンを押すと、設定が時計に反映されます。

- 3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

リニアPCMレコーダーをホールドにすると現在時刻が表示されます。

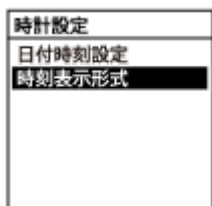
関連項目

- [誤操作を防止する（ホールド）](#)

時刻表示の形式を選ぶ（時刻表示形式）

12時間表示と24時間表示のいずれかを選ぶことができます。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「時計設定」 - 「時刻表示形式」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押してお好みの設定を選び、▶ ボタンを押す。
- 3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■ 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

12時間：

12：00AM＝真夜中、12：00PM＝正午（お買い上げ時の設定）

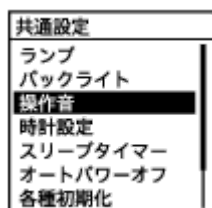
24時間：

00：00＝真夜中、12：00＝正午

操作音の設定をする（操作音）

操作確認音のオン／オフを設定します。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「操作音」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して「オン」または「オフ」を選び、▶ ボタンを押す。

- 3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■ 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オン：

操作時の受け付け確認音およびエラー時の操作音が鳴ります（お買い上げ時の設定）。

オフ：

操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。

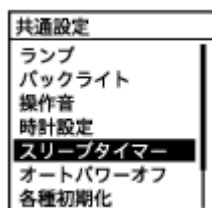
関連項目

- [録音中の音をモニターする](#)

スリープタイマーを使う（スリープタイマー）

設定した時間が経過すると自動的にリニアPCMレコーダーの電源が切れます。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「スリープタイマー」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押してお好みの時間を選び、▶ ボタンを押す。
「オフ」（お買い上げ時の設定）、「15分」、「30分」、「60分」、「90分」、「120分」から選びます。
- 3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
 - 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。スリープタイマーを設定すると、ファイルの再生画面、録音画面に「SLEEP」と表示されます。

ご注意

- オートパワーオフ機能が設定されているときは、スリープタイマーの設定時間の前に電源が切れることがあります。
- 録音中や録音開始タイマーを設定中でも、スリープタイマーの設定時間が経過すると電源が切れます。

ヒント

- すでにスリープタイマーを設定している場合は、スリープタイマー動作中の画面が表示されます。スリープタイマーを停止する場合は、「停止」を選んでください。

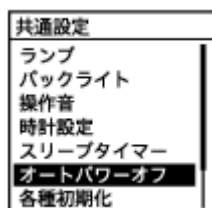
関連項目

- [電源が自動的に切れるまでの時間を設定する（オートパワーオフ）](#)
- [録音開始タイマーを使う](#)

電源が自動的に切れるまでの時間を設定する（オートパワーオフ）

リニアPCMレコーダーが何も操作されないまま設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「オートパワーオフ」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して好みの設定を選び、▶ ボタンを押す。
- 3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
 - 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オフ：

電源は自動的に切れません。

5分：

約5分後に電源が切れます。

10分：

約10分後に電源が切れます。

30分：

約30分後に電源が切れます（お買い上げ時の設定）。

60分：

約60分後に電源が切れます。

ご注意

- 録音開始タイマーのカウントダウン中は、オートパワーオフの設定時間が経過しても、電源は切れません。

ヒント

- Bluetooth接続中でも、オートパワーオフ機能は有効です。リニアPCMレコーダーの電源が切れると、Bluetooth接続が切断されます。必要に応じて、設定時間を変更してください。

関連項目

- [電源を入れる](#)
- [ホールドを解除する](#)

- [録音開始タイマーを使う](#)

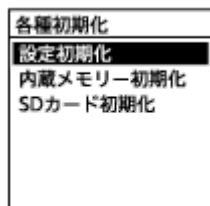
4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す（設定初期化）

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

ただし、時計設定については初期化されません。

- 1 録音停止中または再生停止中に、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「各種初期化」 - 「設定初期化」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「設定を初期値に戻しますか？」と表示されます。

- 2 ▲または▼ボタンを押して「はい」を選び、▶ ボタンを押す。
「しばらくお待ちください」と表示され、設定が初期化されます。

- 3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■ 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

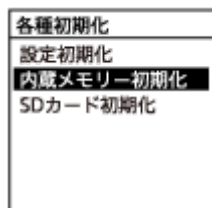
ヒント

- 途中でやめるには、手順2で「いいえ」を選びます。

メモリーを初期化する（内蔵メモリー初期化／SDカード初期化）

内蔵メモリーまたはmicroSDカードを初期化します。メモリー内のすべてのデータを削除し、フォルダ構成を初期状態に戻します。

- 1 録音停止中または再生停止中に、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「各種初期化」 - 「内蔵メモリー初期化」または「SDカード初期化」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「全てのデータを削除しますか？」と表示されます。

- 2 ▲または▼ ボタンを押して「はい」を選び、▶ ボタンを押す。
「しばらくお待ちください」と表示され、選択したメモリーが初期化されます。

- 3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■ 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

ご注意

- リニアPCMレコーダーで使うmicroSDカードはパソコンで初期化しないでください。必ずリニアPCMレコーダーで行ってください。
- 内蔵メモリーまたはmicroSDカードの初期化をすると、保存されていたすべてのデータが削除されます。（保護したファイルやSound Organizer 2も削除されます。）一度削除した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。

ヒント

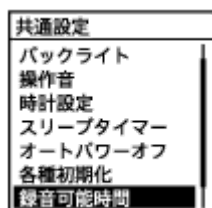
- Sound Organizer 2は、リニアPCMレコーダー サポート・お問い合わせページからダウンロードできます。詳しくは、「Sound Organizer 2を使う」（別冊）をご覧ください。
- 途中で初期化をやめるには、手順2で「いいえ」を選びます。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

録音可能時間を確認する（録音可能時間）

現在設定している録音モードでの録音可能な残り時間を時間、分、秒で表示します。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「録音可能時間」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

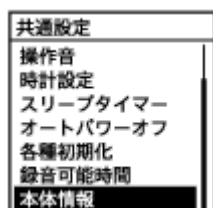
■ 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

リニアPCMレコーダーの本体情報を確認する（本体情報）

リニアPCMレコーダーの型名とソフトウェアのバージョンを表示します。

- 1 ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「本体情報」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

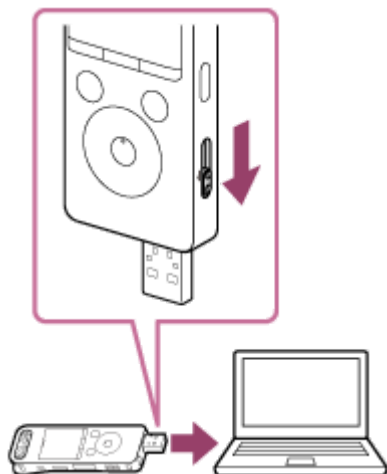
■ 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

リニアPCMレコーダーをパソコンに接続する

リニアPCMレコーダーとパソコンでファイルをやり取りするためには、リニアPCMレコーダーをパソコンに接続します。

- 1 リニアPCMレコーダーのUSBつまみをスライドし、起動しているパソコンのUSBポートに接続する。



- 2 正しく認識されているかを確認する。

- Windowsでは、「コンピューター」または「PC」を開き、「PCMRECORDER」または「MEMORY CARD」が新しく認識されているかを確認してください。
- Macでは、Finderに「PCMRECORDER」または「MEMORY CARD」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。

接続するとパソコン側でリニアPCMレコーダーを認識することができ、ファイルのやり取りが行えます。接続している間はリニアPCMレコーダーの表示窓に「接続中」の表示が出ています。

関連項目

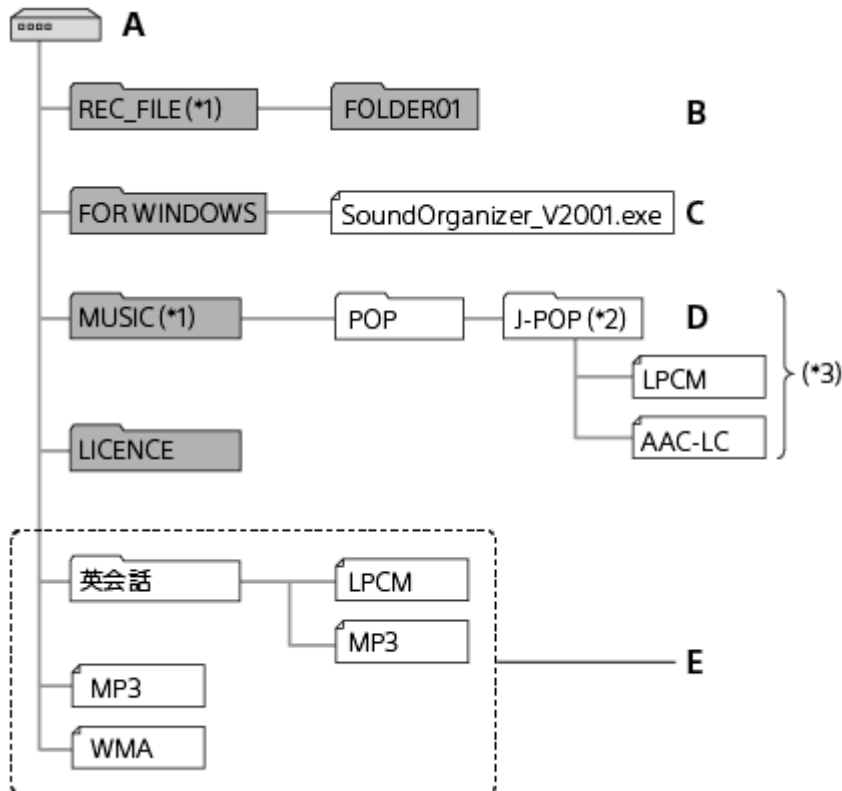
- [リニアPCMレコーダーをパソコンから取り外す](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

フォルダとファイルの構成

リニアPCMレコーダーをパソコンに接続すると、フォルダやファイルの構成をパソコンの画面で見ることができます。WindowsではExplorerを使って、MacではFinderを使って、「PCMRECORDER」または「MEMORY CARD」を開くと、フォルダやファイルを表示できます。パソコンの画面で見ると、次の図のように表示されます。

内蔵メモリーの場合



A: PCMRECORDER

B: リニアPCMレコーダーで録音したファイルが入るフォルダ

C: Sound Organizer 2格納フォルダ

D: パソコンから転送したフォルダ

E: この位置に保存したファイルまたはフォルダは、リニアPCMレコーダーでは認識できません。

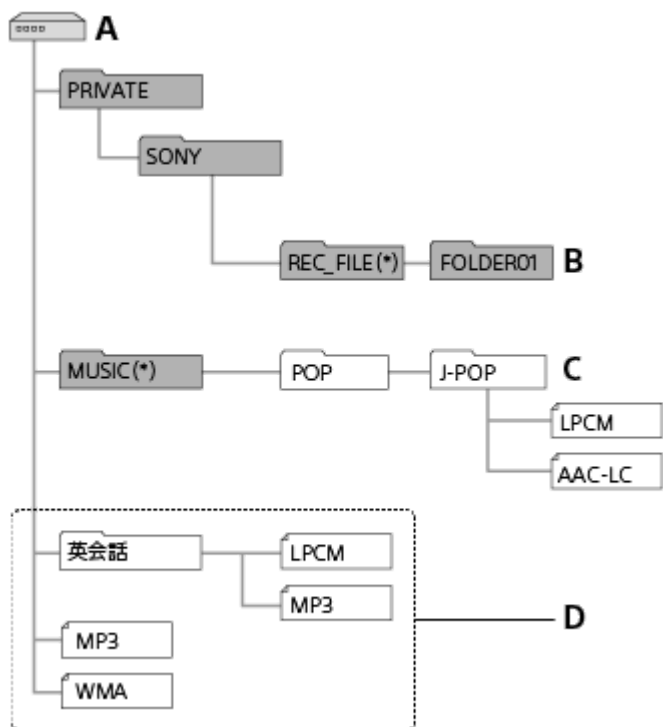
- *1 REC_FILEフォルダの中のファイルが、「 録音したファイル」に表示されるファイルです。
MUSICフォルダの中のファイルが、「 ミュージック」に表示されるファイルです。
ファイルを転送するときは、REC_FILEフォルダ内またはMUSICフォルダ内に入れてください。
- *2 音楽ファイルが保存されたフォルダ名はリニアPCMレコーダーでも同じフォルダ名として表示されます。管理しやすいフォルダ名にしておくと便利です。（図は、フォルダ名称の例です。）
- *3 音楽ファイルを認識できるのは、リニアPCMレコーダーに転送したフォルダの8階層目までとなります。

ヒント

- パソコンにある音楽ファイルをリニアPCMレコーダーに転送するときは、あらかじめタイトルやアーティストなどの情報を登録しておくと便利です。
情報を登録すると、リニアPCMレコーダーで音楽ファイルの情報を表示したり、登録した情報から音楽ファイルを検索したりすることができます。
- タイトル名が登録されていない場合は、リニアPCMレコーダーではファイル名が表示されます。

microSDカードの場合

ファイルの保存先がmicroSDカードの場合、内蔵メモリーの場合とはフォルダの構成が異なります。



A: microSDカード

B: リニアPCMレコーダーで録音したファイルが入るフォルダ

C: パソコンから転送したフォルダ

D: この位置に保存したファイルまたはフォルダは、リニアPCMレコーダーでは認識できません。

- * REC_FILEフォルダの中のファイルが、「 録音したファイル」に表示されるファイルです。
- MUSICフォルダの中のファイルが、「 ミュージック」に表示されるファイルです。
- ファイルを転送するときは、REC_FILEフォルダ内またはMUSICフォルダ内に入れてください。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

ファイルをリニアPCMレコーダーからパソコンにコピーして保存する

リニアPCMレコーダーにあるファイルやフォルダをパソコンにコピーして保存することができます。



1 リニアPCMレコーダーをパソコンに接続する。

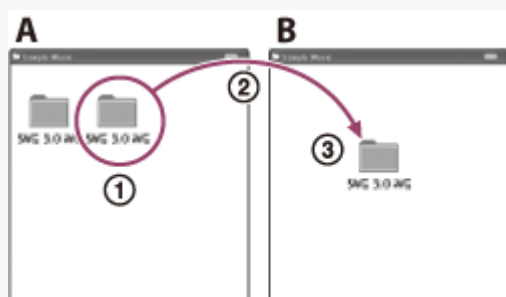
2 保存したいファイルやフォルダをパソコンにコピーする。

「PCMRECORDER」または「MEMORY CARD」に入っているファイルやフォルダをパソコンのローカルディスクにドラッグアンドドロップします。

3 リニアPCMレコーダーをパソコンから取り外す。

ヒント

- ファイルやフォルダをコピー（ドラッグアンドドロップ）するには、コピーしたいフォルダをクリックしたまま（①）、保存先まで移動（ドラッグ）して（②）、離します（ドロップ）（③）。



A: リニアPCMレコーダーまたはmicroSDカード

B: パソコン

関連項目

- [リニアPCMレコーダーをパソコンに接続する](#)
- [リニアPCMレコーダーをパソコンから取り外す](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

パソコンにある音楽ファイルをリニアPCMレコーダーにドラッグアンドドロップしてコピーする

パソコンに保存してある音楽（語学）ファイル（FLAC(.flac)/LPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)）をリニアPCMレコーダーにコピーして再生することができます。



① リニアPCMレコーダーをパソコンに接続する。

② パソコン内の音楽ファイルが入っているフォルダをリニアPCMレコーダーにコピーする。

WindowsではExplorerを使って、MacではFinderを使って、音楽ファイルが入っているフォルダをREC_FILEフォルダ内またはMUSICフォルダ内にドラッグアンドドロップします。

1個のフォルダには最大199のファイルを入れることができます。内蔵メモリーおよびmicroSDカード内のフォルダとファイルを合計して、最大5,000件まで認識できます。

③ リニアPCMレコーダーをパソコンから取り外す。

関連項目

- [リニアPCMレコーダーの仕様](#)
- [リニアPCMレコーダーをパソコンに接続する](#)
- [リニアPCMレコーダーをパソコンから取り外す](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

パソコンからコピーした音楽ファイルをリニアPCMレコーダーで再生する

パソコンからコピーした音楽ファイルをリニアPCMレコーダーで再生します。

1 「 録音したファイル」または「 ミュージック」からファイルを検索して選ぶ。

パソコンからREC_FILEフォルダ内にコピーしたファイルは「 録音したファイル」、MUSICフォルダ内にコピーしたファイルは「 ミュージック」から検索できます。
ファイルの検索方法については、「[ファイルを選ぶ](#)」をご覧ください。

2 ▶ ボタンを押して再生を始める。

3 ■ 停止ボタンを押して再生を止める。

関連項目

- [再生時の表示](#)
- [リニアPCMレコーダーの仕様](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

USBメモリーとして利用する

リニアPCMレコーダーとパソコンをUSB経由で接続すると、パソコン上にあるリニアPCMレコーダーで録音したファイル以外の画像やテキストなどのファイルをリニアPCMレコーダーに一時保存できます。

USBメモリーとして使うためには、一定の条件を満たしたシステム構成のパソコンが必要です。

OSの条件については「[必要なシステム構成](#)」をご覧ください。

Sound Organizer 2でできること（Windowsのみ）

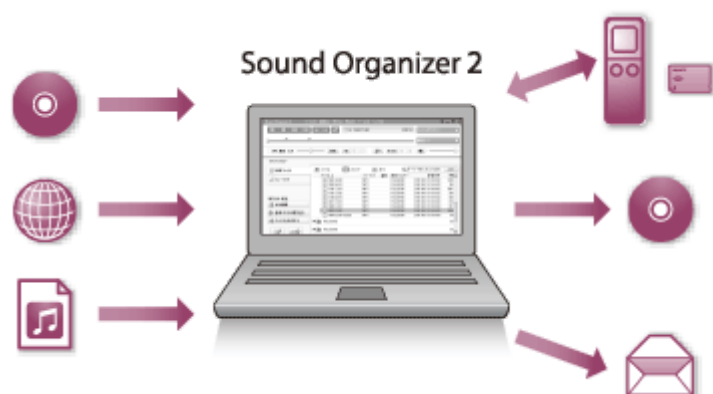
本体メモリーのファイル（[SoundOrganizer_V2001.exe]）からインストールします。

Sound Organizer 2を使うと、リニアPCMレコーダーとパソコンの間でファイルのやりとりができます。また、音楽CDなどから取り込んだ楽曲やパソコンに取り込んだMP3などの音声ファイルを再生したり、リニアPCMレコーダーに転送したりできます。

取り込んだファイルは、再生、編集、MP3ファイルなどへの変換など、さまざまな操作ができます。

また、お好みの音楽CDを作成したり、会議の議事録作成、語学学習、音声ファイルのメール送信などができます。パソコンならではの楽しみかたが広がります。

使用方法の詳細はSound Organizer 2のヘルプをご覧ください。



リニアPCMレコーダーで録音したファイルを取り込む

リニアPCMレコーダーで録音したファイルをSound Organizer 2に取り込みます。
取り込んだファイルはパソコンに保存されます。

音楽CDから楽曲を取り込む

音楽CDの楽曲をSound Organizer 2に取り込みます。
取り込んだ楽曲はパソコンに保存されます。

パソコン上のファイルを取り込む

パソコン上に保存されている音楽などのファイルをSound Organizer 2に取り込みます。

ファイルを再生する

Sound Organizer 2に取り込んだファイルを再生します。

ファイルの曲情報を変更する

ファイル一覧に表示されるタイトル名、アーティスト名などの曲情報を変更します。

ファイルを分割する

1つのファイルを複数のファイルに分割します。

ファイルを結合する

複数のファイルを1つのファイルに結合します。

リニアPCMレコーダーからファイルを削除する

リニアPCMレコーダーに保存されているファイルを削除できます。
リニアPCMレコーダーの空き容量を増やしたい場合や、不要なファイルがある場合などは、この操作でリニアPCMレコーダー内のファイルを削除してください。

リニアPCMレコーダーに転送する

Sound Organizer 2からリニアPCMレコーダーにファイルを転送します。
転送された音楽などをリニアPCMレコーダーで楽しむことができます。

音楽CDを作成する

Sound Organizer 2に取り込んだ楽曲からお好みの楽曲を選んで、自分だけのオリジナル音楽CDを作成します。

その他の便利な使いかた

メールソフトウェアを起動して、録音したファイルを添付してメールで送信できます。

関連項目

- [Sound Organizer 2をインストールする（Windowsのみ）](#)

Sound Organizer 2の使用に必要なパソコンのシステム構成

Sound Organizer 2を使用するためには、以下の環境が必要です。

OS

- Windows 10
- Windows 8.1
- Windows 7 (Service Pack 1 以降)

標準インストール（日本語版のみ）

ご注意

- 上記のOSがパソコン工場出荷時にインストールされている必要があります。
アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

以下の性能を満たしたIBM PC/ATおよびその互換機

- CPU
Windows 7/Windows 8.1/Windows 10 : 1.66 GHz以上のプロセッサー
- メモリー
Windows 7/Windows 8.1/Windows 10 : 1 GB以上（32ビット版）／2 GB以上（64ビット版）
- ハードディスクの空き容量
400 MB以上
Windowsのバージョンによってはそれ以上使用場合があります。
また、音楽データを扱うための空き容量がさらに必要です。
- ディスプレイの設定
画面の解像度 : 800×600ピクセル以上（1,024×768ピクセル推奨）
画面の色 : High Color（16ビット）以上
- USBポート
機器・メディアをお使いになるには、使用可能なUSBポートが必要です。
USBハブにて拡張されたUSBポートは特別に動作保証された機種以外での動作の保証はいたしません。
- ディスクドライブ
音楽CDを作成する場合はCD-R/RWドライブが必要です。

Sound Organizer 2をインストールする（Windowsのみ）

Sound Organizer 2をパソコンのハードディスクなどにインストールします。

ご注意

- Sound Organizer（ver.1.6）をお使いの方も、必ずSound Organizer 2をインストールしてください。
- Sound Organizer 2をインストールするときは、Administrator（管理者）権限でログオンしてください。
また、Windows 7/Windows 8.1をお使いで「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、
「はい」をクリックしてください。
- Sound Organizer 2のインストールによってWindows Media Format Runtimeのモジュールが追加されます。
Sound Organizer 2をアンインストールした場合でも、このモジュールは削除されません。
ただし、Windows Media Format Runtimeがプリインストールされている場合にはインストールされないことがあります。
- Sound Organizer 2をアンインストールした場合にも、コンテンツ格納先フォルダ内のデータは消えません。
- 1台のパソコンに複数のオペレーティングシステムをインストールした環境では、それぞれのオペレーティングシステムに
Sound Organizer 2をインストールしないでください。
データの不整合が生じる場合があります。

1 リニアPCMレコーダーをパソコンに接続する。

2 パソコンからエクスプローラーを起動する。

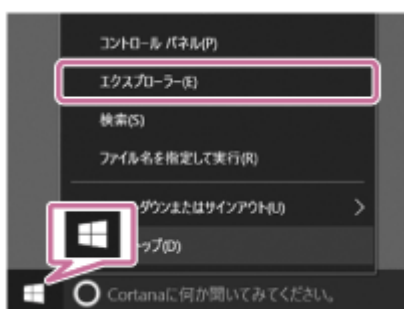
Windows 7の場合

デスクトップ左下の【（スタート）】から、【すべてのプログラム】－【 アクセサリ】－【エクスプローラー】をクリックする。



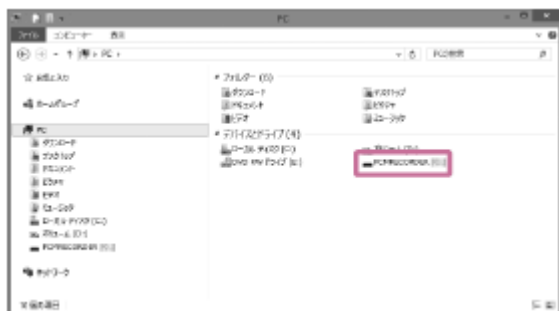
Windows 8.1/Windows 10の場合

デスクトップ画面の左下隅を右クリックして、表示されたメニューの【エクスプローラー】をクリックする。



画面はお使いのWindowsのバージョンによって異なります。

- 3 [PCMRRECORDER] - [FOR WINDOWS] をダブルクリックする。



- 4 [SoundOrganizer_V2001]（または [SoundOrganizer_V2001.exe]）をダブルクリックする。



お使いのWindowsのバージョンによっては、途中の画面が表示されずに、セットアップの準備（解凍）が自動的に始まる場合があります。
画面の指示に従って操作してください。

- 5 「Sound Organizer 2インストーラーへようこそ」の画面が表示されたら、[次へ] をクリックする。
- 6 使用許諾契約の内容を確認したら、[使用許諾契約に同意します] を選び、[次へ] をクリックする。
- 7 「インストールの種類」の画面が表示されたら、お好みで [標準]、[カスタム] のいずれかを選び、[次へ] をクリックする。
[カスタム] を選んだ場合は、画面の指示に従い、インストール設定を行ってください。
- 8 「インストールの開始」の画面が表示されたら、[インストール] をクリックする。
インストールが始まります。

- 9 「Sound Organizer 2は正常にインストールされました」の画面が表示されたら、「Sound Organizer 2を今すぐ起動する」にチェックが入っていることを確認し、【終了】をクリックする。

ご注意

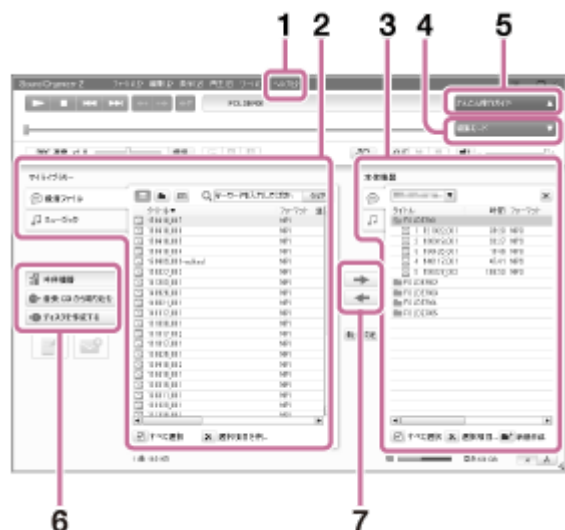
- Sound Organizer 2のインストール後、パソコンの再起動が必要になる場合があります。

関連項目

- [リニアPCMレコーダーをパソコンに接続する](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

Sound Organizer 2の基本操作（Windowsのみ）



1. ヘルプ

Sound Organizer 2のヘルプを表示します。
各操作の詳細はヘルプを参照してください。

2. Sound Organizer 2ファイル一覧（マイライブラリー）

Sound Organizer 2のマイライブラリーに含まれるファイルの一覧を、操作に合わせて表示します。

録音ファイル：録音ファイルの一覧を表示します。

リニアPCMレコーダーで録音したファイルを取り込むと、このライブラリーに表示されます。

ミュージック：音楽ファイルの一覧を表示します。

音楽CDから楽曲を取り込むと、このライブラリーに表示されます。

3. リニアPCMレコーダーファイル一覧

パソコンに接続しているリニアPCMレコーダーに保存されているファイルが表示されます。

4. 編集モードボタン

編集エリアを表示して、ファイルを編集できます。

5. かんたん操作ガイドボタン

Sound Organizer 2の基本的な機能をガイドする、「かんたん操作ガイド」を表示します。

6. サイドバー（取り込み・転送）

本体機器：転送画面を表示します。接続機器内のファイル一覧が表示されます。

音楽CDから取り込む：音楽CDの取り込み画面を表示します。

ディスクを作成する：ディスク作成画面を表示します。

7. ファイル転送ボタン

: Sound Organizer 2のファイルをリニアPCMレコーダーに転送します。

: リニアPCMレコーダーのファイルをSound Organizer 2のマイライブラリーに取り込みます。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

リニアPCMレコーダーで使えるメモリーカード

このリニアPCMレコーダーでは、以下のメモリーカードをお使いになれます。

- microSDHCカード（4 GB ～ 32 GB）
- microSDXCカード（64 GB以上）

最新の動作確認済みメモリーカードについては、リニアPCMレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページ <https://www.sony.jp/support/ic-recorder/> をご覧ください。

microSDカードに記録・再生できるファイルのサイズはリニアPCMレコーダーの仕様上、1ファイルにつきLPCMとFLACは4 GB未満、MP3/WMA/AAC-LCは1 GB未満です。

ご注意

- 対応仕様のmicroSDカードでも、すべてのmicroSDカードでの動作を保証するものではありません。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

必要なシステム構成

パソコンと接続する場合や、USBメモリーとして使う場合に必要なシステム構成は以下の通りです。
Sound Organizer 2をお使いの場合は、「[Sound Organizer 2の使用に必要なパソコンのシステム構成](#)」をご覧ください。

OS

- Windows 10
- Windows 8.1
- Windows 7 (Service Pack 1 以降)
- macOS (v10.10～v10.13)

ご注意

- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。
- 最新の対応OSについては、「[サポートホームページで調べる](#)」をご覧ください。

以下の性能を満たしたWindowsコンピューターまたはMac

- USBポート
- ディスクドライブ：音楽CDを作成する場合は、CD-R/RWドライブが必要です。

リニアPCMレコーダーの仕様

主な仕様

容量（ユーザー使用可能領域）（*1）（*2）	16 GB（約12.80 GB = 13,743,895,347 Byte）
最大録音ファイル数（1フォルダ内）	199ファイル
最大ファイル数	5,000ファイル（フォルダ数を含む）
周波数特性	● LPCM 96 kHz/24 bit（STEREO）：40 Hz～40,000 Hz（0～－3 dB） ● LPCM 48 kHz/24 bit（STEREO）：40 Hz～21,000 Hz（0～－3 dB） ● LPCM 48 kHz/16 bit（STEREO）：40 Hz～21,000 Hz（0～－3 dB） ● LPCM 44.1 kHz/24 bit（STEREO）：40 Hz～20,000 Hz（0～－3 dB） ● LPCM 44.1 kHz/16 bit（STEREO）：40 Hz～20,000 Hz（0～－3 dB） ● MP3 320 kbps（STEREO）：40 Hz～20,000 Hz（0～－3 dB） ● MP3 192 kbps（STEREO）：40 Hz～18,000 Hz（0～－3 dB） ● MP3 128 kbps（STEREO）：40 Hz～16,000 Hz（0～－3 dB） ● MP3 48 kbps（MONO）：40 Hz～14,000 Hz（0～－3 dB）
対応ファイルフォーマット	MP3（*3）（*4） ● ビットレート：32 kbps～320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応 ● サンプル周波数：16/22.05/24/32/44.1/48 kHz ● 拡張子：.mp3
	WMA（*3）（*5） ● ビットレート：32 kbps～192 kbps、可変ビットレート（VBR）対応 ● サンプル周波数：44.1 kHz ● 拡張子：.wma
	AAC-LC（*3）（*6） ● ビットレート：16 kbps～320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応 ● サンプル周波数：11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz

	● 拡張子 : .m4a
	LPCM (*3) (*7) ● 量子化ビット数 : 24 ビット ● サンプル周波数 : 44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz ● 拡張子 : .wav
	LPCM (*3) (*7) ● 量子化ビット数 : 16 ビット ● サンプル周波数 : 22.05/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz ● 拡張子 : .wav
	FLAC (*3) (*7) ● 量子化ビット数 : 24 ビット ● サンプル周波数 : 44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz ● 拡張子 : .flac
	FLAC (*3) (*7) ● 量子化ビット数 : 16 ビット ● サンプル周波数 : 22.05/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz ● 拡張子 : .flac
信号対雑音比 (SN比)	● 録音モード : LPCM 96 kHz、24 bit LPCM 44.1/48 kHz、16/24 bit ● SN比 : 87 dB以上 (1 kHz IHF-A) 負荷インピーダンス : 16 Ω
最大入力音圧 (内蔵マイク)	123 dBSPL
全高調波ひずみ率	● 録音モード : LPCM 96 kHz、24 bit LPCM 44.1/48 kHz、16/24 bit ● ひずみ率 : 0.06%以下 (20 kHz LPF) 負荷インピーダンス : 16 Ω
Bluetooth	● 通信方式 : Bluetooth標準規格 Ver 4.0 ● 最大通信範囲 (*8) : 見通し距離 約10 m ● 使用周波数帯域 : 2.4 GHz帯 (2.4000 GHz~2.4835 GHz)

	● 変調方式：FHSS ● 対応Bluetoothプロファイル（＊9）：SPP 1.2（Serial Port Profile）、A2DP 1.3（Advanced Audio Distribution Profile）、AVRCP 1.3（Audio Video Remote Control Profile） ● 登録可能機器数：最大8台（REC Remote機器とオーディオ機器合わせて） ● 対応コーデック（＊10）：SBC（Subband Codec）
内蔵スピーカー	直径16 mm
入力端子（ステレオミニジャック）	● MIC IN時（プラグインパワー対応） 入カインピーダンス：3.9 kΩ 規定入力レベル：2.5 mV 最小入力レベル：1 mV ● Audio IN時 入カインピーダンス：4.7 kΩ 規定入力レベル：2 V 最小入力レベル：18 mV
出力端子（ステレオミニジャック）	ヘッドホン ● 規定出力レベル：400 mV ● 最大出力レベル：20 mW + 20 mW以上、負荷インピーダンス：16 Ω ● 推奨負荷インピーダンス：16～32 Ω
USB端子	Type-A High-Speed USB対応
カードスロット	microSD対応スロット
再生スピード調節（DPC）	● 1.00倍速～0.25倍速：サンプリング周波数 88.2 kHz以上のFLAC ● 2.00倍速～0.25倍速：サンプリング周波数 88.2 kHz以上のLPCM、88.2 kHz未満のFLAC ● 3.00倍速～0.25倍速：上記以外
実力最大出力	200 mW
電源	DC 3.7 V、内蔵リチウムイオン充電式電池
動作温度	5℃～35℃
最大外形寸法（最大突起部含まず）	約39.2 mm×109.5 mm×16.0 mm （幅／高さ／奥行き）
質量	約82 g
付属品	「箱の中身を確認する」参照
別売アクセサリ	● USB ACアダプター 市販のUSB ACアダプターを使用するときは、出力電流500 mA以上で給電可能なUSB ACアダプターをご使用ください。これ以外の機器からの充電は保証しておりません。

● USB ポータブル電源

最新の対応機器は<https://www.sony.jp/battery/search/>をご覧ください。

- *1 メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。
- *2 リニアPCMレコーダーで内蔵メモリーを初期化した場合
- *3 すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。
- *4 これらに加えてリニアPCMレコーダーの各録音モードで録音したMP3ファイルの再生にも対応しています。
- *5 WMA Ver.9には準拠していますが、MBR（Multi Bit Rate）、Lossless、Professional、Voiceには対応していません。
- *6 著作権保護されたファイルは再生できません。
- *7 176.4 kHzは88.2 kHz、192 kHzは96 kHzにダウンサンプリングして再生されます。
- *8 通信環境によって変化する場合があります。
- *9 Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。
- *10 音声圧縮変換方式のこと

リニアPCMレコーダーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

最大録音時間

録音モード、録音シーンの設定別で、最大録音時間（＊1）（＊2）を記載しています。
最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

内蔵メモリー

録音モード（録音シーン）（＊3）	最大録音時間
LPCM 96kHz/24bit（STEREO）	6時間35分
LPCM 48kHz/24bit（STEREO）	13時間15分
LPCM 48kHz/16bit（STEREO）	19時間50分
LPCM 44.1kHz/24bit（STEREO）	14時間25分
LPCM 44.1kHz/16bit（STEREO） （  /  /  /  ）	21時間35分
MP3 320kbps（STEREO）	95時間25分
MP3 192kbps（STEREO） （  /  /  /  /  /  ）	159時間
MP3 128kbps（STEREO）	238時間
MP3 48kbps（MONO）	636時間

メモリーカード

録音モード（録音シーン）（＊3）	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
LPCM 96kHz/24bit（STEREO）	7時間25分	14時間50分	29時間40分	59時間35分
LPCM 48kHz/24bit（STEREO）	14時間50分	29時間45分	59時間35分	119時間
LPCM 48kHz/16bit（STEREO）	22時間20分	44時間40分	89時間25分	178時間
LPCM 44.1kHz/24bit（STEREO）	16時間10分	32時間25分	64時間55分	124時間
LPCM 44.1kHz/16bit（STEREO） （  /  /  /  ）	24時間20分	48時間40分	97時間20分	194時間
MP3 320kbps（STEREO）	107時間	214時間	429時間	858時間
MP3 192kbps（STEREO） （  /  /  /  /  /  ）	178時間	357時間	715時間	1,431時間
MP3 128kbps（STEREO）	268時間	536時間	1,073時間	2,147時間
MP3 48kbps（MONO）	715時間	1,431時間	2,863時間	5,726時間

1ファイル最大録音可能時間（＊4）

録音モード（録音シーン）（＊3）	内蔵メモリー
LPCM 96kHz/24bit（STEREO）	2時間
LPCM 44.1kHz/16bit（STEREO） （  /  /  /  ）	6時間45分
MP3 320kbps（STEREO）	7時間25分
MP3 192kbps（STEREO） （  /  /  /  ）	12時間25分

＊1 連続録音の場合は、別売のUSB ACアダプターが必要になります。

詳しくは「[電池の持続時間](#)」をご確認ください。

＊2 表記の最大録音時間は目安です。カードの仕様によって変わることがあります。

＊3 録音シーンはお買い上げ時の設定です。

＊4 システム制約でファイルサイズの上限（LPCMは4 GB、MP3は1 GB）を超えて録音する場合は、ファイルが分割されます。

音楽ファイル最大再生時間／ファイル数

ビットレート別で音楽ファイルの最大再生時間／ファイル数（＊）を記載しています。

ビットレート	再生時間	曲数
128 kbps	238時間	3,570ファイル
256 kbps	119時間	1,785ファイル

＊ パソコンにある1ファイル4分のMP3ファイルを転送して再生する場合

電池の持続時間

ファイルのデータ形式別で、内蔵充電式電池の持続時間（＊）を記載しています。

録音モード	録音時	内蔵スピーカー再生時	ヘッドホン再生時	REC Remote録音時	Bluetooth再生時
LPCM 96kHz/24bit (STEREO)	約15時間	約9時間	約18時間	約10時間	約14時間
LPCM 48kHz/24bit (STEREO)	約15時間	約9時間	約20時間	約10時間	約18時間
LPCM 48kHz/16bit (STEREO)	約15時間	約9時間	約20時間	約10時間	約18時間
LPCM 44.1kHz/24bit (STEREO)	約20時間	約9時間	約22時間	約12時間	約18時間
LPCM 44.1kHz/16bit (STEREO)	約20時間	約9時間	約22時間	約12時間	約18時間
MP3 320kbps (STEREO)	約22時間	約10時間	約25時間	約12時間	約18時間
MP3 192kbps (STEREO)	約22時間	約10時間	約25時間	約12時間	約18時間
MP3 128kbps (STEREO)	約22時間	約10時間	約25時間	約12時間	約18時間
MP3 48kbps (MONO)	約24時間	約10時間	約25時間	約12時間	約18時間
音楽ファイル (LPCM 192kHz/24bit)	—	約7時間	約13時間	—	約10時間

＊ 当社規定による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。

充電時間

電池残量がない状態からフル充電までは約3時間かかります。

保証書とアフターサービス

修理や交換などのアフターサービスを受けるには、保証書が必要です。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- 調子が悪いときはまずチェックを
このヘルプガイドをもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも具合が悪いときはサービスへ
ソニーの相談窓口、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。
- 保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- 部品の保有期間について
当社は、リニアPCMレコーダーの補修・性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。
ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Google Play及びAndroidはGoogle LLCの商標です。
- microSD、microSDHCおよびmicroSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- Apple、Apple logo、iPhone、macOS、iOSおよびMacは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
App StoreはApple Inc.のサービスマークです。



- BLUETOOTH®ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニー株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。



- Nマークは、NFC Forum, Inc.の米国その他の国における商標または登録商標です。



-  は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

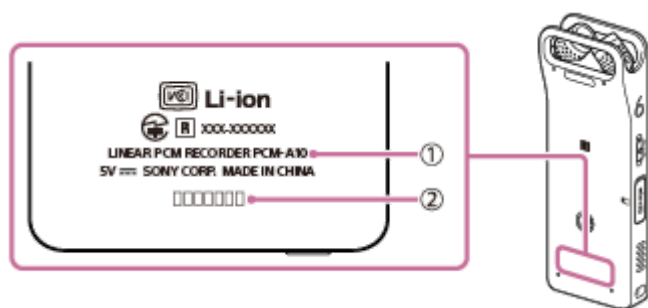
リニアPCMレコーダー
PCM-A10

電話・FAXで問い合わせる

リニアPCMレコーダーの使いかたやトラブルについて、電話やFAXで問い合わせることができます。
本機の商品カテゴリーは「リニアPCMレコーダー」です。

お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

- リニアPCMレコーダー本体に関するご質問時：
 型名（①）：PCM-A10
 シリアルナンバー（②）：本体裏面に記載
 ご相談内容：できるだけ詳しく
 お買い上げ年月日



- ソフトウェアに関するご質問時：
質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

使い方相談窓口

- フリーダイヤル：0120-333-020
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。
- 携帯電話・PHS・一部のIP電話：050-3754-9577
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。
- FAX：0120-333-389

修理相談窓口

- フリーダイヤル：0120-222-330
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。
- 携帯電話・PHS・一部のIP電話：050-3754-9599
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。
- FAX：0120-333-389

- [保証書とアフターサービス](#)
- [サポートホームページで調べる](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

サポートホームページで調べる

リニアPCMレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページで、トラブルの解決方法を豊富な事例から調べることができます。

リニアPCMレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページへ:

<https://www.sony.jp/support/ic-recorder/>

リニアPCMレコーダーに関する最新サポート情報や、その他よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

関連項目

- [電話・FAXで問い合わせる](#)

困ったときは

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。

- 「よくある質問」の各項目で調べる。
- 充電する。
充電すると問題が解決することがあります。
- リスタート（再起動）する。
- Sound Organizer 2のヘルプで調べる。
Sound Organizer 2についての操作方法は、Sound Organizer 2のヘルプで調べることができます。

それでも解決しない場合、ご不明な点は、リニアPCMレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページをご覧ください。
ただか、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

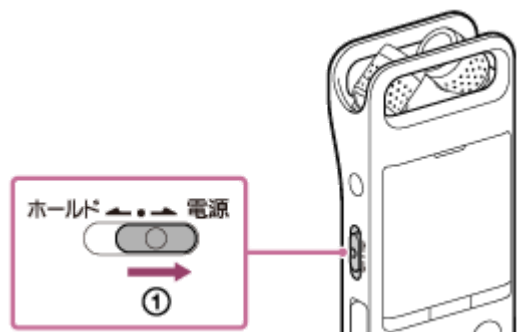
なお、保証書とアフターサービスについては、「[保証書とアフターサービス](#)」をご参照願います。
修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

関連項目

- [パソコンを使って充電する](#)
- [USB ACアダプターにつないで使う／充電する](#)
- [サポートホームページで調べる](#)
- [電話・FAXで問い合わせる](#)
- [Sound Organizer 2の基本操作（Windowsのみ）](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

リニアPCMレコーダーのリスタートについて



「よくある質問」内のトピックをチェックしてみても解決しない場合、リスタートすると、問題が解決することがあります。ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせたままの状態を8秒間維持します（①）。画面が消えたら、リスタートが行われるので、ホールド・電源スイッチから指を離してください。動作中にリスタートすると、リニアPCMレコーダーに保存しているデータや設定が削除される場合がありますので、動作中でないことを確認してから操作してください。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

ノイズが多く聞き取りにくい。

- 音声以外の周囲音が録音されてしまうことがあります。
再生時に、クリアボイス機能を「クリアボイス1」または「クリアボイス2」に設定すると、プロジェクターや空調などの音声以外の周辺ノイズをカットします。
全帯域のノイズを低減するため、人の声をクリアな音質で再生することができます。
ただし、内蔵スピーカーまたはBluetoothオーディオ機器で再生しているときや、「🎵 ミュージック」内のファイル再生時は、クリアボイス機能は働きません。

関連項目

- [再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする－クリアボイス機能](#)

録音にノイズが多いため、ノイズを少なく録音したい。

- 録音フィルター機能の「NCF（Noise Cut）」または、「LCF（Low Cut）」を選択すると、ノイズを軽減した録音ができます。
また、シーンセレクト機能を使うと、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます。

関連項目

- [ノイズを軽減して録音する（録音フィルター）](#)
- [用途に合わせた録音シーンを選ぶ](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

カサカサという音が録音されている。

- 録音したとき、リニアPCMレコーダーに手などがあたったり、衣服とこすれたりすると雑音が録音されることがあります。
録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

ジリジリやブツブツという音が録音されている。

- 録音中や再生中にリニアPCMレコーダーを電灯線、蛍光灯、パソコン、携帯電話、スマートフォンなどに近づけると、ノイズが入ることがあります。
リニアPCMレコーダーを離して録音してください。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

別売の外部マイクで録音すると、雑音が入る。

- 外部マイクのプラグが汚れています。
プラグをきれいにクリーニングしてください。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

別売のヘッドホンで聞くと雑音が入る。

- ヘッドホンのプラグが汚れています。
プラグをきれいにクリーニングしてください。

外部機器から録音した音を内蔵スピーカーで聞くと、音が小さかったり、キュルキュルという異音が聞こえたりする。

- モノラル音声の機器とリニアPCMレコーダーをステレオケーブルで接続して録音したファイルをリニアPCMレコーダーで再生すると、内蔵スピーカーからの再生音が小さくなったり、キュルキュルというような音が聞こえたりする場合がありますが、故障ではありません。
モノラル音声の機器にステレオケーブルを使用してリニアPCMレコーダーに録音すると、左右の音声信号が逆相で出力されるため、内蔵スピーカーで聞くと上記のような現象が起きることがあります。
モノラル音声の機器から録音する場合は、片側がモノラルのケーブルをお使いください。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

クリアボイス機能を設定しているのにノイズが入る。

- 内蔵スピーカーまたはBluetoothオーディオ機器で再生しているときや、「🎵 ミュージック」内のファイル再生時は、クリアボイス機能は働きません。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

電源が入らない、または操作ボタンを押しても動作しない。

- 内蔵充電式電池が消耗しています。内蔵充電式電池を充電してください。
- 電源がオフになっています。
画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が入ります。
- ホールドがオンになっています。
ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドさせてください。

関連項目

- [USB ACアダプターにつないで使う／充電する](#)
- [電源を入れる](#)
- [各部のなまえ](#)
- [ホールドを解除する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

電源が切れない。

- 「電源オフ」と表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が切れます。

関連項目

- [電源を切る](#)
- [各部のなまえ](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

電源が自動的に切れる。

- 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。（お買い上げ時の設定は30分になっています。）メニューでオートパワーオフ設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます。
- スリープタイマーで設定された時間が経過すると自動的に電源が切れます。（お買い上げ時は、設定は「オフ」になっています。）

関連項目

- [スリープタイマーを使う（スリープタイマー）](#)
- [電源が自動的に切れるまでの時間を設定する（オートパワーオフ）](#)

電池の持続時間が短い。

- このヘルプガイドに記載の電池の持続時間は、当社規定による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。
- 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間お使いにならない場合は、電源を切ることをおすすめします。また、オートパワーオフ設定時間を短くしておく、切り忘れでの電池の消耗を抑えることができます。
- REC Remoteを使用したり、Bluetoothオーディオ機器で音声を再生したりすると、電池の持続時間が短くなります。これらの機能を使用しない場合は、「Bluetoothオン/オフ」を「オフ」にしてください。
- 充電を開始すると、短時間で電池残量表示が点灯しますがフル充電になっていません。電池残量がない状態からフル充電までは約3時間かかります。
- 長い間使用していなかった場合は、何回か充電、放電（リニアPCMレコーダーを動作させる）を繰り返してください。
- 5℃以下の環境で使用しています。電池の特性によるもので故障ではありません。
- 内蔵充電式電池が劣化しています。
充電式電池は、お使いの環境にもよりますが約500回の充電が可能です。十分に充電した状態でも、使用できる時間が通常の半分ほどになった場合は、電池が劣化しています。ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

関連項目

- [電源を切る](#)
- [電源が自動的に切れるまでの時間を設定する（オートパワーオフ）](#)
- [電池の持続時間](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

パソコンで充電できない。

- 起動していないパソコンに接続しても充電できません。また、パソコンが起動していても、休止状態（スタンバイ、スリープ）のときは充電できません。
- パソコンからリニアPCMレコーダーを外し、再度接続してください。
- リニアPCMレコーダーが対応しているシステム構成をご確認ください。
- 周囲温度が5℃～35℃の環境で充電してください。
- 市販のUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをお使いの場合は、リニアPCMレコーダーを直接接続してください。

関連項目

- [パソコンを使って充電する](#)
- [必要なシステム構成](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

充電表示が表示されない、または途中で消えてしまう。

- リニアPCMレコーダーのUSB端子が正しく接続されていません。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

電池残量、充電表示部で充電温度異常のアイコンが点滅表示している。

- 充電表示部に  が点滅する場合は、リニアPCMレコーダーの充電可能な温度範囲外になっています。周囲温度が動作温度（5℃～35℃）になるようにしてください。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

正常に動作しない。

- パソコンで初期化（フォーマット）しています。
リニアPCMレコーダーで初期化を行ってください。
-

関連項目

- [メモリーを初期化する（内蔵メモリー初期化／SDカード初期化）](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

動作表示ランプが点灯しない。

- メニューの「ランプ」が「オフ」に設定されています。
「オン」に切り換えてください。

関連項目

- [録音ランプ／ピークランプの点灯・消灯を設定する（ランプ）](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

録音できない。

- 録音残り時間が不足している場合は録音できません。

関連項目

- [録音可能時間を確認する（録音可能時間）](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

SDカードに録音できない。

- 録音先メモリーとして、SDカードが設定されていません。

関連項目

- [録音先メモリーとフォルダを変更する](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

録音が途中で止まる。

- VORが作動しています。VORを使用しないときは、メニューで「オフ」にしてください。

関連項目

- [音がしたとき自動録音する－VOR（Voice Operated Recording）録音](#)

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

VOR機能が働かない。

- マニュアル録音中またはシンクロ録音中は、VOR機能は働きません。

関連項目

- [音がしたとき自動録音する－VOR（Voice Operated Recording）録音](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

他の機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。

- 他の機器のヘッドホン端子を使ってリニアPCMレコーダーと接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。
- 抵抗入りのオーディオコードを使うと録音レベルが小さくなります。抵抗なしコードをお使いください。

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

他の機器からの録音が勝手に止まる。

- シンクロ録音機能がオンになっています。オフにしてください。

関連項目

- [シンクロ録音機能を使わずに他の機器の音声を録音する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

入力される音が歪む。

- 入力される音に入力過多な部分があります。録音レベルを絞り、適切なレベルに調整してください。または、入力レベルを下げてください。
突発的に大音量が入る可能性がある場合は、オプションメニューの「リミッター」を「オン」に設定してください。

関連項目

- [音のひずみを防ぐために入力を調整する（リミッター）](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

再生音量が小さい。

- 内蔵スピーカーは録音結果の簡易確認用のため、音声小さかったり、聞きづらいことがあります。その場合は、別売のヘッドホンやアクティブスピーカーを使用してください。
- 録音されている音量が小さい場合があります。録音時に録音レベルを調節してください。また、マイク感度の設定や、「シーンセレクト」で用途に合わせた録音シーンを選んでいるかを確認してください。

関連項目

- [マイク感度を設定する（内蔵マイク感度設定）](#)
- [用途に合わせた録音シーンを選ぶ](#)
- [より良い音で録音するには](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

内蔵スピーカーから音が出ない。

- ヘッドホンをつないでいます。ヘッドホンを抜いてください。
- Bluetoothオーディオ機器と接続している場合は、内蔵スピーカーから音が出ません。Bluetooth接続を切断してください。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

ヘッドホンをつないでいても、内蔵スピーカーから音が出る。

- 別売のヘッドホンを差し込むとき、最後まで差し込まないと内蔵スピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかり差し込んでください。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

「イコライザー」で音質が変化しない。

- 内蔵スピーカーまたはBluetoothオーディオ機器で再生しているときは、イコライザー機能は働きません。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。

- DPC（速度調節）の設定が「オン」になっているため、調節した再生スピードで再生されています。
DPC（速度調節）の設定を「オフ」にすると、通常で再生されます。または、DPC（速度調節）の設定で再生スピードを調節してください。

関連項目

- [再生速度を調節する－DPC（Digital Pitch Control）](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

ファイルを分割できない。

- メモリーに一定の空き容量がありません。
- システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイル分割できないことがあります。
- リニアPCMレコーダーで録音されたファイル以外（パソコンから転送したファイル）は、分割できません。
- ファイルの再生中は、分割できません。

関連項目

- [ファイルを削除する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

ファイルを移動できない。

- 「🎵ミュージック」内のファイルは、内蔵メモリーおよびmicroSDメモリー内の別フォルダに移動することができません。

関連項目

- [ファイルを保護する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

ファイルを別のフォルダへコピーできない。

- 「ミュージック」内のファイルは、内蔵メモリーおよびmicroSDメモリー内の別フォルダにコピーすることができません。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

トラックマークを認識しない。

- PCM-A10以外で作成したトラックマークは本機で認識できないことがあります。Sound Organizer 2から本機にコピーすると、認識できるようになります。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

作成したフォルダやファイルが見えない。

- パソコン上でフォルダやファイルを作成した場合、作成した場所によっては、リニアPCMレコーダーで認識できない場合があります。詳しくは、「[フォルダとファイルの構成](#)」をご覧ください。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

録音日時表示が「----/--/--」または「--:--」になる。

- PCM-A10以外の機種で録音したファイルは、録音日時の記録方法が異なるため、録音日時が表示されない場合があります。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

リニアPCMレコーダーに表示される残り時間が、パソコン上での残量表示より短い。

- リニアPCMレコーダーではシステム上必要な領域を差し引いて表示しているため、パソコン上（Sound Organizer 2）での残量表示と異なる場合があります。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

「メモリーが一杯です」のメッセージが表示され、録音できない。

- メモリーがいっぱいになっています。
不要なファイルを削除するか、別のmicroSDカードもしくはパソコンに保存してから、ファイルを削除してください。

関連項目

- [ファイルを削除する](#)

「ファイル一杯です」のメッセージが表示され、操作できない。

- 内蔵メモリーおよびmicroSDカード内のフォルダとファイルの総数が5,000件を超えた場合、録音やファイルコピーはできません。
不要なファイルを削除するか、別のmicroSDカードもしくはパソコンに保存してから、ファイルを削除してください。

関連項目

- [ファイルを削除する](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

microSDカードが認識されない。

- microSDカードを取り出し、裏表を確認して再度入れ直してください。
- パソコンなどリニアPCMレコーダー以外の機器を用いて初期化された可能性があります。
microSDカードは必ずリニアPCMレコーダー上で初期化してください。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

フォルダ名やファイル名が文字化けしてしまう。

- WindowsのエクスプローラーまたはMacのFinderを使ってパソコンで名前を入力した場合、リニアPCMレコーダーで対応していない特殊文字や記号が混ざっていると、リニアPCMレコーダーの表示窓では文字化けすることがあります。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

ファイルコピーに時間がかかる。

- ファイルサイズによっては、コピーに時間がかかることがあります。コピーが終わるまでお待ちください。

4-740-912-01(3) Copyright 2018 Sony Corporation

パソコンで認識しない。パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。

- パソコンからリニアPCMレコーダーを外し、再度接続してください。
- 市販のUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをお使いの場合は、リニアPCMレコーダーを直接接続してください。
- リニアPCMレコーダーが対応しているシステム構成以外では、動作保証はいたしかねます。
- お使いのパソコンのUSBポートの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBポートに接続してください。

関連項目

- [リニアPCMレコーダーをパソコンから取り外す](#)
- [リニアPCMレコーダーをパソコンに接続する](#)
- [必要なシステム構成](#)
- [Sound Organizer 2の使用に必要なパソコンのシステム構成](#)

リニアPCMレコーダーに転送したファイルが表示されない、または再生されない。

- 表示できるファイルは8階層目までです。
- リニアPCMレコーダーで対応しているFLAC(.flac)/LPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)以外のファイルは、表示されない場合があります。リニアPCMレコーダーの仕様をご確認ください。
- リニアPCMレコーダーに登録しているフォルダとファイルの総数が5,000件を超えた場合、それ以上のコンテンツは認識されないことがあります。不要なファイルやフォルダを削除するか、別のmicroSDカードもしくはパソコンに保存してから削除してください。
- パソコン上でフォルダやファイルを作成した場合、作成した場所によっては、リニアPCMレコーダーで認識できない場合があります。詳しくは「[フォルダとファイルの構成](#)」をご覧ください。

関連項目

- [リニアPCMレコーダーの仕様](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

パソコンが起動しない。

- リニアPCMレコーダーをパソコンに接続したまま、パソコンを起動すると、パソコンがフリーズしたり、起動しないことがあります。
リニアPCMレコーダーをパソコンから外して起動してください。

関連項目

- [リニアPCMレコーダーをパソコンから取り外す](#)

Bluetooth接続ができない。

- 電源が入っていません。リニアPCMレコーダーおよび接続するBluetoothオーディオ機器の電源を入れ、Bluetooth機能が有効になっていることを確認してください。
 - 電池残量が少なくなっています、または電池残量がほとんどありません。リニアPCMレコーダーを起動中のパソコンかUSB ACアダプター（別売）で充電してください。
 - 次のような場合は、機器登録（ペアリング）の情報が消えます。再度ペアリングしてください。
 - － どちらかの機器、または両方の機器を、設定初期化などでお買い上げ時の状態に戻してしまった場合
 - － 修理を行ったなど、機器登録（ペアリング）の情報が削除されてしまった場合
- また、リニアPCMレコーダーから機器登録（ペアリング）情報が削除され、相手機器にリニアPCMレコーダーのペアリング情報が残っている場合は、ペアリング情報を削除してから再度ペアリングしてください。
- リニアPCMレコーダーとBluetoothオーディオ機器の距離が離れすぎています。リニアPCMレコーダーとBluetoothオーディオ機器の距離が遠いと、Bluetooth接続ができなかったり途切れたりすることがあります。リニアPCMレコーダーとBluetoothオーディオ機器をなるべく離さないでご使用ください。

関連項目

- [パソコンを使って充電する](#)
- [USB ACアダプターにつないで使う／充電する](#)
- [スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する](#)

ワンタッチ接続（NFC接続）ができない。

- 電源が入っていません。リニアPCMレコーダーの電源がオンになっていることを確認してください。
- リニアPCMレコーダーのNFC設定がオフになっている可能性があります。再生停止中に、ホームメニュー－「 Bluetooth」－「NFC設定」を選択し、「オン」にチェックマークが付いているか確認してください。
- ホームメニュー－「 Bluetooth」－「NFC設定」－「詳細設定」で、「オーディオ機器のみ」または「REC Remoteのみ」のどちらかを選択している場合、選択していない項目の機器とはNFC接続できません。その場合は、「自動（推奨）」を選択してください。
- Bluetoothオーディオ機器のNFC機能がオフになっています。接続するBluetoothオーディオ機器によっては、NFC機能や電源をオンにする必要があります。詳しくは、Bluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご確認ください。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

Bluetoothオーディオ機器の音量を操作できない。

- 接続するBluetoothオーディオ機器によっては、リニアPCMレコーダーで音量操作ができない場合があります。
- 接続するBluetoothオーディオ機器によっては、標準方式の音量操作に対応していない場合があります。いったんBluetooth接続を切断し、リニアPCMレコーダーのホームメニュー－「 Bluetooth」－「オーディオ機器」－「音量操作設定」で「拡張方式」を選択したあと、再度Bluetooth接続してから音量操作を行ってください。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

リニアPCMレコーダーを登録できない（ペアリングできない）。

- リニアPCMレコーダーと相手機器の距離が離れています。Bluetooth接続ができる距離（1 m以内）で登録（ペアリング）を行ってください。

Bluetooth接続ができない。

- 電源が入っていません。リニアPCMレコーダーおよび接続する相手機器の電源を入れ、Bluetooth機能が有効になっていることを確認してください。
 - 電池残量が少なくなっています、または電池残量がほとんどありません。リニアPCMレコーダーを起動中のパソコンかUSB ACアダプター（別売）で充電してください。
 - 次のような場合は、機器登録（ペアリング）の情報が消えます。再度ペアリングしてください。
 - － どちらかの機器、または両方の機器を、設定初期化などでお買い上げ時の状態に戻してしまった場合
 - － 修理を行ったなど、機器登録（ペアリング）の情報が削除されてしまった場合
- また、リニアPCMレコーダーから機器登録（ペアリング）情報が削除され、相手機器にリニアPCMレコーダーのペアリング情報が残っている場合は、ペアリング情報を削除してから再度ペアリングしてください。
- リニアPCMレコーダーと相手機器の距離が離れすぎています。リニアPCMレコーダーと相手機器の距離が遠いと、Bluetooth接続ができなかったり途切れたりすることがあります。リニアPCMレコーダーと相手機器をなるべく離さないでご使用ください。

ワンタッチ接続（NFC接続）ができない。

- 電源が入っていません。リニアPCMレコーダーの電源がオンになっていることを確認してください。
- リニアPCMレコーダーのNFC設定がオフになっている可能性があります。再生停止中に、ホームメニュー－「 Bluetooth」－「NFC設定」を選択し、「オン」にチェックマークが付いているか確認してください。
- ホームメニュー－「 Bluetooth」－「NFC設定」－「詳細設定」で、「オーディオ機器のみ」または「REC Remoteのみ」のどちらかを選択している場合、選択していない項目の機器とはNFC接続できません。その場合は、「自動（推奨）」を選択してください。
- スマートフォンの画面ロックを解除してください。
- スマートフォンのNFC機能がオフになっています。接続するスマートフォンによっては、NFC機能や電源をオンにする必要があります。詳しくは、スマートフォンの取扱説明書をご確認ください。
- REC Remoteを使うためにスマートフォンとペアリングする際、「ペア設定リクエスト」がスマートフォンの「通知」に表示される場合があります。「通知」を表示して「ペア設定リクエスト」をタップし、「ペア設定する」を選択してください。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

インストールできない。

- ハードディスクの空き容量が少なくなっています。
容量を確認してください。
 - Sound Organizer 2が動作保証していないOSのパソコンにはインストールできません。
対応しているOSのパソコンにインストールしてください。
 - Windows 7、Windows 8.1またはWindows 10のGuestアカウントでログオンしています。
「コンピューターの管理者」に所属するユーザー名でログオンしてください。
-

関連項目

- [Sound Organizer 2の使用に必要なパソコンのシステム構成](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

リニアPCMレコーダーと接続できない。

- ソフトウェアのインストール、接続ケーブルの接続などを正しく行ったか確認してください。
 - 市販のUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合は、リニアPCMレコーダーを直接接続してください。
 - 他のUSBポートで接続してみてください。
- パソコンがスリープモードや休止状態に移行しています。
スリープモードや休止状態に移行しないように設定してください。
- 内蔵メモリーやmicroSDカードのデータをパソコンにすべてバックアップした後で、内蔵メモリーおよびmicroSDカードをリニアPCMレコーダーで初期化してください。

関連項目

- [メモリーを初期化する（内蔵メモリー初期化／SDカード初期化）](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

パソコンからの再生音量が小さい、パソコンから音が出ない。

- サウンドボードが付いていません。
- パソコンにスピーカーが内蔵または接続されていません。
- ミュートが解除されていません。
- パソコン側で音量を上げてみてください。（詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。）
- WAVファイルの場合は、サウンドレコーダー（Windowsに搭載）で音量を上げて保存しなおすこともできます。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

保存したファイルが再生、編集できない。

- 対応していないファイル形式のファイルは再生できません。また、ファイル形式によっては一部の編集機能がお使いになれません。詳しくは、Sound Organizer 2のヘルプをご覧ください。

関連項目

- [Sound Organizer 2の基本操作（Windowsのみ）](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

カウンターやスライダーの動きがおかしい、雑音が入る。

- 分割を行ったファイルをパソコン上で再生したときに発生する場合があります。
いったんハードディスクに保存してから（＊）再度リニアPCMレコーダーに戻すと、データが最適化され、正常な再生に戻ります。
＊ リニアPCMレコーダーの形式に合ったファイル形式で保存してください。

関連項目

- [リニアPCMレコーダーの仕様](#)

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

ファイル数が多くなると動作が遅くなる。

- 録音時間の長さに関係なく、リニアPCMレコーダー内のファイルの総数が多いと、処理に時間がかかることがあります。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

ファイルの保存・追加・削除中に画面が動かなくなる。

- 録音時間の長いファイルの場合、コピーまたは削除に時間がかかります。
コピーまたは削除が終了するまでお待ちください。通常の操作ができるようになります。

リニアPCMレコーダー
PCM-A10

Sound Organizer 2を起動したときフリーズ（ハングアップ）してしまう。

- リニアPCMレコーダーと通信を行っている間は絶対にケーブルを抜かないでください。パソコンの動作が不安定になったり、リニアPCMレコーダー内のデータが壊れるおそれがあります。
- 他にインストールされているドライバおよびアプリケーションソフトが、同時に起動している可能性があります。

メッセージ表示一覧

ホールド中 ホールドスイッチを解除してください

リニアPCMレコーダーが誤操作防止（ホールド）状態になっているため、すべてのボタン操作が無効になっています。ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドして、ホールドを解除してください。
（「[ホールドを解除する](#)」参照）

電池が残りわずかです

電池が残りわずかのため、初期化やフォルダ内削除などができません。内蔵充電式電池を充電してください。
（「[パソコンを使って充電する](#)」参照）

充電してください

電池が消耗しています。内蔵充電式電池を充電してください。
（「[パソコンを使って充電する](#)」参照）

SDカードエラー

microSDメモリーカードスロットにmicroSDカードを挿入時にエラーが発生しました。いったんmicroSDカードを抜き差ししてください。それでも同じエラーが表示される場合は、別のmicroSDカードをお使いください。

メモリーが一杯です

録音できるメモリー容量がなくなりました。いくつかのファイルを削除してからやり直してください。
（「[ファイルを削除する](#)」参照）

ファイルが一杯です

フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、新規のファイルを作成できません。いくつかのファイルを削除してからやり直してください。
（「[ファイルを削除する](#)」参照）

登録が一杯です

フォルダ名が重複しているため、フォルダ名を変更できません。他のフォルダ名に変更してください。
（「[フォルダ名を変更する](#)」参照）

トラックマークが一杯です

すでに上限までトラックマークを設定しているため、これ以上追加できません。不要なトラックマークを削除してください。
（「[トラックマークを削除する](#)」参照）

内蔵メモリーの初期化が必要です／SDカードの初期化が必要です

- パソコンで内蔵メモリーまたはmicroSDカードを初期化したため、動作に必要な管理ファイル作成ができません。メニューで内蔵メモリーまたはmicroSDカードの初期化をしてください。パソコンで初期化しないでください。
（「[メモリーを初期化する（内蔵メモリー初期化／SDカード初期化）](#)」参照）
- 内蔵メモリーまたはmicroSDカードに、REC_FILEフォルダがありません。内蔵メモリーまたはmicroSDカードを初期化すると、REC_FILEフォルダが自動で作成されます。
（「[メモリーを初期化する（内蔵メモリー初期化／SDカード初期化）](#)」参照）

処理を継続できません

- ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へ8秒間スライドさせたままの状態にして、リニアPCMレコーダーをリスタートしてください。それでも解決しない場合は、必要なデータをバックアップしてからメニューでリニアPCMレ

コーダーを初期化してください。

(「[リニアPCMレコーダーのリスタートについて](#)」参照)

(「[メモリーを初期化する \(内蔵メモリー初期化／SDカード初期化\)](#)」参照)

- 内蔵メモリーまたはmicroSDカードが、ファイルシステム異常になっています。パソコンで初期化（フォーマット）した可能性があります。リニアPCMレコーダーで初期化を行ってください。
(「[メモリーを初期化する \(内蔵メモリー初期化／SDカード初期化\)](#)」参照)
- 上記で解決しない場合は、ソニーの相談窓口までご連絡ください。

フォルダがありません

- 移動／コピー先として選択したメモリーにフォルダがありません。フォルダを作成してから操作してください。
(「[フォルダを作成する](#)」参照)
- REC_FILEフォルダ内にフォルダがありません。フォルダを作成してから操作してください。
(「[フォルダを作成する](#)」参照)

ファイルがありません

選んだフォルダには1つもファイルがありません。ファイル移動などの操作ができません。

トラックマークがありません

トラックマークが設定されていないため、トラックマークの削除、全分割が実行できません。

SDカードがないため初期化できません

microSDメモリーカードスロットにmicroSDカードが挿入されていません。SDカードを挿入してください。

(「[microSDカードに録音する](#)」参照)

SDカードがありません

- microSDメモリーカードスロットにmicroSDカードが挿入されていないため、「ファイル移動」の「SDカードへ移動」、「ファイルコピー」の「SDカードへコピー」の設定はできません。
- microSDメモリーカードスロットにmicroSDカードが挿入されていないため、「クロスメモリー録音」をオンにしても、microSDカードに切り換えて録音することはできません。

これ以上フォルダを作成できません

- フォルダ数とファイル数の合計が最大になったため、新規のフォルダを作成できません。いくつかのフォルダまたはファイルを削除してからやり直してください。
(「[ファイルを削除する](#)」参照)
(「[フォルダを削除する](#)」参照)
- フォルダ名の連番が、上限に達しています。不要なフォルダを削除してからやり直してください。
(「[フォルダを削除する](#)」参照)

フォルダを作成できませんでした

内蔵メモリーまたはmicroSDカードが、ファイルシステム異常になっています。パソコンで初期化（フォーマット）した可能性があります。リニアPCMレコーダーで初期化を行ってください。

(「[メモリーを初期化する \(内蔵メモリー初期化／SDカード初期化\)](#)」参照)

フォルダを削除できませんでした

内蔵メモリーまたはmicroSDカードが、ファイルシステム異常になっています。パソコンで初期化（フォーマット）した可能性があります。リニアPCMレコーダーで初期化を行ってください。

(「[メモリーを初期化する \(内蔵メモリー初期化／SDカード初期化\)](#)」参照)

ファイルが保護されています

選んだファイルが保護設定されているか、「読み取り専用」になっています。削除などができません。リニアPCMレコーダーで保護設定を解除するか、パソコン上で「読み取り専用」属性を外すと、操作できるようになります。

(「[ファイルを保護する](#)」参照)

保護されたファイルを削除できませんでした

選んだファイルが保護設定されているか、「読み取り専用」になっています。リニアPCMレコーダーで保護設定を解除するか、パソコン上で「読み取り専用」属性を外してからやり直してください。

(「[ファイルを保護する](#)」参照)

削除できないデータがありました

フォルダ内にサブフォルダが存在する場合は、サブフォルダと中に保存されているファイルは削除されません。

非対応のデータです

- リニアPCMレコーダーで対応していないファイル形式のデータです。リニアPCMレコーダーが対応しているファイル形式 (拡張子) は、FLAC(.flac) / LPCM(.wav) / MP3(.mp3) / WMA(.wma) / AAC-LC(.m4a)となります。
(「[リニアPCMレコーダーの仕様](#)」参照)
- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- 選んだファイルのデータが破損しているため、再生や編集ができません。

編集できないファイル形式です

- Sound Organizer 2以外のアプリケーションで編集したファイルは、分割できません。
- リニアPCMレコーダーで対応していないファイル形式のデータです。リニアPCMレコーダーが対応しているファイル形式 (拡張子) は、FLAC(.flac) / LPCM(.wav) / MP3(.mp3) / WMA(.wma) / AAC-LC(.m4a)となります。
(「[リニアPCMレコーダーの仕様](#)」参照)

操作できません

- 内蔵メモリまたはmicroSDカードが、ファイルシステム異常になっています。
パソコンで初期化 (フォーマット) した可能性があります。リニアPCMレコーダーで初期化を行ってください。
(「[メモリーを初期化する \(内蔵メモリー初期化/SDカード初期化\)](#)」参照)
- 内蔵メモリが後発不良 (BADBLOCK) になった場合、データの書き込みができません。リニアPCMレコーダーの修理が必要です。
- microSDカードが後発不良 (BADBLOCK) になった場合、データの書き込みができません。新しいmicroSDカードを準備してください。
- メモリーが一杯のため、フォルダ名やファイル名を変更できません。不要なフォルダまたはファイルを削除してからやり直してください。
(「[フォルダを削除する](#)」参照)
(「[ファイルを削除する](#)」参照)
- フォルダ名またはファイル名の連番が、上限に達しています。不要なフォルダまたはファイルを削除してからやり直してください。
(「[フォルダを削除する](#)」参照)
(「[ファイルを削除する](#)」参照)
- ファイル名が最大文字数に達しているため、分割できません。ファイル名を短くしてください。
- 分割実行位置の直前または直後にトラックマークが設定されているため、「分割」 - 「全てのトラックマーク位置」が実行できません。
- ファイルの先頭または終端から近い位置にトラックマークが設定されているため、「分割」 - 「全てのトラックマーク位置」が実行できません。
- ファイルの先頭や終端に近い位置では、分割できません。
- 同名のトラックマークファイルがあるため、ファイルの移動/コピー、または分割をすることができません。

新しいファイルで録音を継続します

録音中のファイルがファイルサイズの上限 (LPCMは4 GB、MP3は1 GB) に達しています。ファイルは自動的に分割され、録音を継続します。

ファイル数が上限を超えるため分割できません

フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、ファイルの分割はできません。不要なファイルを削除してからやり直してください。

(「[ファイルを削除する](#)」参照)

同名のファイルが存在します

作成されるファイルと同名のファイルが存在しているため、ファイルの作成ができません。

故障です

何らかの原因でシステムエラーが発生しています。ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へ8秒間スライドさせたままの状態にして、リニアPCMレコーダーをリスタートしてください。それでも動作しない場合は、ソニーの相談窓口までご連絡ください。

（「[リニアPCMレコーダーのリスタートについて](#)」参照）

（「[電話・FAXで問い合わせる](#)」参照）

内蔵マイク使用時に有効です

🔊（マイク）ジャックに外部マイクが繋がれているときに、「内蔵マイク感度設定」を変更しました。「内蔵マイク感度設定」は、内蔵マイクを使用するときのみ有効です。

（「[マイク感度を設定する（内蔵マイク感度設定）](#)」参照）

外部入力使用時に有効です

🔊（マイク）ジャックに外部マイクが繋がれていないときに、「外部入力設定」を変更しました。「外部入力設定」は、外部マイクを使用するときのみ有効です。

（「[外部機器の入力モードと入力感度を設定する（外部入力設定）](#)」参照）

再生中は操作できません

オプションメニューや各種設定メニューで、再生中は実行できない項目を選んでいました。再生を停止してから、操作してください。

録音中は操作できません

オプションメニューや各種設定メニューで、録音中は実行できない項目を選んでいました。録音を停止してから、操作してください。

Audio IN使用時は無効です

「外部入力設定」を「Audio IN」に設定しているときに、「録音フィルター」の設定を変更しました。「Audio IN」を選んでいるときは、録音フィルター機能は働きません。

（「[外部機器の入力モードと入力感度を設定する（外部入力設定）](#)」参照）

（「[ノイズを軽減して録音する（録音フィルター）](#)」参照）

メモリーを切り換えて録音を継続します

「クロスメモリー録音」が有効に設定されている場合、現在のメモリーがいっぱいになると自動的に、もう一方のメモリーに切り換えて録音を継続します。

（「[メモリーを切り換えて録音を続ける（クロスメモリー機能）](#)」参照）

マニュアル設定時に有効です

オプションメニューの「内蔵マイク感度設定」または「外部入力設定」が「マニュアル」に設定されていません。リミッター設定は働きません。

マニュアル設定時は無効です

オプションメニューの「内蔵マイク感度設定」または「外部入力設定」が「マニュアル」に設定されています。VOR設定は働きません。

ペアリングできませんでした。もう一度ペアリングしなおしてください。

リニアPCMレコーダーとスマートフォンとのペアリングに失敗しました。お使いのスマートフォンのBluetooth機能がオンになっているか確認してからやり直してください。

（「[スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する](#)」参照）

接続できません。相手機器を確認し再接続してください。

Bluetooth接続に失敗しました。接続するBluetoothオーディオ機器のBluetooth機能がオンになっているか確認してからやり直してください。

機器登録できません。接続中のREC Remoteと切断してから実行してください。

REC Remote接続中に、他のスマートフォンを機器登録（ペアリング）することはできません。REC Remote接続を切断してから行ってください。

接続中の機器情報は削除できません。切断してから実行してください。

Bluetooth接続中のオーディオ機器またはスマートフォンの機器情報は、削除できません。Bluetooth接続を切断してから行ってください。

（「[Bluetooth接続を切断する](#)」（Bluetooth機能）参照）

（「[Bluetooth接続を切断する](#)」（REC Remote）参照）

登録済みの機器がありません。機器登録（ペアリング）してください。

登録済みのBluetoothオーディオ機器がないため、Bluetooth接続できません。機器登録（ペアリング）を行ってください。

（「[オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する](#)」参照）

接続されている機器がありません

Bluetooth接続されているオーディオ機器がないため、Bluetooth接続を切断できません。

失敗しました。もう一度タッチしてください。

リニアPCMレコーダーとオーディオ機器またはスマートフォンのワンタッチ接続（NFC接続）に失敗しました。もう一度タッチしてください。

（「[ワンタッチ接続（NFC接続）する](#)」（Bluetooth機能）参照）

（「[ワンタッチ接続（NFC接続）する](#)」（REC Remote）参照）

選択された機器とはすでに接続しています

選択したBluetoothオーディオ機器とは、すでにBluetooth接続済みです。

機器が見つかりませんでした。相手機器を確認し、もう一度機器登録してください。

Bluetoothオーディオ機器の検索で、機器登録（ペアリング）可能なBluetoothオーディオ機器が見つかりませんでした。相手機器がペアリングモードになっているか確認し、再度ペアリングを行ってください。

（「[オーディオ機器と機器登録（ペアリング）してBluetooth接続する](#)」参照）

接続できませんでした。相手機器から接続してください。

REC Remoteの機器登録（ペアリング）が完了したあと、相手機器と接続できませんでした。相手機器から接続してください。

（「[スマートフォンとリニアPCMレコーダーをBluetooth接続する](#)」参照）

シンクロ録音の場合はリハーサルモードを開始できません

シンクロ録音の設定がオンになっていて、外部入力設定が「Audio IN」になっている場合は、リハーサル機能を使うことができません。手動で感度調節してください。

システム上の制約

リニアPCMレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

音楽ファイルを順番に表示、再生できない。

パソコンを使って、リニアPCMレコーダーに転送した音楽ファイルは、メタ情報のトラック番号やファイル名をもとに並び替えます。

録音中に自動的に分割されてしまう。

録音の途中でファイルサイズの上限（LPCMは4 GB、MP3は1 GB）を超えてしまう場合は、ファイルが分割されます。分割された位置の前後で音切れが発生する場合があります。

英文字がすべて大文字になってしまう。

パソコンで作成したフォルダ名称の文字の組み合わせによっては英文字がすべて大文字になってしまうことがあります。

フォルダ名、ファイル名、アーティスト名、タイトル名が文字化け、または「□」が表示される。

リニアPCMレコーダーで表示できない文字が使用されています。フォルダ名、ファイル名、アーティスト名、またはタイトル名を半角英数字に置き換えてください。

A-Bリピート設定で、設定位置がずれてしまう。

ファイルによっては、設定位置がずれてしまうことがあります。

ファイルを分割すると、録音可能時間が少なくなる。

ファイルを分割すると、ファイル管理をする領域が必要になるため、録音可能時間が少なくなります。